

令和5年度 市民と市長のタウンミーティング実績

とき	会場	開始時間	終了時間	参加者		
				合計	男性	女性
令和5年5月10日 (水曜日)	宇和津公民館	19:00	20:36	20	15	5
令和5年5月11日 (木曜日)	下灘公民館	19:00	20:02	21	19	2
令和5年5月12日 (金曜日)	蔣淵公民館	19:00	20:37	26	20	6
令和5年5月13日 (土曜日)	市役所	10:00	11:42	16	9	7
令和5年5月13日 (土曜日)	岩松公民館	14:00	16:02	32	20	12
令和5年5月15日 (月曜日)	明倫公民館	19:00	20:29	15	7	8
令和5年5月17日 (水曜日)	喜佐方公民館	19:00	20:06	17	14	3
令和5年5月18日 (木曜日)	下波公民館	19:00	20:00	15	12	3
令和5年5月23日 (火曜日)	番城公民館	19:00	20:41	13	8	5
令和5年5月24日 (水曜日)	北灘公民館	19:00	20:58	17	9	8
令和5年5月25日 (木曜日)	和霊公民館	19:00	20:36	18	12	6
令和5年5月26日 (金曜日)	立間公民館	19:00	19:57	26	23	3
令和5年5月27日 (土曜日)	吉田公民館	10:00	11:15	32	24	8
令和5年5月30日 (火曜日)	天神公民館	19:00	20:41	13	10	3
令和5年5月31日 (水曜日)	高光公民館	19:00	20:33	13	8	5
令和5年6月1日 (木曜日)	石応公民館	19:00	20:09	23	17	6
令和5年6月3日 (土曜日)	三間公民館	13:00	14:00	34	25	9
令和5年6月4日 (日曜日)	ZOOM会場	15:00	16:09	3	2	1
令和5年6月5日 (月曜日)	清満公民館	19:00	21:00	42	30	12
合計				396	284	112

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
1	01宇和津	1	高齢者のゴミ出しについて、ビン、缶などの重たい不燃物をゴミ集積場に持っていくことが大変という声がある。燃えるゴミと同じように、不燃ゴミも家の前で集積してもらえれば助かる。	高齢者のゴミ出しについては、地域によっては実情が違うことは承知している。一方で、すべてを通ることは厳しい現実があると思う。市の取組みとして、高齢者のゴミ出しを支援する仕組みを一定の基準を設けて対応している。	生活環境課	—
2	01宇和津	2	市道の排水路の側溝の蓋が老朽化しており、車が通ると大きな音がする。深夜は特に気になるとの声を受けているので、側溝の改修をお願いしたい。	側溝の蓋については、ご迷惑をおかけしていることは認識している。担当課にしっかり伝え、その中で対応を検討する。	建設課	現場を確認し、修繕いたしました。
3	01宇和津	3	十数年前まで食品加工の事業をしていたが、廃業するときに県保健所に届けを出したら、神田川への排水許可を出しているの、県担当課に行くように言われた。許可を取っていると思わず、40年以上川を汚していたと知り気になっていたが、最近止めて川がきれいになったと思う。下水道が神田川以南はまだ整備されていない。昔は川掃除をしていたが、20年以上前に自分の自治会は止め、隣の自治会も数年前に止めた。草がどんどん伸びており、蛇や虫もいる。どこに言ったらいいいものか。	河川にも県管理や市管理など管理者が清掃など管理する仕組みになっている。あの河川は市ではなく、県になると思う。まずは、状態を伝えるが、実際に清掃されるかは予算などで厳しいと思う。吉田は災害を受けてボランティアが発達しており、SNSでの川掃除の募集なども多くある。管理者の動きを待っていても厳しいことは現実なので、電子地域ポイントが自治会の活動の呼び水になればと思う。市の管理する川でも同じことが言えると思う。	建設課 (デジタル推進課、市民課、協働推進室)	—
4	01宇和津	4	伊達博物館建替えとやすらぎの里が宇和島市の抱える大きな問題と思う。昨年、住民の反対運動があり、私も参加し、市議会でも意見が割れた。市議会は市民の代表に立って、市民の声を行政に伝える立場と思う。13の反対は市民の声を聴いていないと解釈している。伊達博物館の費用は当初35億円であったが、価格高騰で48億円になっている。場所の問題やいろいろ解決する問題が残されている中で、市民と詳しく対話をしていないのが現状と思う。建替え問題は慎重に、発展と活性化を考えると大きな役割がある。建替え委員会も積み重ねていると思うが、総合的なまちづくりも併せて考え、観光振興から観光産業に育てる考えは皆さんあまりないと思う。宇和島市の経済の底上げにつながると考えている。伊達家の文化でたくさんの観光客が訪れることで、地域経済の底上げがしっかりとできる。皆さんそのような考え方がないと思う。それを進めることに取り組んでいただきたい。人口減少に伴った伊達博物館建設やすらぎの里建設は身の丈に合っているか改めて考えてほしい。伊達博の運営コストも積算されている中で、この規模でやるべきか、縮小もあわせて、これからの事業として考えていく。伊達博物館を中心とした街中整備を考えていく、榊崎の歴史資料館の移転など。行政も市議会も宇和島市の活性化を考えていないと思う。宇和島に住んで20数年になるが、目に余る思いで見ている。美術館を作る情熱もまったく見えてこない。日本の美術館の研究に行く話も聞かない。隈研吾さんに任せっぱなしにしか見えてこない。1つの物を作るうえで情熱が必要と思う。そうしないと隈さんにも宇和島市が舐められてしまう。問題がないように進めていただきたい。	GWは闘牛場にも合併以降最大の人数が来た。地域にお金を落とすには、人の移動は大事と感じた。伊達博物館や住吉町の歴史資料館など歴史を充実する。第一次産業では真珠、魚類養殖、柑橘があるが、それだけではなく観光にもなっている。また、豊かな海や山を活用した鬼ヶ城のピークストレイル、林道のレースや海釣りなど多くの人が宇和島に来ている。歴史だけでなく、観光の目的として人に来ていただくことを考えている。伊達博物館の建設費は類似施設の金額を示し、物価高騰の影響があったが、国の補助を活用することとしている。現在、詳細設計をしているので、その後、6月以降の予算措置になる。	文化・スポーツ課伊達博物館 文化・スポーツ課伊達博物館 (商工観光課)	文化・スポーツ課伊達博物館： 総事業費に係る説明 ※総事業費には跡地整備費も含む  ・基本計画時（㎡単価から算出） 約39.6億円（税抜き36億円） ↓ ・基本設計時 約45億円 ↓ ・実施設計途中（R5.2時点） 約48億円  商工観光課：やすらぎの里再整備事業は、基本設計時の総事業費を29億円とし、事業費を適正に抑えつつ進めているところです。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
5	01宇和津	5	市長はホリバタ事業を良いように捉えているが、大人も子どももあわせて400年の歴史文化の宝庫であるので、年1回の勉強会にも取り組んでいただきたい。ホリバタ事業で何をしているか分からない。明確に歴史文化講座、地域のことを分かりやすく説明することが大事と思う。	ホリバタは市議時代からワークショップをして、子どもたちの目の色が変わっていくことを見て、将来子どもたちが帰ってくるきっかけにかもしいないという気持ちで実施している。これからも力を入れていきたい。	文化・スポーツ課（生涯学習課）	文化・スポーツ課：コロナ以前は2か月に1回程度、市民文化歴史講座「そどこや」を開催していました。今年度の下半期には宇和島の偉人等の講座を再開したいと考えています。
6	01宇和津	6	こうして話していることを市が参考にして協議しているか分からない。	議事録にして役場内で周知しているところ。	市長公室	—
7	01宇和津	7	南風寮を2年ほど前に県から市が借り、宇和津校区が運営している。地域づくり交付金を活用し、改修などをしてきた。令和4年度の決算でランニングコストがかかり過ぎていることに気づいた。ある意見では、なぜ校区自治会が維持費を出さないといけないのかとある。市の指定避難所になっており、津波が来た場合には、地域外から利用する避難者もいると思う。ランニングコストを何とかできないか。	南風寮は、大超寺奥自治会からの話があり、県に相談したが、維持費については、市も支援していると思う。また、県の貸し出しも市が言うならということであったと思う。指定避難所であるが、他の避難所でも市が支援していないところもある。他地区の避難者も利用することも理解できるが、当時の成り立ちがあり、今どうするかは答えできない。今後、検討する。	危機管理課	南風寮の電気水道料金は年間20万円程度であり、自主防災組織等防災活動補助金から、限度額の80,000円を補助しています（補助率1/2）。
8	01宇和津	8	地域の市営住宅は、17戸あるが、5戸のみ入居している。老朽化も激しく、危険空き家のような状況であり、市が保持しているのはどうかと思うし、住民も汚いと言っている。民間の空き家対策も必要だが、まずは公営住宅の空き家も真剣に取り組んでいただけたらと思う。	民間の空き家住宅の対策は予算額を増額しているところ。公営住宅も非耐震などから、津島では入居がないところは廃止している。現在、全体としての公営住宅の考えを検討しているところになる。人口減少の中、必要な家屋数も減り、民間も含めた住宅活用が課題。建築住宅課に伝え、より議論を深めるように伝える。	建築住宅課	棟単位で空き家となった公営住宅等は緊急性の高い住宅から用途廃止をし解体しています。
9	01宇和津	9	市内スーパーが売却される話を聞いた。多くが利用しているスーパーであり、この地域には移動販売車も来ている。買い物弱者対策は早めに準備にかかっていたいただきたい。	そのような話は知らなかった。市がどうするという事は難しいが、何か声掛けできるところがあればと思う。また、移動販売車の補助制度はある。	商工観光課	商工団体に確認いたしました。が、詳細情報不明です。移動販売車に対する支援は継続して実施しております。
10	01宇和津	10	放課後子ども教室を利用している。他の利用者も預ける場所がなく、利用していると思うが、支払い方法が、銀行窓口や公民館などあるが、仕事のため支払いができず、有休や他の人に頼む人がいると思う。利用者に寄り添った支払い方法を検討してもらいたい。	放課後の子どもの居場所は、市運営や市補助での民間運営があると思う。支払い方法は、市税も2年ほど前からカードやペイペイなどで支払いができるように変えてきた。この点は認識していなかった。まずは確認し、できるだけ解消ができるようにしたい。	生涯学習課	子ども教室利用料は毎月ではなく、学期毎にご請求させていただいております。納付は、金融機関ほか、子ども教室を開催している地区の公民館でもお支払い手続きができるようにしております。ご指摘のあった利用者負担金の支払いについては、口座振替の導入について検討を行いたいと考えております。
11	01宇和津	11	愛宕山から町を眺めることがあるが、公園の木が鉄棒に寄りかかっていたり、朽ちた木があり残念に思う。市の管轄か分からないが、管理をしていただければありがたい。	愛宕山の公園は都市整備課の管理になる。鉄棒に寄りかかるのは厳しいところなので、担当に伝え、何らかの対応をする。トイレの掃除などはしているが、利用者目線の管理ではないので、担当が現場管理してできることはしていきたい。	都市整備課	鉄棒に寄りかかり危険な桜については根元から伐採し、歩行者通路上の枯枝につきましては剪定いたしました。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
12	01宇和津	12	伊達博物館の建設予定地は地盤が軟弱なはず。県の液状化で非常に危険と認識している場所になる。そこに建てるにあたり、その対策はどの程度の費用になるか。どのくらいの費用かを確認して、着工してもらいたい。費用が48億円以内でなければ、立ち止まるべきと思う。限られた財源の中で、一定の限度額は設けて、ある程度様子を見ることも必要と思う。	液状化対策費の細かい数字は承知していない。城南中学校が杭を打って施工していることなどの事例は確認している。今の段階では分からないが、業者が設計しているところになる。 平成25年くらいに伊達博物館の壁がはがれ、建替えか修繕かを考え、大規模改修を実施した。その後、建替委員会の協議を踏まえ、検討してきた中で、48億円税込みの建設費であるが、財源については都市再生整備事業、国の2分の1の補助事業を活用して、市の持ち出しを減らそうと考えてきた。伊達博物館とやすらぎの里が大きな事業と先ほどあったが、病院のエネルギーセンターもこの国の事業を活用して実施している。市が何もしなければ、38億円程度は国からもらえない費用になる。価格高騰についてはご理解いただきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館	巨大地震発生時に、仮に液状化現象が起こったとしても、建物本体には影響を及ぼさない工法（杭基礎）を取っております。総事業費約48億円のうち市の実質負担額は10.3億円と試算しています。
13	01宇和津	13	南海トラフ地震はいつ起きるか分からない。その際に、消防職員の役割は大事になる。今の消防署は浸水するし、南海トラフでは20数分で第1波が来る。私は車で避難しようと考えているが、消防署の車の避難対策はどう考えているか、移転は考えていないか。	まとまった土地がない中で、消防の車は高台や北フジに車両を移動させる方法をとっていることが現実。また、消防署については、移転することで検討している。ただし、出勤時間のバランスもあり、場所は相当慎重に選ばないといけない。浸水域からの移転であれば、同じ浸水域には移転できず、土砂災害も考慮しないといけない。高台移転では消防のバランスが崩れ、人口が集中するところでは脆弱となる。慎重な検討が必要。	消防本部（危機管理課）	危機管理課：消防本部を事務局とする整備検討委員会で、複数の建設候補地について検討しましたが、災害リスク等の懸念事項が排除できない等の理由により断念するに至り、現在も有効な候補地を示すことができない状況です。
14	01宇和津	14	天赦公園に伊達400年祭で植えた桜の木を、さくら開花宣言と同じ日に5本引き抜いている。17日にも5本引き抜いている。工事のためと言っても、寄附した人は通知が来ても納得していない。20万円寄附した人には直接聞いたが、さくらが見えるから寄附したと聞いた。また、抜かれた根の養生もされず、短く切られていた。17日は私たちが言ったので養生していた。市長や市役所にも電話があったと思うが、せめて桜を咲かせてからと思う。市長には情けがないのか。通知を出した人の気持ちが分かるか。	通知を出したという意味は受け止めていただきたい。咲き誇ってということは心情的には分かるが、造園業者から咲く前にエネルギーがあるとのアドバイスのもと、2月末から3月に移動するようにした。開花宣言の日に重なったことはタイミングが悪かったと思う。これからもタイミングは配慮していきたい。	都市整備課、企画課（文化・スポーツ課伊達博物館）	都市整備課：今後予定しております桜（ジンダイアケボノ）の移植等の時期につきましては、桜の葉が落ちている冬場で、根が活動を始める前の2月末までに移植を完了させるよう細心の注意を払ってまいります。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
15	01宇和津	15	伊達博物館の実施設設計の話が出ている中で、博物館法に基づいた契約書を今年3月末には寄託契約を結ぶと聞いていたが、更新したか。契約書といっても、平成22年4月1日に前市長と伊達の契約書があったが、今回のことがあり、契約を更新したかと確認している。一番の問題は、所蔵品の所有権が伊達家にあることと、そこに税金をかけることが疑問に思っている。	契約書について確認させていただく。展示する品は伊達博の物になるが、市は歴史はなく、伊達文化保存会が持っているもので本市の文化を披露している。契約により借りて、運営することを選択しているところと認識している。	文化・スポーツ課伊達博物館	—
16	01宇和津	16	伊達博物館建設はどのような発注をしているか。伊達博物館にある木はどうするか。	提案型の発注になる。あんずの木などは確保するが、すべては分からない。生きていけるものなので、大切にしていきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館	基本計画策定及び設計業務等についてはプロポーザル方式にて発注。本体工事は入札、展示製作業務は展示設計受託者に特命随契。 現博物館の樹木については未定。児童公園整備に伴い検討。
17	01宇和津	17	基本設計ができているか。その際には市民説明会をするか。1階部分はガラスのカーテンでいくのか。	基本設計ができ、実施設計をしているところ。基本設計で説明会をしているので、実施設計では説明会は予定していない。他の施設でも実施設計の段階では説明会は開いていない。詳細、微々たる変更はあると思うが、基本設計が基本になる。	文化・スポーツ課伊達博物館	—
18	02下灘	1	海ゴミの話があったが、河川のゴミについても検討してもらいたい。畑地小学校の前になるが、河川沿いに災害が起きやすい状況になっている。川の増水や台風時期には消防団が警戒している。大きな木が川の中心にあり、流れを防いでいる。予算的にも大変と思うが、300m程度の長さになる。草刈りなど自分たちができることはしているが、高齢者も多く、川の中まで入って、木を切ることは大変な作業になる。学校の子どもたちは、大雨警報が出ると、山の方を通行している。川の雑木が多く、畑地のコミュニティセンターの前、小学校を中心に150m程度整備してもらわないとボランティアでできるものではない。災害が起きる前に計画を立て、取り除いていただきたい。	現場は十分に承知している。また、海ゴミは8割が河川から流される中で、投棄される懸念もあり、深刻な問題と思う。河川の管理者は愛媛県になると思う。市が何もしないというわけではなく、市担当から県に打診することはしていきたい。すぐに対応できるかは分からないが、しっかり伝えておく。また、通常の河川の清掃については、吉田町では河川の清掃ボランティア募集がSNSで何度もあり、秋以降には電子地域ポイントで協力に対してポイントを付与したいと考えている。協働のまちづくりを進める中で協力いただきたいと思うが、まずは、市から県に伝えたいと思う。	建設課（生活環境課、デジタル推進課、市民課市民協働推進室）	—
19	02下灘	2	高速道路インターの建設に伴い、土場で堤防を仕切る図面になっているが、そうすると水の流れも変わってくるのではと気にしている。工法は聞いていないが、工事の用地買収は終わっている。また、川の雑木によって、流れたものが溜まっているので、取り除いて、流れを良くするようにしてほしい。現場を見てもらえれば分かると思う。	工法については、国から河川管理者の県に説明していると思うので、そのことも心配していたと合わせて説明させていただく。	建設課	津島道路を建設している国土交通省大洲河川国道事務所に確認したところ、「日頃より、国土交通行政等にご協力頂き誠にありがとうございます。ご質問の件のうち、津島道路のインターについてご返答させていただきます。 インターチェンジ周辺で芳原川を渡河する橋梁において、河川内に橋梁の下部工など構造物は設置しない計画となっております。 今後とも、ご協力のほどよろしく申し上げます。」とのことでした。 なお、河川の堆積物については市から愛媛県に伝えております。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
20	02下灘	3	国土調査について、宇和島圏域の進捗状況はどの程度か。津島では御槇、清満、岩松が終わり、畑地が調査中と思う。優先順位があり、北灘の後に下灘と聞いている。下灘はいつ頃になるか。嵐地区は首を長くして待っている。	進捗率は数字を持ち合わせていない。どの時期に下灘に入るかは進捗によってなので、確認して、津島の状況、全体の進捗率、今後の予定について、後日お答えさせていただきます。	国土調査課	●圏域進捗状況 宇和島市：74%（令和4年度末） その他の町は完了：松野町（昭和53年）、鬼北町（昭和63年）、愛南町（昭和59年） ●実施済地区 御槇、清満、岩松、下畑地（令和6年度までの予定）。 ●今後の予定 上畑地を令和7年度から調査開始予定であるが、現時点では北灘及び下灘の実施時期は未定。
21	02下灘	4	南海トラフの津波が心配であるが、各地区には独居老人が数名いる。津波から避難したかを確認しないといけないと思う。高知県での避難対策は聞くが、避難した際に印・合図があれば家の中まで入らなくても分かるので、市で何か作成してもらえないか。 2）消防団との連携も必要と思うが、玄関先に黄色いハンカチや目印に分かりやすいものを統一してもらえれば、中に入らなくても分かるようにしてもらえればと思っている。	独居の方はこれかも増えていくと思うが、個人情報の取扱いがあり、防災士では平時にやりにくいことも事実。どういった形ができるか、高知の事例も勉強させていただき、導入を含めて検討させていただきたい。 2）連携する機関全体として考える問題と認識している。危機管理課を含めてどういうところがあるか検討していきたい。	危機管理課	独居高齢者で配慮が必要な避難行動要支援者については、それぞれの個別避難計画策定を防災士連絡会へ委託事業として、民生委員の協力を得て進めている。加えて、今年度から福祉課、高齢者福祉課では社会福祉協議会、ケアマネージャへの委託により個別避難計画策定を進める予定です。
22	02下灘	5	地域づくり協議会の会長をしている。防災備品を3年ほど、廃校に配備して回っていると錆びで学校のカギが開かないところもある。いざ、避難するときにも開かない状況になることを心配している。 また、避難場所になっている管理を地域の住民と話し合いをして、行政が主体となって進めていただきたいと考えている。中の状況も確認して、管理をしておいた方がいいと思う。備品持ち込み時に市の備品も設置しているが、業者が持ち込むのか、入口の方に設置しており、地元が運んだ。市がどのような備品を配備しているが地元も知っておく必要があると思う。	自助・共助・公助がある中で、自助・共助をしっかりとしていくことが、命を守ることにつながるかと豪雨災害で痛感した。危機管理課で検討していきたい。	危機管理課	廃校の鍵等については、教育総務課で管理しています。備蓄物資については、市備蓄計画に基づき、計画的に配備・更新を行っており、毎年の棚卸し等も実施し、状況を市HPIに掲載しています。
23	02下灘	6	海ゴミに関して、私は流れてきたものは取って捨てるようにしている。地元で若い世代は、海ゴミからどういう影響があるかは学んでいるが、上の年代はネットなどで知る情報に差があると思う。なぜこのままではいけないかを知る必要があるので、その周知をするようにしてほしい。	津島地区は魚類養殖で、下灘は真珠養殖で海の恩恵を受けてきた地区と思う。持続可能な産業とするため、海ゴミに関する理解は年齢関係なく必要と思う。県漁協が日本財団の補助により、パールの減縮装置や、真珠のブイを砕く機械、トラックを購入している。5月28日にキックオフの会をすることになっており、私も参加する予定としている。蔦淵でも同じことをしたが、年配の方も参加していた。チラシもできてきているので、ぜひ皆さんも参加いただければと思う。	生活環境課	—
24	02下灘	7	帆焼はバスも通っていない、また、道は広がっているが、須下はコミュニティバスですごい距離を通っているの、帆焼から須下に向けてトンネルを作してほしい。	トンネルについては、下灘に限らず、遊子のトンネルも災害に耐えられるかどうかの状況にある。また、国から必ず費用対効果を国から聞かれるので、難しいと思う。	建設課（企画課：コミュニティバス）	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
25	02下灘	8	子育てや移住促進に努めているとあったが、学校がなくなり、中学校の寮がなくなり、津島高校もなくなりそう。若い人の移住はなかなか難しい。また、年齢などで運転ができなくなり、コミュニティバスも土日は運転していない。地場産業の活性化が一番なので、力を入れていただきたい。3つの廃校に学校ができれば現場で勉強ができる。水産高も統合されると聞いたが、中央にという考えだけでなく、現場で学ぶ方法もあると思う。	コミュニティバスは病院、役場など平日に必要な移動として、安価に運行させていた。夏以降に土日にも運行する実証実験を予定している。その成果の中で検討したい。 地場産業での水産高の話は一例と思うが、水産高は現場には遠いが、様々な施設があり、南高と2つのキャンパスでと聞いているが、廃校の利用も1つのきっかけになると思うので頭に入れておく。地場産業にはこれからもしっかり力を入れていきたい。	企画課（教育総務課：県立学校の統廃合）	教育総務課：所管の県教育委員会から新高校の準備委員会が、本年度に立ち上がる情報はありますが、高校の廃校利活用自体は今のところ特に情報はありません。
26	03蔦淵	1	小学校の合併が近々あると思う。跡地利用を考えているか。	平成30年2月くらいに統廃合の指針を示していると思う。蔦淵だけでなく、他の地域でも学校を残していきたい考えはあるが、想像以上に少子化が進み、全市で年300人あまりの出生となっている。学校の統廃合については、現在、教育委員会が方針の更新を考えており、今年度の早い段階で地域のお考えを聞くと教育委員会から聞いている。廃校となる学校の取扱いは、地域がどう活用するかが主で、企業貸出をする地域もある。統廃合が決まっていない中、跡地利用は白紙であるが、地域に寄り添うことは間違いない。	教育総務課、企画課	教育総務課：現状では統合準備協議会という組織を立ち上げ、その中に教育検討部会、跡地利用検討部会を組織し、その中でどうするかを検討していく流れで考えています。教育検討部会は統合までですが、跡地利用検討部会は「廃校施設利活用のための基本方針」に基づき検討していくこととなります。なお、統合時に用途決定していなくても、年数経過した後においても、利活用する場合があります（九島・浦知・石応）。いずれにしても、市利活用の基本方針によるプロセスとなります。
27	03蔦淵	2	高齢になり、免許返上を考えているが、街中でボランティア活動をしているので、車での移動が必要になる。高齢者の移動手段の方法を市としてどう考えているかお聞きしたい。鬼北町や八幡浜市では地域のボランティアによる移動手段が始まっていることを新聞でも見た。市も率先して取り組んでほしい。5、6年前から言ってきたが、それに対する具体的な返事がなく、地域で何とかするように言われてきた。我々にも限界がある。市職員を配置し、実現に向かう努力が「共に創る」であり、そういう点が欠けていると思う。矢ヶ浜と大島にはバスは来ておらず、喫緊の課題。そのうちと言っていれば、年齢に限界が来る。有償ボランティアの仕組みを地域で作ればというが、現時点でも互助はあるが、知り合いの関係での繋がりなので、システム化してきちんとした形で運営するには行政の調整がないといけないと思う。市長が言えば、明日からでもできる。ぜひお願いしたい。	地域交通を考える中、宇和島自動の路線をどう下支えするかが基本と思う。蔦淵からはバスが出ているが、バスが撤収したところにはコミュニティバスを走らせている。コミュニティバス平日のみであるが、土日運行の実証実験を考えている。また、八幡浜市のような事例の1つであるが、戸島で地域に車を提供し、地域が車を走らせる実証実験を今年度から始める。矢ヶ浜までバスを運行させるのは厳しい状況にある。今日の意見を踏まえて、考えさせていただきたい。	企画課（市民課：免許返納）	—
28	03蔦淵	3	納税証明書など蔦淵支所で取り扱えない書類がある。本所に来るように言われるが、時間と費用が掛かる。市のサービスとしてきちんとしてほしい。	マイナンバーカードを利用してコンビニで住民票取得などはあるが、各証明書が取得できないことは、何かできる道を具体的に考えたい。	税務課（デジタル推進課、市民課）	—
29	03蔦淵	4	移住して何年かになる。今の移住者には支援金を渡すようにしているが、移住者はお金の問題で選ばない。そのお金を何か別のことに使ってほしい。	他の地域と条件でのせめぎあいをしていることもあり、また、移住されてからの手続きなどでつながるという面からも実施している。別のアプローチも検討させていただく。	企画課移住定住推進室	他市の事例を参考に、移住直後には金銭的な負担が大きいことから現制度を行っています。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
30	03蔣淵	5	やすらぎの里はどうするのか。何億もかかるのであれば、無償で借りている保育所に市の協力で風呂を整備してほしい。	やすらぎの里は就任時点で約2億円近い修繕費がかかっていた施設であった。理由としては地盤沈下や地中配管がある。以前は他にも民間の温泉があったが、廃業しており、市が維持しようとしている。今は基本設計をしているところになる。秋ごろから建物の取壊しに入るが、かなりの時間がかかる。来年の今頃から建築に入る予定であるが、もともとは沼地なので、地盤整備をしっかりとって、令和6年秋から建築をはじめ、まだ2年あまりの時間はかかる見込み。地元からも早くしてほしいと聞いている。	商工観光課、こども家庭課	商工観光課：基本設計時の概算事業費29億円。事業費を適正に抑えつつ設計作業（実施設計）を進めているところです。 実施設計 ~R5.11 解体工事 R5.10~R6.3 建築工事 R6年度~R7年度
31	03蔣淵	6	宇和島市の空き家バンクの敷居が高すぎるので、低くしてほしい。ここには移住者が多いが、空き家バンクに登録されていた家に住んでる人はいない。数も少なく、登録方法を担当課と話しても敷居が高い。	数については、協力隊が専従で活動しているので、それを含めてしっかり検討していきたい。	企画課移住対策推進室	空き家バンクの登録条件としては、①住宅として利用していた物件であること。②人が住める状態であること。③土地・建物が登記されていること。④固定資産税の未納がないこと。⑤建物が土砂災害特別警戒区域に含まれていないこと。としています。現時点で条件緩和は予定しておりませんが、登録件数の増加に向けて専従職員を中心に積極的な物件調査を進めてまいります。
32	03蔣淵	7	公民館から宿の浦に向けての道路が、柴田市長のときには毎年整備すると聞いたが、あれから進んでいない。蔣淵公民館から100m先がすごく狭くなっている。ここから先は市道でありずっと前から要望しているが、何もしていない。平成26年度の要望への回答は成の後に整備するとあったが、ここ数年は海の方角への拡張は難しいので、地権者との調整をと後ろに下がっている。	要望書などを確認しておく。	建設課	現在の住宅件数、交通量等を勘案すると実施の優先順位は低い。海側の埋立てによって市道を拡幅することは困難です。ただし、山側民地の提供が得られるのであれば部分的な拡幅による離合場所の確保は可能ですのでご相談ください。
33	03蔣淵	8	トイレの件について、市に話してきたが、何にもしてもらえない。矢ヶ浜は戸島の玄関口であり、トイレはなくてはならない。自宅にトイレを借りに来る人もいる。トイレを消防団詰所から借りて、ボランティアで掃除しているが、汚い。萩川のトイレや他のトイレはきれいであるが、矢ヶ浜のトイレは汚い。観光なら女性を呼ぶように、女性を呼べば男も付いてくる。トイレは皆する、市から年1万円もらっているが、紙代などの手出しもある。	トイレ清掃をボランティアでもらっていることに感謝している。トイレについては、今年度から老朽化を含めて、都市整備課でどう配置するかを1年間ですていく。観光客からもトイレがきれいかまちの価値が決まるといことはご指摘のとおりです。矢ヶ浜がハブになっているということもしっかり伝える。	都市整備課（商工観光課、企画課：公共交通）	商工観光課：地元自治会からの要望を受け、蔣淵分団第5部詰所トイレを釣り客等に開放しており、地元自治会に謝礼金年1万円を支給し清掃等を依頼しております。
34	03蔣淵	9	ちょっと極端であるが、最近、強盗殺人や闇バイトなどの報道がある。市内には防犯カメラがたくさんあるが、蔣淵にはない。防犯対策についてはどう考えているか。蔣淵で殺人などがあつた場合に、蔣淵では風邪でも引いたと思ひ、数日後にしか分からず、その時には犯人はもういない。細木運河に設置すれば、来なくなると思うがどうか。	市の施設へ設置しているところもある。道路上への設置は警察が許可を取りしているが、市では主体的にしていないのが現実。いわゆる監視社会という考えもある中でなかなかできていない。言われていることは分かるし、警察に提案できる内容ではないかと認識している。市内も広いので、カメラを管理できるか、また地域づくり交付金で設置する方法もあると思う。市で主体的に設置することは厳しいと思う。しかるべきところには警察には必ず伝えさせていただく。	総務課（企画課：地域づくり交付金）	—

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
35	03蔦淵	10	5年前に県外から移住してきた。日本中を回ったが、こんなにきれいなところはないと思った。夫が釣りをしたい夢が叶い、私は山が好きで鬼ヶ城を歩いている。鬼ヶ城の山道は70過ぎの人が整備しているので、市でも支援してほしい。滑床溪谷の管理も昨年解散し、なかなか手入れができていない。雪輪の滝のうちは倒木で通れなくなっている。チェーンソーが必要なので何とかしてほしい。観光資源にもなると思うので、休日にバスを出せば日本全国から人が来ると思う。	鬼ヶ城山系は観光客が最近多く、松野町と協議会で登山を含めて整備していこうとしている。鬼北町には山を案内する人がおり、鹿ノコルのトイレをどうするかを松野町と話をしている。登山道は野川、丸山、薬師谷と多くあるが、そこを整備するには至っていない。宇和島の登山会はクライミングでも力をいただいているので、観光の面からも何ができるかしっかり考えていきたい。また、鬼ヶ城トレイルランという50kmのレースを200人前後参加しており、その面からも観光の1つにしていきたいと思っている。	商工観光課	鬼ヶ城山系及び滑床の整備は、市、鬼北町、松野町、愛南町等と構成する滑床自然休養林等保護管理協議会で対応しております。鬼ヶ城トレイルランには市外から160名程度の参加があり、宿泊、飲食、買物などによる市への経済効果はおよそ160万円程度（@10,000円×160名）と試算しております。
36	03蔦淵	11	海洋ゴミの関係で、台風などでブイなどがあがってくるが、処分するときに普通のゴミでは出せない。どうにか対応できないものか。これまでは公民館で切って、出していた。処分するシステムを作ってもらえたらと思う。	今日、生活環境課と産廃と一般廃棄物の区別をやめ、何とか収集できないかと協議していたところ。県漁協の減容器を使うために、ストックする場所を考えている。また、持ち込む手法も考えている。離れた蔦淵でのゴミをどうするかも宿題として持ち帰る。	生活環境課	—
37	03蔦淵	12	宇和島市のバスを公民館に入れてほしい。年を取ったら、バスまで歩けない。とりあえず、公民館までバスを入れてほしい。	道路の話はできていないところであるが、バスの申請は国にしているものなので、下波のように小さいバスでできないかと思う。	企画課	—
38	03蔦淵	13	伊達博物館の建替えについて、パブコメ等をしているとあるが、南予文化会館での説明会にも行ったが、参加者が少なかった。十分な説明になっていないと思う。庶民感覚としてこれほどの施設が必要かと思う。県外から来たが、宇和島城、闘牛、大きなアーケード商店街のイメージがある。大竹さんも言っていたが、優先順位をつけるなら、あの商店街を何とか再生することに取り組んでいただきたい。商店街でボランティアをしているが、閑古鳥が鳴いている。市長が先頭に立てば変わっていくと思う。明日からでも取り組んでもらいたい。	商店街はかねてからの課題であり、おまち会議など取り組んできたが、一時の流れが終われば、効果が続いている。商工会議所も駅前から商店街の賑わいの取組みをしようとしている。GWに個人的に見に行ったが、お店だけでなく、複合していくことができないか考えた。現状はギリギリのところにあると思っている。商店街については、しっかり取り組んでいきたい。伊達博物館については、平成25年度にコンクリートが剥離し、今後どうするか課題が生じ、その際は大規模修繕をした。地域の文化財を確保していきたいという思いでスタートした。費用の48億円は、跡地整備、移転経費の3億円を含んだ費用になる。それ以外は、都市再生整備事業で国の補助を受け、起債を活用して整備を考えている。皆さんの道路整備要望と同様に市が国に要望して今のようになっている。市として10億円あまりは支出するが、闘牛などでこの前のGWは宿泊先がないほどであり、経済効果も大きくあると思っている。国にもきちんと整備するように話をしている。	文化・スポーツ課伊達博物館、商工観光課	文化・スポーツ課伊達博物館：基本計画説明会（令和2年） 11月17日 南予文化会館2回 11月18日 吉田公民館 11月19日 三間公民館 11月20日 岩松公民館 11月22日 南予文化会館2回 計7回 参加者総数 152名  基本設計説明会（令和4年） 8月7日 パフィオ2回 8月8日 岩松公民館 8月9日 三間公民館 8月10日 吉田公民館 8月11日 中央公民館 計7回 参加者総数 230名 ※8/7分はYouTubeにて配信  商工観光課：民営の商業施設であるため、市は側面的な支援を行っており、商店街の自主的な取組を支援（地域商業活性化事業）しております。
39	03蔦淵	14	今の伊達博物館の発言で市長と見解が違う。伊達博物館の展示物の所有権は伊達家にある。伊達家のもの、伊達文化保存会のものを市の税金を使って建設することが大変疑問に思う。本当であれば、1.8億円の維持管理費をもらうことが宇和島市の仕事と思う。	市は展示するものを持っていないのが現実。伊達家からの賃貸料は無しで、今は展示しているところであり、価値のある宝を守ることは市の責任と思っている。	文化・スポーツ課伊達博物館	寄託とは所有権を所蔵者に留め、たまたま、博物館で保管・展示等を行うことです。寄託のメリットとして、寄託者（所有者）にとっては適した環境で保存し、汚損盗難リスク回避できることがあります。また、受寄物（博物館）にとっては文化財を調査研究でき、展示等に活用できます。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
40	03蔦淵	15	伊達博物館の建設予定地は津波浸水区域ということなので、小学生が避難できる施設もあればいいと思う。	宇和島城は海城であり、周辺は埋立地が多い。伊達博物館だけでなく、より早くより高いところへの避難を訓練している。貴重なご意見として受け止める。	文化・スポーツ課伊達博物館（危機管理課）	文化・スポーツ課伊達博物館：想定されている津波の浸水深が4.5～5mとされていることから、収蔵庫及び企画展示室は地盤面から5m以上に設置することとしております。また、一階部分を含めた本体の構造につきましても、津波による被害が想定されていることを前提で設計を依頼しております。施設の性格上（1階は津波を被害を受け、2階は収蔵等機能を集約）の問題から避難所とすることは想定しておりません。
41	03蔦淵	16	宇和島市には映画館もボーリングもない。パチンコしかない。宇和島市にもミニシアター、ラウンドワンなど楽しめるものを作ってもらいたい。これからどう考えているか。	直営で映画館は難しいと思うが、先ほどの商店街の活用でそのような施設もあると思う。利用者の分母が少ない中、誘致等が難しいと聞く。	商工観光課	商業施設の進出は、民間の取組を期待しているところです。商店街の自主的な取組は支援しております。（地域商業活性化事業）
42	03蔦淵	17	津の浦からの県道の本がすごく伸びていて、非常に危険な状態。県が年1回、自治会が年2回手入れをしているが、10年ほど前は県がきれいに整備していて、自治会の年2回の手入れで十分だった。今は伸び放題で危険。私は週3回は通行しており、何回も危ない目にあっている。バスも上面が接触していると聞いている。市からも何かできないか。	薬師谷の市道は指摘があれば、すぐに手当てをしている。県道の管理になるので、市の担当課を通じて県に伝える。	建設課	—
43	04市役所	1	参加人数を見て、市民の関心度が低いと感じた。問題点は今の宇和島では伊達博物館とやすらぎの里がある。市民が望んで建設を進めているかどうか。	この会場の参加人数については、中央会場になるので、それぞれの場所で参加いただいていると思う。 伊達博物館とやすらぎの里以外にも市立宇和島病院のエネルギーセンター棟の建設をしている。伊達博物館は大規模修繕をしたが、大切なものを預かり展示する中で、しっかりしたものをというのがきっかけになる。やすらぎの里は、市内で少ない温泉施設になる、市民からの声もあり、1か所だけでも温泉に触れる施設があるべきと思っている。建替えが必要なのは、元は沼地であり、地盤沈下がすごかった。市議時代から2億近い投資をしていることを知り、根本的な問題の解決が必要と感じた。病院は東日本大震災以前に建設しており、免震構造ではあるが、東日本大震災以降に浸水域と想定された。四国西南地域の核になる病院であるので、南海トラフ巨大地震の前に電源の確保をと考えている。加えて、医局のスペースが手狭になっていることもあり、エネルギーセンター棟の下の部分の活用や、福祉避難所としても活用していくこととしている。 やはり気になるのは財源と思うが、国交省の都市再生整備事業を活用し、2分の1の補助を受け、残りは起債、有利な借金を活用し、全体で1.5割の負担で事業を行い、それ以上の効果を地域にもたらしたいという考えで進めている。	市長公室、文化・スポーツ課伊達博物館、商工観光課	商工観光課：やすらぎの里については再開を望む声多いと認識しており、これまで基本計画策定時には検討懇談会、基本設計作成時にはパブリックコメントによって市民の声を聞きながら進めております。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
44	04市役所	2	I P Uの廃校に伴う、人口減少と地域全体の経済効果はどうか。ある市議は5億円の経済効果があったと言っていた。	I P Uを市が運営することを断念したのは、当時、山口県の東京理科大学へ長い間、補助して運営してきた上での公立化であった状況を踏まえ、本市がそのような積み上げたものではなく、公立化し運営できるか、また、建物の耐震性がなく改修が必要なこと、学生がI P U本体からも来ている中、自分たちで継続できるか検討した。また、5億円かは分からないが、学生の生活費など経済効果はあったと思う。しかし、都会でも学生が減っている中、総合的に考え、断念した。経済効果は賄えないかもしれないが、移住などで頑張っていきたい。	企画課	—
45	04市役所	3	魚市場の大浦の移転によるメリットとデメリットを聞きたい。	魚市場は築地にあったが、老朽化、非耐震、衛生の問題などから、大浦に移転することになった。メリットは、衛生面が向上し、作業スペースがかなり広がっていると思う。デメリットは、大浦地区の住民が鳥の害の懸念があり、運営する県漁協がしっかり管理しないといけないと思っている。	水産課	—
46	04市役所	4	榊崎の歴史資料館の活用方法が何をしているか分からない。これまでは高島華宵の展示があったが、今は何か分からない。	歴史資料館は、平成4年に今の場所に移動している。先日、愛媛経済同友会の美しいまちづくり賞を受賞した。高島華宵展以外はいろんな展示などに活用しているが、もっと付加価値をつけるための活用方法はあると思う。担当課を含めて考えていきたい。	文化・スポーツ課	高島華宵展は現在も年1回開催しています。 (R4) 9月10日～12月11日 大正愛情物語～華宵が描いたきずな～ (R5) 4月29日～7月9日 華宵の世界 ア・ラ・カルト  ※高島華宵展以外の小規模イベントも実施しています。 (R4) ①塗り絵(年間実施中) ②宇和海の生き物～みて・ふれて・かんじる標本～展示 (協力:宇和島自然科学教室) 【ワークショップ】 ・プラスティネーション標本づくり ・化石レプリカづくり ③版画体験教室 ④鋳造体験「青銅鏡づくり」
47	04市役所	5	子育て支援の分野でおもちゃ図書館という、面白い事業をしているところがある。また、松山市ではリサイクルしたおもちゃを市が集め、ボランティアが50円程度で貸し出しをする事業がある。宇和島にもあればと思う。	おもちゃ図書館は以前にお聞きしたが、おもちゃ博物館を全国13か所のうち、2か所を視察した。おもちゃ図書館については、あれから十分に調べられていないので、しっかり調べたいと思う。良いものは取り入れたいと考えている。	こども家庭課	今後、子育て支援策の充実を検討する中で参考とします。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
48	04市役所	6	障がい者施設が市には多いが、障がい者の作業所も多いと思うので、高齢者を支える雇用に障がい者も加えることができればと思うが、市長はどうお考えか。	障がい者雇用は、住み慣れたところで活躍するために重要な提案と思うので、そういった方々にも力添えをいただけるようにこれからもしっかり考えていきたい。	福祉課（高齢者福祉課）	福祉課：「障害者の雇用の促進等に関する法律（障害者雇用促進法）」において、民間企業、国、地方公共団体は、法定雇用率以上の障がい者を雇用しなければならない。（法定雇用率：民間企業2.3%、国・地方公共団体2.6%、都道府県等の教育委員会2.5%、※雇用率については、段階的に引き上げ）また、障がい者差別の禁止、就労機会や待遇を平等に確保するための合理的配慮の提供、相談窓口の設置など、必要な体制の整備や障がい者からの苦情を自主的に解決することが努力義務。障がい者の社会参加と経済的自立に向け、ハローワークや障害者就業・生活支援センター等と連携し、障がい者雇用の促進に努めるとともに、雇用前から雇用後の職場定着まで、一貫した支援を提供できるように努めています。 高齢者福祉課：子どもも高齢者も障がい者も集まれるユニバーサルレストラン、九島「島の思い出ピアノ」（正和会運営）において就労支援事業として障がい者を雇用しております。
49	04市役所	7	デジタル化について、4月から手のひら市役所、秋からとあったが、市の公式ラインアカウントの登録者は何名か。	[職員回答] ラインは9,632名。先日のお城まつりでも啓発したが、これからも増やしていきたい。	市長公室	—
50	04市役所	8	I P Uのさくらキャンパスの問題はどうなっているか。	I P Uのさくらキャンパスはまだ協議の段階であり、相手方のこともあり、ここで話せることはない。時期をみて説明する。	企画課	—
51	04市役所	9	市立病院の自家発電設備が地下にある。市役所も同じく地下にある。合併前になるが、やすらぎの里の地盤も問題が生じた。そういったチェックはどうしていたか、誰がゴーサインを出したか。市役所はできたばかりであるが、小型船舶が津波と一緒に襲ってくる場所であり、むき出しの建築物は良くないのが一般常識と思う。安全と言えるか。	建物の建設は安全性を考慮し、専門家の意見を聞き、やっている。市役所のコンクリが南海トラフに耐えるかは詳細は分からないが、耐えうるものと考えている。土地が狭く、まちをどこに作るかが悩ましいところで、もともとの場所で基準にあった安心安全な建物を建てていると思う。	財政課	本庁舎の地下にあった電気設備は、新棟の4Fに整備しました。また、高層棟についても耐震化を図りました。地震津波に伴う船舶等の侵入まで防ごうとすると、更に周囲に強固な施設が必要となります。したがって、災害の状況に応じて、当面の市役所機能については丸山公園（多目的広場クラブハウス）、中央公民館、あるいは、三間支所に移転し対応する想定としております。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
52	04市役所	10	市役所は海のそばであり、海拔は1.5m程度と思う。須賀川の氾濫や高潮の危険性がある中、地下に電気設備があるように建築がされたこと。伊達博物館の建設予定地は県の調査ではPL（液化可能性指数）値は30になっている。非常に地盤が軟弱な場所になぜ高額な建物を建てないとならないのか。設計後には説明会があると思っていたが、今回はしないということだったが、ガラスは地震などに耐えるか。1階のガラスは誰が考えても、耐震性はよく分からないが、地盤が軟弱なので、6.5mの津波に耐えられることは誰が考えても納得いかない。十分に対応できる構造物で考えるべきと思う。	周辺の工事事例を十分に調査し、基本計画、基本設計で市民の皆様に説明をさせていただいた。最後の詳細設計は建築のものなので、説明会は予定していないが、基本的には基本設計の内容になる。移築場所がなかなかない中で、前市長があそこで建てることを判断したと思っている。市役所の電源も4階に上げた。限られた土地でどうするか。伊達博物館も杭を打ち施工して建設するので、この庁舎と同じである。その点をご理解いただきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館、財政課（危機管理課）	文化・スポーツ課伊達博物館：想定されている津波の浸水深が4.5～5mとされていることから、収蔵庫及び企画展示室は地盤面から5m以上に設置することとしております。また、一階部分を含めた本体の構造につきましても、津波による被害が想定されていることを前提で設計を依頼しております。財政課：本庁舎の地下にあった電気設備は、新棟の4Fに整備しました。
53	04市役所	11	やすらぎの里でも地盤強化が十分して建築したはずだが、十分になされていないことを反省することはないか。	やすらぎの里は平成14年に建てられた建物になり、本来であれば、今でも利用されていると思う。詳細は説明できないが、地盤に対する対応が十分でなかったことが地盤沈下につながったと思う。同じことをしないためにも、地盤に対する対応はしっかりしていきたい。	商工観光課	再整備にあたっては地盤調査を実施。結果を踏まえて設計に反映しております。
54	04市役所	12	インバウンドや旅行者を受け入れる時代になり、クルーズ船も来るようになった。旅行、観光を日本が進め始めたところだが、南予は人が来にくい。そもそも何を主体に考えていくのか。宇和島城、伊達博物館、築地の歴史資料館などがあるが、観光しようとしても移動時間、移動距離が長い。どこを観光するかの問題がある町。点ばかりで線につながらない。最近はお城まつりを単発でしたり、牛鬼まつりがあるが、そこから何が生まれるか。それではつながらない。市民は冷めて見ている感じもする。若い人も取り込んでという気概は分かる。今の市長は若い人に目を向けると聞く。単発では時間もかかるので難しいと思う。	観光だけでなく、全体の話であったが、包括的にできていないのはその通りと思う。観光については、ストーリー性がないことは私も承知している。最近バイクなど自然を活用した誘致などの取り組みをしている。現在、民間の力を借り、観光コンテンツを作る事業もスタートしている。	商工観光課	一番の観光資源である宇和島城を中心とした観光振興を実施しているところです（お城まつり、謎解きイベント、城フェス等出店、シロシタ運営）。民間事業者の取組推進のため、「宇和島ならではの」地域資源を活用した観光コンテンツクリエイティブ支援事業補助金の制度を創設しを実施しているところです。補助金活用コンセプトを「宇和島城・宇和島藩の歴史と文化」に設定しストーリー性を重視しております。また、宇和島城の魅力発信を主眼とした「宇和島城謎解きイベント」を新規イベントとして開催し、市内外からの誘客により、市内の周遊を促し、市の歴史文化の魅力発信とともに経済効果を狙うこととしております。
55	04市役所	13	広報にあった大竹さんの話や若い子の話で、がんばっているイメージはあるが、芸術や音楽に市民がこんなにも興味がないかと思ふ。若い人が活動しても市民に関心がない。そんな人が多いことはとても悲しいこと。	美術に興味がないということではないと思うが、注目していただけるきっかけの1つが伊達博物館と認識している。大竹さんにはパフィオで力添えをいただいている。	文化・スポーツ課	—

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
56	04市役所	14	息子が20年近く前に県外の大学に行った。市の人口を増やすには大学を作るのがいいという話を聞いた。学生だけでなく、家族の移住なども見込める。息子の大学は山を切り開いたところであったが、数年で移住者が増え、小学校もいっぱいになったと聞いた。人を呼び込むにはそういった案もあると思う。また、水産関係者からは水産大学をどう考えているかという話を聞いた。コロナ禍で市長が頑張っスーパーで売っていた姿も見た。水産大学を作ってほしいと要望しているが、なぜしないかと水産関係者は話している。	水産大学は以前から話があるが、水産高に付加価値をつけるなどあったが、できていないことが現実。	企画課（水産課）	—
57	04市役所	15	学校の先生から、部活動のことを教育委員会に言っても学校で先生で対応をと言われ、部活動の民間移行は考えてないと聞いた。	進学する中学に部活がないことは悲しいこと。部活動の地域移行については、教育委員会は県内でも1番協議を進めている。国や県の方針も考えないといけないが、これからは努力を重ねていきたい。	学校教育課	令和4年度には、検討委員会の準備会を立ち上げ、3度にわたって協議を行い、宇和島市の移行のあり方について検討しております。
58	04市役所	16	I P Uは岡原市長のときに廃校にしたが、その時に水産大学に移行する方向性はなかったか。	I P Uのときは、教員も一緒という話だったので、水産大学という選択肢はなかった。	企画課	—
59	04市役所	17	宇和島市には400年の歴史と文化がある。そのストーリーを市民が理解し、夢と希望を持つまちづくりをしないといけない。そういった考えのもとに協議がされていない。伊達博物館建替えは50年100年に一度の文化事業。地域をつなぐ形に捉えたまちづくりを考える必要がある。伊達博物館は3,000人以上が反対している中、縮小や変更をしないことが不満にあると思う。南予の中心であるという大きな視野に立ち、都市計画、大きなビジョンを抱えないとそういったことも見えてこない。	歴史文化のある宇和島でのストーリー性の問題は承知している。歴史文化を子どもたちにどう残していけるか。伊達博物館は軸になる施設なので、これからの活用を考えていかないといけないと思っている。	文化・スポーツ課伊達博物館（都市整備課）	都市整備課：新伊達博物館を大きな軸とし、その周辺整備やまちなか全体の回遊性の向上にかかる整備について、第3期都市再生整備計画の中で検討してまいります。
60	04市役所	18	地域の歴史文化を大衆的な歴史講座をしないと市民が誇りに思わない。もっと行政が投げかける姿勢をとってほしい。	伊達博物館は伊達家の品だけでなく、偉人の歴史も含めた博物館になる。講座はこの時点で考えていきたい。	文化・スポーツ課	コロナ以前は2カ月に1回程度市民文化歴史講座「そこどこや」を開催していた。今年度の下半期には宇和島の偉人等の講座を再開したいと考えています。
61	04市役所	19	これまでも言ってきたが、宇和島の文化に興味を持たない理由は、貧困問題がある。宇和島はひとり親世帯が多い。松山ではひとり親世帯にアンケートをしている。経済的に問題があると物事に興味を示しにくい。また、学力テストが最下位になっていたのも親の貧困の問題がある。松山市はワンストップサービスをしていたが、今回1階になり、大体できるようになっている。身寄りがいない人の手続きをしたときに、5階の納税課に行けと言われた。職員が移動すべきと思う。丁寧にアプローチしないとけない。福祉問題にかかるが、こちらから申請しないとけない。マイナンバーは積極的にしているが、福祉分野でもアプローチしないとけないが、その前に、ひとり親家庭の問題を考えてほしい。2年ごとに県からデータが来ているので、一度見てほしい。西予市との比較や、アンケートをしないとけない。	福祉部局でアンケートはしている。アンケートだけでなく、施策に移すという話と思うので、肝に銘じる。ワンストップは職員の考えで徐々に進んできている。アウトリーチ、発信は行政として本当にテーマと考える。大きな課題と思うがしっかり対応していきたい。小中学校の成績は南中学校は入っていないので、それについてはご理解いただきたい。	こども家庭課、福祉課（学校教育課：学力テスト）	学校教育課：一般的に、親の貧困が社会問題化しているのは事実です。市では、親の貧困と子どもの学力の相関関係に関するデータがないので、親の貧困が学力に影響しているかどうかお答えできません。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
62	05岩松	1	<p>やすらぎの里について、出荷者協議会の出荷者が建替工事中は販売できないと思い、市役所へ要望して仮店舗で販売するようになったが、問題が生じている。</p> <p>建替後はレスパスが指定管理者になるが、建て替わる間の管理者がいない状態になり、販売する人がいない状態になる。出荷者が生活するのに困るので、私の方にもかなりの声がある。市役所と1年近く協議してきたが、なかなか管理する人が見つからない。仮店舗ができるまでは近藤会館が販売しているが、仮店舗になると、売り上げが下がり、運営できないと近藤会館は思っている。新しい指定管理者にも断られ、探しているが、難しい。</p> <p>先日の役員会で市役所にも来てもらい話したが、管理者は出荷者協議会で探すように、赤字補填もできないと話があった。出荷者協議会は126名いる、困っている中で、はしごを外すようなことは止めてほしい。総会に市長に来てほしいとお願いしたが、役員会で話したので行けないと言われた。市民の声を聴いてほしい。総会に来て、声を聴いてほしい。</p>	<p>この件については、こまめに話を聞いている。他の場所での仮店舗の話もあったと思う。移転にかかるのは市の負担で予算を積極的に付けてきた。販売のことに関しては、はしごを外すというのは、市の言い方が分からないが、利益を生むことなので、民間ですていくことがどの道の駅でもしていることになる。私の方では、会員で合同会社を設立するとも聞いている。</p>	商工観光課	<p>出荷者協議会からの要望に対応して、太鼓保管庫兼防災倉庫（仮店舗として利用予定）を予定を早めて建築中（8月中完成見込）です。</p> <p>特産品販売は営利活動であり、市が運営や赤字補填を行っておりません。（他の物販施設も同様の対応）</p> <p>出荷者協議会の前向きな取組を支援してまいります。</p>
63	05岩松	2	<p>合同会社とあったが、出荷者は1市民、農家でなかなか現実的ではない。近藤会館は言って来たらやってもいいが、売り上げ見込みは確実ではないと言われ、現実的な話ではない。市と話したいと、お願いしたいが、なかなか話を聞いてもらえる状態ではない。やってくれてもいいところがあるので、もう少し話を聞いてほしい。</p>	<p>他の場所もあったが、売り上げが下がることも市から話していると思う。仮店舗にかなりの額を負担しているということもご理解いただきたい。移転し、10月から本格稼働する中で、決してはしごを外しているわけではない。しっかり話を聞くようにと担当には伝える。</p>	商工観光課	<p>出荷者協議会からの要望に対応して、太鼓保管庫兼防災倉庫（仮店舗として利用予定）を予定を早めて建築中（8月中完成見込）です。</p> <p>特産品販売は営利活動であり、市が運営や赤字補填を行っておりません。（他の物販施設も同様の対応）</p> <p>出荷者協議会の前向きな取組を支援してまいります。</p>
64	05岩松	3	<p>今の件に関して、次の指定管理者レスパスが、10年間の指定管理を受けるが、新しくなってからでないと管理しないと聞いた。新施設までの管理を受けないのであれば、レスパスにさせる意味がない。赤字になるかもしれないが、市民が困っている、開店したら絶対にもうける。負の部分も受けるのが筋と思う。</p>	<p>契約の面で、ノウハウを含めて早めに、長めの指定管理としている。この部分はもとの仕様には入っておらず、別の部分として考えていくので、ご理解いただきたい。</p>	商工観光課	<p>指定管理期間以外の対応は指定管理者が検討の上、管理しない方針と判断されたものです。</p>
65	05岩松	4	<p>南レク、近藤会館が経営してきたが、地盤沈下は南レクから始まった。本当なら、施工業者を訴えたいと思うが、調べたら、施工業者はやめており、設計会社は関係ないという回答であった。津島町のときの町長が進めたという話を聞いたが、誰が責任をとるかは、今の市でないといけない。市が穴埋めをしないといけない。伊達博物館、パフィオも赤字経営であるが、お金を出しているのに、やすらぎの里は赤字にお金を出さないのはダメと思う。市民が経営努力をして、赤字が出た場合の補填を市がすればできると思う。市の補填がないと誰も受けない。仮店舗を立てて誰が運営するか。伊達博物館の運営費を税金で払うことに比べれば微々たるものと思う。光熱費などを売り上げだけで補填するという市の考え、市が赤字補填すれば管理するところもあると思うが、どう思うか。</p>	<p>色んな要素を混ぜられるとそうであるが、必要な施設として運営しているものもあり、一方、出荷協議会が利益を追求してするのは全く別のものとする。先ほど、協議会と話していくことは約束している。</p>	商工観光課	<p>出荷者協議会からの要望に対応して、太鼓保管庫兼防災倉庫（仮店舗として利用予定）を予定を早めて建築中（8月中完成見込）です。</p> <p>特産品販売は営利活動であり、市が運営や赤字補填を行っておりません。（他の物販施設も同様の対応）</p> <p>出荷者協議会の前向きな取組を支援してまいります。</p>

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
66	05岩松	5	<p>市の人口減少対策を聞いたが、現実に見えてこない。何が足りないか。新伊達博物館建設に48億円、国からの補助もあるが。素晴らしい金額と思う。県外の友人と3度博物館に訪問している。市役所勤務の友人に何度行ったか聞いても、行っていないと聞く。市長と職員の歯車があっていないと感じた。</p> <p>第86回議会で7回のタウンミーティングで市民にはおおむね建設承認をいただいたと認識していると発言した。ある議員は立ち止まるようにとの発言があった。</p> <p>若いころと比べ人口が大きく人口が減少している。高校の留学生を毎年10人募集して3人ずつ残れば人口が増える。</p>	<p>人口減少問題は一番の課題と認識している。移住フェアでは、仕事や収入の話もある。一方で、柑橘や真珠に関わりたいという方もおり、様々な補助制度で支援している。</p> <p>令和6年度からJAえひめ南がみかん学校を始める。また、南予森林アカデミーでは、2期目で5名が入っている。東京など遠くから来ている人もいる。これらの対象人数を踏まえ、支援を考えていきたい。</p>	<p>企画課移住定住推進室、農林課、文化・スポーツ課伊達博物館</p>	<p>農林課：JAのみかん学校及び森林アカデミーは、担い手の確保・育成を目的としており、移住者に限らず市内からも研修生を募集することとなっている。みかん学校は令和6年度の開校を目指して準備中であるが、森林アカデミーについては今年度で2期目を迎え、5名の研修生のうち1名が県外からの移住者です。移住就業フェア等を利用して情報発信を行い、同時に研修生に対する支援を実施することで、移住就業者を含めた担い手の確保・育成に努めてまいります。</p> <p>文化・スポーツ課伊達博物館： 基本計画説明会（令和2年） 11月17日 南予文化会館2回 11月18日 吉田公民館 11月19日 三間公民館 11月20日 岩松公民館 11月22日 南予文化会館2回 計7回 参加者総数 152名</p> <p>基本設計説明会（令和4年） 8月7日 パフィオ2回 8月8日 岩松公民館 8月9日 三間公民館 8月10日 吉田公民館 8月11日 中央公民館 計7回 参加者総数 230名 ※8/7分はYouTubeにて配信</p>
67	05岩松	6	<p>市長から移住者や若者の支援をしているとあったが、知りたいのはどのくらいの人口が増えているかの実績を知りたい。市の人口減少を見ても、増えることはない。これだけ減る中で、なぜ伊達博物館に48億円かけて建設するかの必要性が分からない。すべてが市の負担ではないが、10億3000万円かかる。これからの若い人に税金がかかる。コロナもあり、市が栄えているとは思わない。このお金をなぜ他に振替えないか。なぜ今か、これだけ必要なデータがないと納得がいかない。</p>	<p>各施策での増減は出ていないと思う。自然減が多い中で、全国でも減る中、増やす考えはなく、減らすスピードを遅らせようとしている。</p> <p>伊達博物館のスタートは10年以上前からになる。平成25年にコンクリートの剥離があり、大規模修繕をした。それからどうするかを5年かけて議論を続けてきた。建物が必要かという点、耐震性があり、歴史を残す。市の歴史を文化の象徴として見せる必要があり、今回の計画ができ、財源として、伊達博物館だけでなく、市立宇和島病院のエネルギーセンター棟の整備も都市再生整備事業を利用して2分の1の補助を見込み、進めている。</p> <p>10億円をどう考えるかは、色んな考えがあると思うが、残りの金額は伊達博物館建替えをしなければ、市には入らないお金になる。</p>	<p>文化・スポーツ課伊達博物館</p>	<p>総事業費約48億円のうち市の実質負担額は10.3億円と試算しています（HPで公表済み）。</p>

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
68	05岩松	7	総括すると病院の耐震費用を捻出するには、伊達博建替えもセットでないともえないということか。	病院のために伊達博物館を建て替えるわけではなく、別の価値観でしている。	都市整備課	伊達博物館、エネルギーセンターそれぞれ単独整備の場合でも、都市構造再編集集中支援事業の補助対象となります。
69	05岩松	8	別の話であるのであれば、文化が大事と分かる、病院も大事と分かるが、並立して考えることは違うと思う。優先順位を付ける必要があるのではないか。文化を同列に考える状況に今はあるか。最後の疑問は、前から話をしていたことは分かるが、状況は変わる。コロナや物価高騰の中、現状にあわせて変えることはできないか。	今の状況の前から、伊達博物館建替えを検討しており、議会にも説明し、積み上げた議論の中であり、補助事業でもあるので、変更はないと思う。6月からの商品券など、周辺よりも市民の支援にも取り組んでいると考えている。	都市整備課、 商工観光課	商工観光課：コロナ及び物価高騰対策として、数々の施策を実施してきたところです（市応援給付金、地域とつながる商品券、新生活様式対応支援補助金、コロナ融資利子補給等）。令和5年度においては、エネルギー価格高騰対策支援金及び第6弾地域とつながる商品券を実施し、経済対策を進めているところです。
70	05岩松	9	伊達博の土地を7,000万円支出すると聞いているが本当か。展示物を借りている、今までも修繕費として1,000万円払っているのは本当か。入館料が160万円程度で、8,000万円の赤字と聞いた。新博物館では倍の1億6,000万円かかり、5万人の入場者見込みと聞いている。 宝物は仙台も高知も全部寄贈されている。宇和島は借りているが、いつダメになるか分からないので、全部宇和島市に寄贈することもいいと思う。	借地料を支払っていたが、補助対象で、7,000万の15%が市の負担で周辺の土地の状況を確認して、購入している。 今お借りしている品は無償で借り、展示している。修繕は専門業者の見積をもとに、年間1,000万円の補助をすると聞いている。 5万人を目指しているのは間違いない。料金はこれから検討するが、赤字を解消することは難しいと思う。5月3日の闘牛大会でも2,000人が来場し、ホテルや飲食店もいっぱいであった。選んでいただく街となる活躍の一端を担ってもらえると思う。 文化財の所有は各地域によって違うし、仙台伊達家は宝物があまり残っていないと聞く。宇和島市ではお借りしているところであり、贈与という話は出ていない。お借りしてでも、展示をし、皆さんに知っていただく努力を重ねるしかないと思う。	文化・スポーツ課伊達博物館	寄託とは所有権を所蔵者に留めたいまま、博物館で保管・展示等を行うことです。寄託のメリットとして、寄託者（所有者）にとっては適した環境で保存し、汚損盗難リスク回避できることがあります。また、受寄物（博物館）にとっては文化財を調査研究でき、展示等に活用できます。
71	05岩松	10	住民投票を議会に投げたら、市民の声を聴かず進めていいという議員もいたと聞いた。議員も参加するようにお願いしていたが、その人は来ていない。議員も市民の声を聴く体制を作してほしい。	[職員回答] 議会に伝えておきます。	議会事務局	—
72	05岩松	11	様々な情報は市ホームページを見れば分かるが、見出しに工夫すれば、伊達博物館などの事業も分かりやすいと思う。 広報の挟み込みがたくさんあるので、何をみたら分からないと話があった。お知らせのチラシは別にした方が見やすいと思う。 県議会選挙もそうだが、行政の市民との向き合い方が変わってきているので、投票率が下がっていると思う。	ホームページの見せ方は今検討しているところ。広報紙がいろいろ挟まっていることは課題としたい。	市長公室、選挙管理委員会（財政課：主な建設事業）	財政課：今後の大型建設事業については、財政課にて集約（各課ページへのリンク）して、ホームページに掲載しています。
73	05岩松	12	今日の資料の見方が難しい。結婚出産子育ては何をしようとしているか分かりやすいが、他の自治体に比べ、どう支援をしようとしているか。金額の差など横並びでももらえればと思うので検討してほしい。	子育て施策の県内の比較については、資料にはないが、常に意識している。そのあたりも含めるようにしていきたい。	市長公室（子ども家庭課）	市長公室：配布資料に他市比較を記載すると複雑になるため、詳細な説明を希望する方には後日担当から説明するようにしたいと思います。
74	05岩松	13	ホリバタ事業は延べ人数か。地域の基幹公民館でもホリバタ事業のサテライト事業を考えてもらい、長期の休みに1回でもいいのでお願いしたい。	ホリバタ利用者は延べ人数になる。表現に注意をしていきたい。サテライト事業は検討したい。	市長公室（生涯学習課）	—

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
75	05岩松	14	地域づくり交付金はいいが、ここ数年は各地区でそのまま割り振りするだけになっている。自由と言っても税金なので、成果報告した方がいいと思う。	地域づくり交付金は若干増額している。市が対応できないことを地域でしてほしいと思っている。今後とも力を入れていきたい。	企画課	年度毎に実績報告書の提出を義務付けており、その中で成果報告等を行う仕組みとなっております。また、先進事例の紹介を広報等でも行っております。
76	05岩松	15	ホリバタ事業について、愛媛大学連携の最後の発表会の見学を希望したが、市から断られた。コロナのためかもしれないが、残念に思った。年をとり若い人と考えは違うが、若い人のことを知り、地域に残していきたいと思うので、発表会だけでも見学ができるように検討してほしい。	しっかり伝え、何とかかなえたいと思う。	生涯学習課	昨年度は、コロナウイルス感染拡大防止対策で受け入れをお断りした経緯があったかもしれませんが、これまで見学はできる限り受け入れてきており、今後も発表会をはじめ、可能な範囲で受け入れたいと考えております。
77	05岩松	16	やすらぎの里に出荷にしている。問題が早く解決するように望んでいる。 伝建（重要伝統的建造物群保存地区保存制度）は何十年前からなかなか進まず、銀行もなくなり、今更と思うが、住民が潤うようにとすごく期待している。住民はどういう活動をすればいいのか教えてほしい。	岩松の町並み、歴史そのものを、銀行がなくなる前に形にできれば良かったと思うが、住民の同意と一定の制限があるが、先人のものを残すことが歴史文化と思う。地元に対しても説明を始めているところであり、今年度中の申請を予定しており、様々な説明を予定している。	文化・スポーツ課	—

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
78	05岩松	17	隈研吾さんの伊達博物館説明のYouTubeを見た。公開承認施設の承認を受ければ、国宝の展示が簡単にできると聞いた。東京でしか見えないものを宇和島でも見ることがわくわくして、子どもたちの勉強にもなると思う。栲原には隈研吾さんの施設が5つあり、遠方からも人が来る。やすらぎの里も隈研吾さんがいいと思う。視聴回数はたった606回であった。市長からもPRをお願いしたい。	公開承認施設を目指して、建築、設計をしている。重要文化財の秀吉像があり、きちんとした施設でないといけませんが、他からも借りれるように公開承認施設を目指している。	文化・スポーツ課伊達博物館	—
79	05岩松	18	教え子の若い子がよく来てくれ、それが一番の楽しみ。住んでいるところは名古屋や横浜などで、宇和島なんかで暮らせるかと言われ、とても傷ついた。私は市外出身であるが、ここが故郷と思っている。家賃高い、行政も何もしてくれないとも聞いた。一方、宇和島で一生懸命暮らしている若い子はある。2、3個バイト掛け持ちしたり、スーパーを閉店間際でしか買い物をしないという子もいる。伊達博物館の建替えは高額であり、例えば、一般市民が半額弁当を買っているように、施工業者や設計業者も少しは節約するような作戦はできないか。一度立ち止まって、どうしても必要なところを確認する検討の余地はないか。	今まで議論していた中で、当初から5年経過して金額も変動している。ウクライナの影響などで物価高騰しているが、戦争が終わっても、人材が少なく、タイミングによって安くなる見立ては厳しいという話もある。金額はCM業者を入れ、設計が求めていることから努力をして押さえている。価格だけでやるべきか、建物を建てたいわけではなく、目的のために決意をもってやっていくので、変えてはいけないと思う。詳細設計の最終段階なので、どこまでになるか分からないが、担当には改めて話をしたいと思う。時期的には2ヵ月先ではない。	文化・スポーツ課伊達博物館	新しい博物館の建設は、文化財を保護するだけでなく、歴史文化を継承しながら地域学習や観光の資源として活用し、地域振興に貢献するために必要な事業であると考えています。コスト意識はしっかり持ち、いただいた御意見も参考にしながら「地域の歴史文化の再生、共創の象徴となるべき博物館」を目指してまいりますので、御理解いただきたいと思っております。 円安基調となっている為替の状況や、今後減少していく現場作業員の手配等を考慮すると、時期をずらしても工事費が安価になる可能性は少ないと感じております。南海トラフ巨大地震がいつ発生するかわからない状況を考慮しても、出来るだけ早く事業に着手する必要があると考えております。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
80	06明倫	1	<p>1) 2, 3日前に、お金の学校の講演会のチラシを見た。講演者をインターネットで調べると、1人は投資家、歌手と母子家庭で子どもの頃から苦労し、トップセールスをして金持ちコンサルになると決意してセミナーをしている。文科省はお金、金融に関するリテラシーに配慮している。2人目の講演者はニッケイグローバル所属でお金持ちのように見える。これを宇和島市役所とするのか。文科省の金融リテラシーを増やす仕組みを見ると、お金に関する情操教育。文科省はステップがあっている。いい大人でも、預金と保険が分からない人が結構いる。そういう人にリテラシーを増やす流れと思うが、市教育委員会は先取りして、お金の学校と思うが、それは最終段階になる。そういうセミナーを宇和島で開催するのはどうか。この講演のチラシは学校でも配っていると聞いた。そういう誘客の方法を使っている。まだ、教育委員会が方針を作っていないかもしれないが、そうであればセミナーはしなくていいし、作っているにしても、小学校で年2時間程度ではないか。わけの分からないし、筋が分からない。こんなものは即刻やめてほしい。こういう申し込みを教育委員会で受け付けていると思う。後援の伺いの決裁をしたものがチェックしていないということはガバナンス(管理)が欠如している。宇和島市の無知性をさらすようなので、これは止めてほしい。</p> <p>2) こんなところに頼むよりも、伊予銀行の方が筋がはるかにいい。1人の講演内容は、子育ての話を中心と聞き、お金の学校と関係がない。どんな話をするか分からないが、こう筋が悪いものを田舎の人は信じる人がいる。これが詐欺につながる可能性もある。</p> <p>3) 1人1台パソコンがあり、ちょっと調べたらすぐに、講演者の所属会社分かる。宇和島でこのような講演したと聞くと、営業マンが宇和島に行く。かなり気をつけてほしい。</p>	<p>1) お金の学校の講演については、講演者から後援依頼があったのは事実。市ではチラシだけでなく、調査をしている。書き方について、感じることはあると思うが、そういったことも踏まえ、後援したと今日聞いている。実際の中身は分からないが、主催者が開催することに了解をした。ご指摘については、教育委員会に伝える。</p> <p>2) ご発言は分かった。今回の講演は市の依頼ではなく、先方から後援依頼があったと聞いている。市が主体でなく、依頼を受け、審査し、後援を決めたものになる。</p> <p>3) 後援は市のお墨付けになるので、今後については、今の話を頭に入れておきたい。</p>	教育総務課、総務課(市民課協働推進室:消費者センター)	—
81	06明倫	2	<p>1) 教育委員会のガバナンス欠如については、これだけでなく、杉の皮、桜の移植の話もある。伊達博物館の採算計画も中学生でも書くかと思う計画。杉の皮は、みんな反感を覚えたと思う。あの木は単なる瓦につかうべきではない。桜の移植は、1月2月に移植するものと知人から聞いている。採算計算は、初年度6万来場すると、数年後にはだんだん減少する、2万がいいところと思う。初年度の数字で示している。5万であれば初年度は3倍程度を計算しないとイケない。そういうロジック無しで資料を作成し、全員議員協議会で回収したことも分かる。無様な資料は市民に出せない。こういう情報公開の仕方は止めていただきたい。前提条件には必ず根拠があるが、5万人の根拠が分からない。</p> <p>2) 精度を上げるよりも、ガバナンス(管理)を言いたい。そういう関心があるのか。よくこんな資料を出していると思う。情報公開請求があり、公表したと聞いている。</p> <p>重要文化財1点で、他所から借りて博物館を運営するとあるが、知人が企画展をするのに3年くらいかかり切りになっていた。学芸員があれくらいの人数では、いい企画展はできない。人が集まる企画展の文化財は貸してもらえない。市長の言葉で伊達博物館をどう整理するかが全然見えてこない。他の自治体では、検証会を自分で首長もいる、自分の言葉で市民に訴えている、それが分からない。</p>	<p>1) 杉の木の話は詳細は分からないが、いくらか使用すると聞いている。桜の木は、木に詳しい人や造園業者の意見の聞き、一番木が強いのは花が咲く直前と聞いた。開花日が移動日になったことは多くから指摘を受けた。1月2月にできなかったのは、寒すぎてはだめという条件も聞いており、段取りや手続きなどであの時期になった。しっかり対応していかないとイケないと思う。</p> <p>伊達博物館の来場者5万人について、指定管理にあたり、展示設計業務委託業者と職員で話しながら作成した。新しいところは人が集まり、減らさないようにすることがまさに運営と思う。令和4年度の決算の中でさらに精度を上げていきたい。</p> <p>2) 伊達博物館について、自分の言葉で言っているつもりであるが、伝わっていないようなので、これからも自分の言葉で伝えていきたい。</p>	文化・スポーツ課伊達博物館(都市整備課、企画課:桜の移植)	文化・スポーツ課伊達博物館:旧宇和島藩士が植林した藩造林(現在は国有林)を新伊達博物館に活用することについて、藩造林の用途としては、スギについては受付カウンターテーブル、ヒノキについてはカウンター後ろの壁面を見込んでいます。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
82	06明倫	3	魚市場から徳洲会への橋は着工からかなりの年数が経過しているが、いつ頃できるか。国、県、市どこがしているか。	大浦地区での橋梁については、国の補助事業で愛媛県が施工している。段階としては、今年度から橋脚の設置に入っていく。2020年中頃、令和7年くらいの完成見込みと聞いている。見返り橋が十分な機能を持っていないので、大浦とのアクセス、歩道の整備も予定している。市の役割としては、市道と交差する箇所整備や子どもたちの安全対策をしている。	建設課	—
83	06明倫	4	1) 教員を退職して10数年経っているが、児童生徒の不登校が非常に増えている。理由はいろいろあると思うが、1つの中学校で5人から10人。小学校をあわせて4、50人は不登校にあると思うが、市教育委員会がどの程度実態をつかみ、どのように子どもと親に対応しているか。 自然科学教室には、化石、岩石、水槽の水草と立派なものがある。市長はどこにあるか知っていますか。 2) なかなか高台なので見に来る人が少ない。どこか市内の皆さんが来られるような、空き教室への移設ができないかと思う。60歳で退職し、5年間は少年センターに勤め、青少年の補導や教育相談をしてきた。今でも月1回は車で回っている。15年前は卒業式で中学校に警察が立っていた。中学生や夜間高校生のトラブルも聞いていたが最近減っている。自転車のヘルメットを中高生が付け始めたのが、大きく影響があると思う。不登校が宇和島で出始めたのは35年くらい前になる。	1) 天神小学校と聞いている。 2) 不登校の児童生徒については、学校の先生たちは見放すことなく、親との対話などを行っているという。1人1台端末になり、家庭にタブレットを持って帰っており、オンライン授業も試みとしてやろうとしていると聞いている。 自然科学教室のことは、かねてより披露できる場所はないかというところで、天神小学校に置くことをかつて決めたと聞く。ご指摘のとおり、高台にあり、アクセスが難しいと思うので、検討したいと思う。 少年センターでのご尽力をいただき、かつては相当やんちゃな人もいたが、現在は状況に落ち着いているのは、少年センターの方々のご尽力と子どもたちも減っていることなどによるものと思う。ヘルメットとの関係は分からないが、教育委員会にも伝えておく。	学校教育課	不登校については、その原因や児童生徒の状況まで細かく学校で把握し、学校教育課でも共有しております。不登校児童生徒数は増加傾向にあり、家庭や関係機関と連携しながら、個別に丁寧な対応を継続しています。市が保有、自然科学教室が管理している自然標本のうち、空調管理が必要で劣化が懸念されていた生物標本（海藻、植物、昆虫類）については、令和4年度に愛媛県総合科学博物館に寄贈し、当館で保存・管理されています。化石、岩石、貝殻標本については、天神小学校の自然史資料室にて保管しています。非行行為に対する社会全体の認識や子どものストレス発散の方向性が大きく変わったことも一因であると考えています。ヘルメットの着用率の増加は、子どもたちが落ち着いてルールを守って行動できることが表面化した一例ではないかと考えています。
84	06明倫	5	隣の山に10年くらい前に太陽光が設置されている。避難場所にもなっているが、設置当初は葉っぱや赤土が流出し、排水路がいっぱいになるほどだった。そのころにたまった下水が上まで溜まり、排水ができていない。自分たちで撤去しようとしたが、鉄柵を除けることができず、何もできなかった。地域ができることはしたいが、できないことは市で対策を考えてほしい。	古城山は避難場所でもあり、大雨の後の話も聞いたことがある。箇所について、マンホールの所有も確認しないといけないが、排水ができない事情に対して、なるべく早めに解決しないといけないと思うので、担当者が確認して、連絡させていただく。	建設課（危機管理課：避難路）	建設課：ご指摘の箇所は市道ではありませんが、避難路となっているため、建設課で堆積土砂の撤去をしました。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
85	06明倫	6	<p>1) 城山の登山道に関して、タウンミーティングで何回も話したが、特に南の上り立ち門から天守に行く道が荒れている。学芸員にも伝え、部分的な補修はしているが、抜本的な工事をしないとイケない状態になっていると思う。特に南の石積みは自然と一体化していると思う。今朝もラジオ体操の帰りに県外の女性にあり、道順を教えた。観光客も増えている。抜本的な登山道の整備をお願いしたい。</p> <p>城山の樹木に関して、一時、元教員が名札を付けていたが、学芸員が全部外している。学芸員からは重要なものは付けると聞いたが、いまだ何もつけていない。立派な樹木があるので、天守、郷土館だけでなく、樹木の中に道を作り、森林浴や司馬遼太郎の本でも城山の樹木に関して大切なことが書かれている。城山の森の中を散策することはできないか。</p> <p>2) 数カ月前に学芸員と話している。登山道に関して、少しは整備しているが、舗装がはげてきている。抜本的なことをしないとイケない。宇和島のシンボルとして、非常に大切なものになる。</p> <p>3) 登山道の整備は市の裁量でできるのではないか。</p>	<p>1) いつも現場でのご尽力に感謝している。城山についてはいろいろ指摘を受けている。登山道の整備もかつて話をいただいていた。整備には整備計画を作り、文科省と協議して進めていくことになる。木の伐採についても自由がないと聞いている。現存天守を1つの売りとしているので、このことについては担当と協議していきたい。樹木の名札を外したことは聞いていないので、確認しておく。</p> <p>2) 整備計画を出して整備するが、最近文科省が観光にもシフトしてきている。工法についても指導があると聞いている。学芸員は認識していると思うので、再度確認しておく。森林浴は、山全体にルールがあるので、どこまで自由度があるかわからないが、宇和島城を起点とした市内周遊イベントを予算化しているので、今年度できることはやりたい。</p> <p>3) 整備計画が必要となる。過去の文科省であれば、手すりを付けることも、その時代になかったという指摘であったが、整備計画があればという形に変わってきている。</p>	文化・スポーツ課	<p>登城道整備は、策定中の整備基本計画の完成後となり、市権限でできる範囲は現状維持を図る簡易な修繕程度になります。樹木札については、城山を守る会で設置されていましたが、維持管理が困難となり、会員らに撤去していただきました。計画策定後は、石垣、建物跡、城道など城郭としての整備が主となりますが、植物についても重要なものは、計画の中で位置づけし、導線整備とあわせて名札設置を行う予定です。また、新道敷設は原則できないため、森林浴など自然に親しめるイベント形式の学習会や散策会を検討してまいります。</p>
86	06明倫	7	<p>1) 広報4月号に施政方針があった。3番に安心を創るがあり、最初にガン対策として2点記載がある(記載事項説明)。昨年夏にガンが判明し、手術、抗がん剤と市立宇和島病院で治療してきた。松山の病院に行く人があるが、市立病院では難しいと思うことが多々ある。ガン対策では、まずは市立宇和島病院で対応できるようにしてもらいたい。</p> <p>ウィッグの購入助成は、患者への支援になると思う。どこから出てきた話なのか。患者からの声になるか。</p> <p>2) 市議会が声を聴くことは基本で、声を生かした施策はうれしいが、もっともっと提案したいことがある。ガンになり初めていろんな人に話した。結構周りにもいるが、ほとんどが松山で治療をしている。話を聞くと、スタッフにはよくしてもらっているが、足りないことが多々ある。ガン対策をするなら、もっと広く意見を聞いてほしい。本当にガン対策をするなら、市民の検討委員会での意見の吸い上げなどしていただきたい。</p>	<p>1) ウィッグの購入助成のきっかけは、議会での質問であったこと。質問の元は市民からの意見だと思う。</p> <p>2) ガンに限らず、こういったお話は多くある。早期発見をして、体に負担がないようにと、考え、検診料の無料化と、少しでも負担軽減をということがウィッグへの対応になる。個別な話はこの場では控えていると思うが、よろしければ後で詳しく聞かせていただければと思う。</p>	保険健康課、宇和島病院医事課	<p>保険健康課：がん対策として現在行っている「がん検診」や「がん予防教育」を引き続き実施するとともに、新たな取り組みについては、丁寧な情報発信に努めます。今後も「地域がん診療連携拠点病院」の市立宇和島病院と連携し、患者様をはじめ様々な方のご意見をお聞きする等施策に反映していきたいと考えています。</p>
87	06明倫	8	<p>1) 20年後には人口が4万人を切るとあるが、そのときの市の財政状況、職員数、議員定数のシミュレーションはあるか。</p> <p>2) そのことは考えていけない問題ではないか。</p> <p>3) 議員の半減もあり得るか。1組の夫婦が何人の子供を作るか、日本全国で1.9人。なぜ減るかは、結婚をしないから。近隣市町と何回も婚活パーティをしてもらいたい。</p>	<p>1) 20年後のそれではないと思う。財政計画で5年後、10年後はあるが、そこまでのものはないのが現実と思う。議員定数については議会で話し合われる。</p> <p>2) 長期のそれは考えていけないと思う。</p> <p>3) 県と連動して実施しようとしている。結婚にも力を入れていこうとしているので、しっかり取り組んでいきたい。</p>	企画課、こども家庭課	—

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
88	07喜佐方	1	人口減少対策をいろいろしていると思う。兵庫県明石市は何年も連続で人口が増加している。結婚、子育て、出産の支援をしているが、明石市ではかなり住みやすい地域、子どもの入院費ゼロやいろいろとしている。明石市長の話もホームページを見ている。こうすればいいという意見があり、国会でも発言している。すればできている事例がある中で、宇和島市、愛媛県はどこまでできるか。人口減少に対する戦略があり、今まで効果がない中で、結果が出ているところと比べ、そこまでできていないのはなぜかと思う。	明石市のお話があったが、宇和島市でも子育て世帯を大切に、人口も減らないように努力をされており、市もそのような施策を意識している。医療費については、宇和島は中学生までは通院費もかからないようにして、3年目になる。明石市よりは遅くスタートしている。明石市は日本全体でも参考になるが、あとは地域性の差、大都市の近くなどの要因はあるが、何もしなければ明石市も増えていなかった。個人的にも明石市長とも話をしたこともあり、豪雨災害時には弁護士としてできることはずるとお話をいただいたこともある。子育ての分野ではトップバッターなのは間違いのない現実がある。明石市に限らず、素晴らしい事例については施策に取り入れたい。	企画課、こども家庭課	—
89	07喜佐方	2	1) ふるさと納税について、一時は県内最大で5億円近い寄附があったが、半分程度になっている。良いものはたくさんあるので、PRしてふるさと納税につなげてほしい。 2) 海と山のコラボ商品や、隔月送付の商品を揃える、カタログ販売などで新しい顧客を取り入れることができないかと考えている。	1) ふるさと納税がこれほど広がっていないときには県内でも一番であった。問題点を確認し、取り組みに変えていることとして、ふるさと納税のアクセス、ポータルサイトを増やすことをしている。納税者が好きなものを新たに取り入れ、また、これまで返礼品の申請も年1回であったが、随時、申請を受け付け、審査も頻繁に行うようにした。八幡浜、愛南が多いのは柑橘の存在がある。市場流通の柑橘は農協、共選の力でしているが、ふるさと納税についても農協に協力をお願いしようとしている。金額が目に見えるので、納税額につながるよう努めたい。	市長公室（農林課：JA）	—
90	07喜佐方	3	市役所2階大ホールに電動スクリーンがない。吉田公民館にもあり、会合で不便なのでぜひ設置をお願いしたい。	電動スクリーンについてはご不便をおかけしている。すぐにお約束はできないが、大型スクリーンは横に用意しているので、臨機応変に対応したい。	財政課	当面、保有している大型スクリーンでの運用をお願いします。大がかりな改修が見込まれるため、検討課題とさせていただきます。
91	07喜佐方	4	お試し移住住宅にいろんな人が来ているが、地域との関わりがどれくらいあるか。柑橘の収穫や釣りなど地元との触れ合いがあれば、お試し住宅の価値が上がると思う。入居者の要望にあわせて何かできれば双方楽しくできる。その後の交流にもつながると思う。	移住対策としては、フェアでもよく声をかけてもらっており、移住住宅も人気があると思う。相手方の希望もあるかもしれないが、どのような対応をしているか担当課に今一度確認しておく。貴重な意見をいただいたので、持ち帰り検討したい。	企画課移住定住推進室	移住体験住宅の入居時に、「要望記入表」にて、利用期間中、どのようなことをされたいかを記入していただき、その内容に応じて「うわじま移住応援隊サポーター」や地元の方等へ相談させていただいております。また、「仕事体験」を希望される方に対しては、応援隊サポーターへ紹介する仕組みをつくり、取り組んでいるところです。
92	07喜佐方	5	30年豪雨災害以降に、山から流出する泥が増えた。喜佐方では毎年撤去をしているが、高齢化で限界になっている。山からの水路の横、県道の横に升止めはできないか。市に相談すると4割補助ならできると言われたが、1箇所100万円すると聞いたのでとてもできない。田んぼや治水が関係しているので何か策がないか。また、毎年川の浚渫も県が今までよりはしているが、川に流れる泥を何とかしたいので検討をお願いしたい。	豪雨災害時には、自宅が浸水している中、消防団は次の雨に備え、水路を確認していたことを記憶している。元を押さえるのが難しい中での升という判断だと思う。財政的な問題もあると思うが、切実な話としてお聞きしたので、検討する。	農林課（建設課：河川、財政課：予算）	農林課：農業用排水路の土砂溜まり柵なら、受益面積1ha以上・受益戸数3戸以上あれば市単独補助（4割補助）の対象になります。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
93	07喜佐方	6	1) 令和7年に学校が統合される。保育園もなくなり、公民館活動が中心になると思う。地域がさびれてしまうと思うが、地域と子どもたちの交流を考えてほしい。 2) 盆踊りなど地域全体での歴史を大切に、私たちの代で伝統をつぶさないように、小学校全体で動くことは難しいと思うが、子どもたちを地域に派遣するなど、交流できるようにお願いしたい。	1) 統合で一番の心配は統廃合で子どもたちの声が聞こえなくなることを懸念していると思う。公民館を中心とした地域づくりに移行していくと思う。市もサポートしたい。 2) 隣の児童公園を災害時には利用させていただいたが、盆踊りなどもご案内をいただいております。若い人が根付く拠点として公民館、小学校を活用して地域づくりをしていただきたいし、協力もしていきたい。	教育総務課、 学校教育課、 生涯学習課	生涯学習課：公民館の小学校移設を契機として、空き教室を活用して婦人会や老人クラブ等関係団体との交流活動の場を設けたいと思います。また、子どもたちの体験学習（太陽の広場事業）の充実を図り、公民館を拠点とした交流や地域づくり活動を促進してまいります。統廃合後も引き続き、地域学校協働活動を通じて地域と学校が連携・協働して未来を担う子どもたちの成長を支えるとともに、地域の活性化を図ります。 学校教育課：現在市内の全ての学校がコミュニティ・スクールになっています。公民館と学校が協働して、地域行事を継承したり、地域を元気にする活動を行ったりすることができやすい状況であります。例え統廃合となったとしても、その中で培った子どもたちの地域貢献意識が、地域づくりの大きな基盤となるのではないかと考えています。子どもたちには地域を愛する心が育っており、地域の役に立ちたいと考える子どもも多くいます。学校でも、地域のために行動できる子どもの育成に力を注いでいます。校区をカバーする小・中学校に声を掛けると、多くの子どもたちの協力を得ることができるのではないかと考えています。
94	07喜佐方	7	保育園が隣にあったが、豪雨災害後にたちばな保育園に通うようになり、休園状態になっている。保育園の可能性がないのであれば、廃園として、あの土地の活用ができると思う。	保育園は休園としていることは間違いない。人口減少の中、ここに保育園ができることは厳しく、廃園として用途を変えてから活用が考えられる。地元の思いがあることも聞いている。地元の声を聴いて今後の方向性を決めていきたい。	こども家庭課 (財政課：市有地)	—
95	07喜佐方	8	新聞やテレビで「みかん学校」が農協のガソリンスタンドの方にできるとあったが、市はどういう風に考えているか教えてほしい。	みかん学校はJAが運営をし、未来の担い手に対して、学習の場を提供する。今は就農に対する支援をしているが、新たにガソリンスタンドを活用して行うと聞いている。この話は農薬の関係でつながりのある企業から寄附いただいた企業版ふるさと納税を活用している。JAと協力して進めていきたい。まだ見えていないところもあるが、令和6年度のスタートと聞いているので、成果がでるように、努力を重ねていきたい。	農林課	—
96	07喜佐方	9	先日、地域づくり協議会の総会があり、農業後継者から中高生との交流をしたいので、地域づくり交付金の活用をと提案があった。地域づくり交付金で出せる方法を担当職員に相談はしているが、市でも交付金を活用できるように検討をお願いしたい。	地域で盛り上げていただきたいと考えており、その原資が地域づくり交付金であると考えている。食糧費のルールなどはあるが、活用しにくさを改めてお聞きしたので、考えていきたい。	企画課	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
97	08下波	1	<p>1) 市立宇和島病院での待ち時間が1, 2時間がざらにある。3時半の予約でも帰るのが6時くらいになる。血液検査もたくさん待っているのに椅子もない。自分だけでなく母とか老人を連れていくと2時間も待つのは大変。簡素化して待ち時間を短くすることはできないか。</p> <p>2) 限られた時間で通院している。今の状態はひどい。</p>	<p>1) ご迷惑をおかけしている。市立宇和島病院は、誰もが行ける病院として多くに利用していただいている。キャパに対して外来が多く、まず、かかりつけ医からの紹介状を取ることで少しでも人数を減らしたいと病院局では考えている。検査は外来とは違うかもしれないが、外来ではアプリを入れ待ち時間で通知が来るようにしている。検査は順にしていく中の一つが血液検査と思う。すぐに答えは持ち合わせていないが、まずは病院局に伝え、椅子を用意することは今でもできるので、何かしらの対応をしたい。</p> <p>2) 検査だけでなく、全体の時間があり、病院に話したい、大きな課題として考えている。</p>	病院局、医事課、総務管理課	<p>外来における待ち時間の発生は大きな課題と捉えており、これまでも診療日とは別日に検査予約を入れたり、検査予約の多い日は開始時間を前倒しするなど、待ち時間の短縮を図っているところですが、しかしながら、他の患者さんの容体等により診察開始が予約時間より遅くなったり、検査内容や結果により診察時間が長くなる場合がございます。待ち時間短縮のための方策については、引き続き院内での検討により改善に取り組んでまいります。椅子につきましては、車椅子やベッドの患者様もおられることから、空きスペース全てに設置することは困難であるため、外来待合の混雑時には応急的に椅子を設置する対応としておりますが、恒常的に待ち時間が長くなっている状況を踏まえ、ベンチ等の増設を行ってまいります。今後も、利用者の皆様に寄り添った運営となる改善に取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
98	08下波	2	<p>1) 知り合いに聞いたが、市職員の残業が多く、9時10時に帰っていると聞く。国全体が残業を少なくしている中、毎日3時間程度も残業して、年間720時間にもなると思い、労働基準局に聞いたが、民間と違い、市長が管理していると聞いた。残業についてはどう思うか。</p> <p>2) 負担のかかる部署に人材を増やすことができないか。勤務時間中にジュースを買ったり、長い時間立ち話をしている人も多く見る。民間だとあり得ない、だから仕事ができない。市役所はそういう考えがないと思う。</p> <p>3) 今の話では残業が多いのは減らないということか。</p> <p>4) ちょっとでも遊ぶ人を少なくして働くように職員に言うてほしい。</p>	<p>1) 部署によってはかなりの時間外勤務があると認識している。課の特性により多い月や年中のところもある。DXや機器を取り入れて、取り組んでいるが、かつての印象より、仕事が細分化される中で職員の負担が増大していると感じている。せめてもの掛け声として、金曜日はノー残業デーにしているが、土曜日に出勤しているという現実があると認識している。どうしたら減らせるか、少しでも減らせるようにすることが大きな課題と思っている。</p> <p>2) すべての人間ではないが、早く家に帰りたいたいと思うと思うが、業務の特性上難しい部署もある。自分に課せられた責務を短時間で終えたいと頑張っているが、なかなか帰れない状況にあると思う。職員数は定員を大きく割っているが、しっかりした人材を確保しないといけないので、採用に関して注視している。なかなか人材が宇和島に帰ってくれない現実もある。バランスを考えて採用していきたい。</p> <p>3) 残業を減らすようにしないといけないが、人材を配置してもなかなか難しい。今は落ち着いたが、コロナの始まりの定額給付金や、同時にワクチン接種など、残業が積み重なり、心に問題が生じる職員もいる。コロナの対策では、マスコミの報道で自治体間の競争になり、そこに市民からの電話での問い合わせなど、悪循環になるということがよくわかった。今年度からは落ち着きつつあるので、より効率的な配置を考えていきたい。</p>	総務課	—
99	08下波	3	<p>辰野トンネルの旧道は市道になる。すごく草が生えており、通行するのに危ない。前に刈ってもらったこともあるが、確認して対処してほしい。</p>	<p>市道の総延長は岩手県まで届く程度であり、交通量の多いところを最優先しないといけないと思っている。すぐにできるか分からないが、後ほど確認させていただく。</p>	建設課	対応予定です。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
100	08下波	4	宇和海地区の小学校の統廃合と中学校の管理についてどう考えているか。はまゆう寮のほう草がひどくなっている。見ただけでひどいことになっている。	統廃合計画については、平成30年2月に地元の説明をしたと聞いている。5年経過し思った以上に子どもたちの数が減っており、夏にかけて、見直しを考えている。PTAや地域とも話す、今は準備段階になり、地域の意向を聞き、決めていく段階になる。蔣淵でも同じような話があった。地元にはしっかり話を聞くようになると思う。 宇和海中学校はグラウンドもかなり草が生い茂っており、だんだんマラソンでもそう感じた。必要に応じて草刈りをさせていただいていると思っている。状況を含めて、教育委員会にしっかり確認してもらおう。	教育総務課	運動場は、現在年4回、地元のご協力で草刈りを行っています。はまゆう寮は、昨年ブロック塀撤去を行うなど、少し見た目には明るく感じると思います。草刈りは定期的を実施しており、5月19日に実施しました。
101	08下波	5	宇和海中学校にキツネが住んでいる。猫もやられるし、夜もすぐ鳴く。何か対応はできないか。	イノシシと同じ有害鳥獣のカテゴリになるなら、罠をしかけるなど、先の中学校の管理とあわせて検討する課題と思う。	教育総務課、 農林課	教育総務課：関係課と連携して対応していきたい。 農林課：キツネは有害捕獲計画の対象鳥獣（有害鳥獣）には含まれないため、猟期（R5.11.15～R6.2.15）以外で罠を仕掛け捕獲することはできません。また、罠を仕掛ける場合も、免許の取得や許可が必要となるため、狩猟免許登録者に依頼する必要があります。
102	08下波	6	パフィオの駐車場について、以前は30分無料、さらに利用者は1時間が無料であったが、現在は2時間までが無料となっている。図書館の利用であれば、もう少し長くしてほしい。また、ライブなどの催しがあると、約2時間で、ライブ後のサイン会やグッズ販売もあり、さらに1時間延長を配慮してほしい。同じく南予文化会館も駐車場があるが、ライブやコンサートでは3時間ほどはかかり、駐車場料金の負担も大きい。有料イベントの場合には、駐車料金を込みにした形を考えてもらえないか。	パフィオの件はよく指摘があり、一番は周辺で駐車場を業としている人に影響を与えないように、時間単価を考え、公共施設なので一定の無料時間を設定している。そういったご意見と周りへの影響を考え延長したが、ある一定の料金は負担してもらわないといけないと思う。ご意見としてお聞きし、担当課には伝える。 南予文化会館の料金はイベント主催者の一定の努力はいただきたいと思っている。指定管理をセットでしており、周辺の駐車場もある中で、慎重にならざるを得ないと思う。	生涯学習課、 商工観光課	商工観光課：南予文化会館1階部分の中央町駐車場は、中心市街地の駐車場不足解消を目的に整備した公共の駐車場です。その利用にあたっては、受益者負担の原則に基づき、一定の負担をいただくべきもののため減免措置はございませんのでご理解いただきますようお願いいたします。
103	08下波	7	天赦園の周りの電柱の地中化が進んでおらず、電柱の地中化対策の計画は。なければ強力に進めていただきたい。	景色や景観で地中化している自治体もあるが、相当な費用が掛かると聞いている。四電には聞いたが、具体的なものはないので、改めてしっかり考えていきたいと思う。	都市整備課	—

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
104	08下波	8	<p>1) 昨年の議会での一般質問で、ある議員が市には基金が約191億円あると言っていた。市民の生活が困窮しているのに、支給をとの一般質問があったが、市長は商品券をしていると言っていた。商品券はお金を出す必要があるが、そのお金がない人もいる。</p> <p>2) 宇和島の人は生活が大変な人が多い、それをしっかり考えてほしい。</p>	<p>1) かなり省略されていると思う。基金にはそれぞれの目的があり、災害時の支援の原資にもなった。基金があることと、それを注ぐことは別と思う。商品券事業は6月から40%で実施する。約4億円を市から支出するが、単に配ると、1人あたり約5,000円程度になる。商売で困っている人がいて、市民に購入していただくことで、最大の経済効果が約14億円になることから購入型の手法を取っている。一方で、生活困窮世帯には国からの支給もあり、広く市民に効果が及ぶことを常に考えている。これからもバランスを見ながら各種施策を検討していきたい。</p> <p>2) しっかり頭に入れておきます。</p>	<p>財政課、商工観光課、福祉課</p>	<p>財政課：基金残高については、宇和島市が特に多いわけではなく、各市町村とも将来に備えてある程度の額を保有しているものです。財政基盤が強固でない本市においては、これまでの経験も踏まえ、近年、頻発化・激甚化する災害への備えのほか、各種施策を円滑に展開するために積立てを行っています。なお、これら基金については、状況に応じて、取崩しを行っています。</p> <p>商工観光課：新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策支援として、令和2年度より様々な事業を実施しております。商品券事業は、①生活者支援だけでなく、②事業者支援、③消費喚起を目的として実施しているものです。生活困窮者に対する支援としては、臨時特別給付金、水道料金減免、生活支援特別給付金等を実施しております。</p> <p>福祉課：生活困窮者に対する経済的支援として、これまで各種給付金事業を実施している。</p> <p>【給付事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活困窮者自立支援金給付事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単身：6万円/月額</li> <li>・2人世帯：8万円/月額</li> <li>・3人以上世帯：10万円/月額</li> </ul> </li> <li>※最長6か月間支給</li> <li>○住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1世帯あたり10万円</li> </ul> </li> <li>○電力・ガス・食料品等価格高等緊急支援給付金事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1世帯あたり5万円</li> </ul> </li> <li>○電力・ガス・食料品等価格高等重点支援給付金事業（予定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・1世帯あたり3万円</li> </ul> </li> </ul>
105	08下波	9	<p>不要な服があるなら、社会福祉協議会にもっていくが、宇和島市ではそういうことはないか。余っている食べ物がたくさんあるので、土日を受け付けてくれるそういうものがあればいい。</p>	<p>社協の取組みは市とは両輪でしている。NPOのフードドライブなどは定期的を実施されている。洋服の関係やフードドライブのことは必ず担当課に伝えておく。</p>	<p>生活環境課 (こども家庭課：フードドライブ、福祉課：社協)</p>	<p>生活環境課：食品の回収については、市内で常設されているフードドライブコーナーは4箇所あります(北フジ、マルナカ、ファミリーマート宇和島本町店・宇和島榎形店)。また、洋服については、民間のリサイクルショップもありますので、そちらもご利用ください。</p>
106	08下波	10	<p>駅前の道路にワシントンヤシが植えられている。道路管理は県になるか。きさいや広場までの道にもワシントンヤシを植え、港にも植えてもらえれば観光になると思う。ぜひ、国や県に要望してほしい。</p>	<p>道路は県管理の国道になる。どうなるか分からないが、象徴的な景色になる。一方、木を減らし、管理を減らす考えもある。提案いただいたので、検討したい。</p>	<p>建設課、都市整備課</p>	<p>建設課：要望があったことは道路管理者の愛媛県に伝えます。</p>

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
107	09番城	1	<p>教員の成り手がなくなり、倍率も少なくなり、これでいいのかと思う。優秀な大学生は地方公務員希望が多数を占めていたが、若者には大きな夢を持って、そういった子どもたちになってほしいと思う。学校教育も昔は地域を捨てる教育をしていると言われていた。勉強している人は都会に行き、帰ってこない。それは間違ったことではないかと思っている。どこにしようが宇和島のためにも思ってくれる子ども、若者になってもらったらと思っている。こういう中、ホリバタ事業は大事な事業と思う。これからも力を入れて、いい若者を育ててほしいと思っている。</p>	<p>教員のなり手が少ないのは、学校に関わりながら人生をしていると感じている。今の時代では、しっかり休みがとれる仕事を選択してしまうかと思う。都会に出ることについては仕方ないとしても、どこにいたとしても、宇和島に心を寄せてほしいということがホリバタ事業の発端になる。よく子どもたちがこの地域から出てしまうというが、高校や大学に行きたいという考えを無理やり止めるつもりはなく、若い時をホリバタ事業を通じて、いつかは戻って就職したい、また起業したいなど主体的に考える子どもたちが育つよう、そういった取り組みをすることが重要と思う。結果までに時間がかかるがこれからも力を入れていきたい。</p>	生涯学習課	—
108	09番城	2	<p>今の話に関連して、人口7万人を切ったとあったが、合併時に全世帯と高校3年生向けにアンケートをしていた。高校3年生の結果で、「将来宇和島市に帰ってきたいか」という質問に、「多くが帰ってきたくない」と回答している。何とかしないとずっと思っているが、ホリバタ事業で変化をもたらすことができたのかと思う。もう一度、同じアンケートを取ると、帰りたいという率が上がったのかなと思う。ぜひそういう機会があればアンケートを取ってもらいたいし、そういう背景の中、施策をとってほしい。</p> <p>2) 学校も教育の方針が変わり、地域を学ぶことに時間を割くようになった。ありがたいと思うが、言われる通り(コロナにより)空白の3年間だったので巻き返さないといけないと思う。旧宇和島の大規模校では愛護会活動が活発であったが、今はあまり活動していない。組織化は難しく、役員の成り手がいないことも仕方ないが、何とか工夫すれば継続できると思う。教育が何か必要かが分かれば、親も時間を割くと思う。親の教育に今後力を入れていただきたい。</p> <p>3) それに相当期待しているのが、説明のあった電子ポイントになるが、ボランティアをする地域のリーダーとなるきっかけになってくれればうれしいと思う。</p>	<p>私もその結果に衝撃を受けた。子どもたちが帰っている地域では何が行われているかが、市議時代のテーマの一つであり、実際に島根県や高知市では、まさにホリバタ事業のようなことをしていた。こういった事業は、結果が出るまで時間がかかる事業になると思う。ホリバタ事業も4年目になるが、今の段階ではそこまで結果が出ているとは思えないし、コロナの影響もある。すべての高校生がホリバタ事業に接していないが、変化があるべきと思うし、変化があるように施策に取り組みないといけないと思う。そういった意識でこれからも取り組みたい。</p> <p>2) 宇和島市も学校のフィールドを作ろうとコミュニティスクールに取り組み、地域との関わりを取り組んでいる。ホリバタ事業の前提で地域との関わりが大切と思っている。番城の愛護会は、私の子ども時代は特に活発であったと聞いている。自治会も含めて成り手が少ないのは問題と思うが、親の意識、教育の価値観を変える話と思うので、そうできるように努力していきたい。</p> <p>3) 運用の仕方を間違えると、ポイントを渡すだけになってしまう。まずは、最初の仕組みづくりが大切と思うので、間違えないように、しっかり意識をしていきたい。</p>	企画課(アンケート)、生涯学習課、デジタル推進課	デジタル推進課：本制度が地域に定着し、ボランティア等、市民活動や地域活動の促進に繋がる制度となるよう検討を進めております。
109	09番城	3	<p>天赦公園についてお願いがある。去年8月に突然犬を入れていいと通達があった。市ホームページにも掲載していると聞いた。最近、公園の草の中に犬の糞がある。草刈りもしっかりしてほしい。また、公園利用者も犬のリードを外していた。看板に注意書きを書いているが、守られていないので、伝えましたが、しっかりしている、これが芝生かという返答もあった。夜にドックランのように走らせている人もいる。近所でも犬を大事にしている人もいるが、非常識な人と一緒にされたくないの、公園には犬を連れて行かないと聞いている。公園利用者は犬を飼っていない人の方が多い。犬を連れての公園利用は市議の提案と聞いた。公園は犬を入れられないようにできないか。一度、夜にも職員に犬の放し飼いにしているところを見てもらいたい。</p> <p>2) 最近、犬にかまれた人もいると聞いている。</p>	<p>公園に犬を入れることは昨年8月に方向性を出した。議員1人の提案ではなく、これまでもご意見があり、機を熟していると思っそういう判断をした。ただ、リードを外したりということが継続するのであれば、どう対応すべきかを含めてスタートしたものになる。今日のお話は飼い主のマナーと思うので、貴重なご意見としてしっかり精査していきたい。</p> <p>草刈りについては定期的にはしているが、ペットとは別に、伸びる時期はなるべく頻繁にと話していたが、できる限りやれるようにしたい。</p>	都市整備課(生活環境課)	都市整備課：飼い主のマナー向上が最も重要と考えますので、関係課と連携し、マナー向上の啓発に努めます。
110	09番城	4	<p>犬を連れての公園利用は、許可した折に、周辺へのアンケートや聞き取りはしたか。許可した後の状況についてアンケートをしたのか知りたい。</p>	<p>詳しくはアンケート取ったかは認識していないので、確認したいが、周辺にアンケートをしたかも確認する。</p>	都市整備課(生活環境課)	都市整備課：許可の前後において、アンケート調査はしていません。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
111	09番城	5	ホリバタ事業に関心があるが、愛媛大学との連携事業は、授業の1つであれば15週くらいで終わるかと思う。愛媛大学の学生であればぜひ参加したいと思うが、15週間では課題、結果まで見えにくいと思う。継続的に活動できる団体や組織を作ることはどう思うか。	実際に愛媛大学の教育学部の生徒も来るが、短期間ということはその通りと思う。愛媛大学の教育学部もより地域でということを考える中、短期間でも意義があると、連携して実施している。学校での仕組みに合わせることは他地域でも限界があると聞いている中で、雲南市の事例ではまさにホリバタ事業が中心になり、大学生を集めるということをしている。開始から10年以上が経過しているのも、そういう仕組みになり、企業からのCSRの取組みなどでの参入もある。愛大プロジェクトはまだまだこれからであり、もっと関わられるホリバタでないといけないと思うので、具体化できるように努力を重ねたい。	生涯学習課	—
112	09番城	6	電子地域ポイント制度は地域や暮らしとふわっとしているが、どのようなものか。 2) 話し合いをしながらというのは、デジタル推進課の中で進めていくか。市民やNPO活動をしている人に聞いていくか。 3) これは事業としてしている人がボランティアするともらえるポイントで、市民がもらえるポイントではないのか。個人で毎日ゴミ拾いをしている人は、把握できないのでポイントにはならないと思うし、どこに紐づけるか。マイナンバーカードに付随していくか。 4) 地域通貨として使っていく予定があるとか、活動が自分にも返ってくる循環型を目指す考えかもしれないが、今の段階では大きな事業をしている人しか対象になっていないと思う。	それが肝心なところで、これから申請を受け、話し合いながらしていくところ。最初に方向性をしっかりしないといけないと思っている。 2) 公益性や地域のためにというものが具体化され、皆さんに示される前に意見をいただき深化させないといけないと思う。 3) マイナンバーカードに紐づけることはない。私も朝から掃除をしている人を見かけるが、すべての活動にポイントを付与することは難しいと考えている。 5) それはしっかり考えていきたい。	デジタル推進課	自治会やボランティア団体、NPOからのご意見だけではなく、タウンミーティング等でいただいたご意見も参考にしながら、デジタル推進課が中心となり、全庁的な検討を進めております。アプリの利用が前提とはなりません。ポイントの付与対象事業に参加する全ての方にポイントを付与する制度にすることで、市民活動や地域活動の促進を図りたいと考えております。また、利用者や加盟店の拡充等を図ることで、地域経済の活性化の基盤整備にも努めてまいります。
113	09番城	7	色んなところで話題になっているが、学校給食で昆虫食を出したと報道があった。宇和島の養殖魚でも昆虫を餌にしていると聞いており、学校給食で地産地消とあるが、そこには使われていないか。 2) 子どもがアレルギーを持っている。甲殻類などの検証もされていないまま、進めていると思うので、どこかで入っているなら、きちんとしてほしい。	宇和島の会社が実験ベースでしていることが報道に出たことと思う。アカデミックな検証をして販売になったと思うが、ロットとしては少ないものである。地域の物を食べることはこれからも続けたい。 2) すべての食材が大丈夫ということなかなか言えないと思う。アレルギーは1つのミスで大変なことになるので、親御さんはとても気を使っていると思う。	学校給食センター	学校給食の食材に、昆虫を餌にした養殖魚は使用していません。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
114	09番城	8	先日、お金の勉強会があったと思う。会場が市役所であり、教育委員会の後援とあったが、教育委員会では内容を知らなかったと聞いた。自分が主催者で後援を依頼したときには、市役所や教育委員会に問い合わせをして答えることができなければ、後援することはないと聞いた。先日も公民館を使用するだけでも、内容を精査された。だけど、今回は内容も分からないが、市役所で開催されるのは主催が違うからか。なぜそうなったか不信感がある。個人では借りることすらできないくらいなのに、なぜ内容も分からないものが後援で市役所でできる結果があったのか。どう精査したか。 2) 私が以前後援してもらったイベントには、職員も誰も来てくれなかった。そこで問題があり、後援していたが、誰も来ておらず、内容が分からないまま、後日後援を取り消すとあり、反省文も記載した。主催者が違えばそんなに違うのかということがあった。後援するなら誰か職員には参加してもらえればいいと思う。	教育委員会の発言がどういった立場のものになるか分からないが、後援はチラシだけでなく、ネットも活用し、情報を精査したと聞いている。その中で教育委員会の人間がそういう発言をしたなら問題があると思う。今回の講演については、これまでも指摘を受けてきた、きちんとした手順を踏んだと思うが、どこに対してもきちんと説明できるようにしていないといけないう。戒めとして、教育委員会のみならず、市全体の話として考えたい。 2) 貴重なご意見なので、しっかりと共有したい。	総務課、教育総務課、財政課（庁舎管理）	—
115	09番城	9	市のロゴマークがあるが、いつから使用しているか。変わったのか。 2) ココロまじわうトコロが非常に分かりやすい。前のフレーズは使わなくなったと思ってもいいか。 3) 合併時に作ったフレーズはあまり覚えてもらえないと思っていた。今のフレーズは覚えやすくていい。	市章はそのまま、シティブランディングの中で、市民投票してもらい、キャッチフレーズを決め、コロナの手前くらいからロゴマークを使用している。市民の方も申請いただければ使用してもらえ。視覚的に見て、宇和島を分かってもらえるものと思っている。 2) これで宇和島に帰ってきたいと思っただけのようにキャッチフレーズを活用していきたい。	市長公室	—
116	09番城	10	市長と話す場はあるが、教育委員会と一般の保護者が意見交換をする場はあるか。 2) 一度、教育委員と話したことがあり、議会での話も知らず、会議ではあまり議論がされていないと聞いた。保護者が反対していても、教育委員が賛成すれば賛成になる。私たちの意見は何も吸い上げされなくなる。こういう形で話ができる機会があればいいと思う。	教育委員会がそのような会合を持ち合わせているかは分からない。 2) 教育委員を選ぶ際には、幅広い見識をお持ちの方をお願いしている。市議とは違い、なかなか声は届かないのかなと感じていた。ご意見については、伝えておく。	教育総務課	—
117	09番城	11	隣の西予市で病院の民営化が進められている。宇和島市は体制が違うので、同じことにはならないと思うが、市として行政として、病院の民営化はあり得るか。 2) 吉田、津島もあわせてということか。 3) かかりつけ医も年配の人が多くなり、小児科も少なくなり、気軽に行けるところがなくなっている。病院に行く前にできることとか、ちょっとずつ何かがあればと思う。	西予市のことは認識している。宇和島市では全く考えていない。市立病院はコロナでも拠点として住民の安全と安心確保してきた。宇和島病院の医師は、若い人も含めて研修に来ている。東日本大震災の前にできており、免震構造になっているが、エネルギーセンター棟の整備など機能の充実に取り組んでいる。 2) 3つの公立病院維持は厳しいところがあるが、やれるところまではと思っている。吉田病院では増改築の工事をしている。	病院局経営企画課、保険健康課	保険健康課：医療機関受診に迷ったときは、「愛媛県小児救急電話相談（#8000）」や、7月1日から運用開始となる「えひめ救急電話相談（#7119）」をご利用ください。また、医療機関の開業支援等については、他の自治体を参考に今後の必要性について検討してまいります。
118	10北灘	1	国も国債を発行して多くの借金ができています。市も多くの事業を実施しており、市の財政は大丈夫かなと感じている。市の財政状況はどのようになっているか。	国の借金はコロナ前から言われていたが、コロナの影響で前よりも厳しくなっていると感じている。市も合併当時は厳しい中、できることを選択しながらしてきたが、基金化することにより、豪雨災害も対応できた。今は目的に応じて基金化をしている。行政の目的を達成するにはどうすればいいか、財源をどうするかについては、税収も少ないので、国からの交付税や補助事業、起債の活用など財源については常に考えている。国も子育て施策についても異次元の対応をしていくとしており、我々も国から提供される制度を活用し対応していく。	財政課	本市では市町村合併以降、様々な行財政改革に取り組んできました。これらにより、近年、各種財政指標は概ね堅調に推移しており、一定の基金も保有しています。ただし、財政基盤自体が強固になっているわけではありませんので、国から交付される地方交付税の状況など、十分注視しながら市政運営をしております。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
119	10北灘	2	自然災害について、6年ほど前に網代に大雨が降り、家は少し高くしているが、60、70センチの濁流が来た。網代の道が川になり、怖い思いをした。以前、川の土砂撤去をしてもらったが、その年に西日本豪雨があり、宇和島市も大きな被害を受けた。それ以後も大雨が降ると、大谷川は川幅が狭く急流なため、土砂が堆積してしまう。また堆積しており、少し怖く思っている。自治会長からもお願いしていると聞いているが、ぜひとも川の様子を見てもらい、土砂を撤去してもらえればと思う。	今回のタウンミーティングでも河川の土砂撤去の話は多くいただいている。どういう計画でしているか分からないので、確認して連絡する。	建設課	大谷川については今年度予定していて現在設計中で、梅雨が明けて夏ごろに土砂撤去の予定で進めています。業者が決まれば自治会長に連絡をしますのよろしくをお願いします。
120	10北灘	3	電子地域ポイント制度の導入とあるが、この地域は高齢の人もいて対応できるかと思う。	電子ポイントは紙ベースではなく、スマートフォンを活用して実施する。うわじま歩ポは紙ベースでもしてきたが、ポイント還元のお店など、紙ベースするには限界もあり、苦手でも覚えてもらっていき環境を作っていくべきと思ひ、今回は電子ポイントとして、繰り返しスマホ教室を開催するなど現場で丁寧にしていきたいと考えている。	デジタル推進課	デジタル活用に不安のある高齢者等にも、本制度を利用いただくために、スマホ教室やスマホ出前講座等の対策を実施いたします。
121	10北灘	4	伊達博物館の建設費はすごい金額で驚いた。国からの支援はどの程度か知りたい。	伊達博物館は概算が約48億円となり、建屋建設や設計などいろいろあるが、今の博物館の解体費用や引っ越し費用も含めている。財源を考える中で、パフィオウわじまの建設と同じ都市再生整備事業という国交省の補助事業を活用し、国から2分の1の補助がある。残りの半分については起債という有利な借金を国に認めてもらい、7割は返ってくる。半分の3割が市が負担する額になり、10億円程度になる。その効果は約48億円となる。約48億円が大きいという指摘があるが、この事業をしなければ、国から1円も来ないお金になるので、国としっかり折衝し、サポートを受けながら進めている。	文化・スポーツ課伊達博物館、都市整備課	—
122	10北灘	5	新国永橋は、一度、工事で開通して、数日は通行できたが、今は通れなくなっている。とても無駄なので、こんなことにお金を使っていいか疑問に思っていた。詳しい説明もなく、工事業者からも教えてもらえなかった。	橋の件は県道になるので、詳細は分からないが、他の方からも話を聞いたことがある。県へ問い合わせはするが、どうなるかは分からない。個人的には残念に思う。何らかの事情があったということしか知らない。	建設課	—
123	10北灘	6	新国永橋の件は、私も調べたことがある。公共事業は税金を投与して実施している。市民の声を聞き進めないことには税金の無駄になる。市民の声を聞いて、県と交渉してほしい。	県の方にはしっかりと伝えたいと思う。県の事情が分かっていないので、複数の意見があったことはしっかりと伝えさせていただき、必要であれば丁寧な説明をするようにしたい。	建設課	—
124	10北灘	7	以前、南レクが土地を買い上げ、ロープウェイを整備する話があったが、計画がダメになって活用していない土地がある。その土地を川として整備して、水害が起きないようにする対策もできると思う。 2) ダテサンというのがここの上にあるが、それからロープウェイを引いて、南レクの設備が利用できると聞いていた。売買契約はしていたが、計画倒れになって、元の持ち主が管理するようになっている。税金を払っているかも分からないが、どういう形でしていくのか、防災の面でその土地に水が流れるようにしてはどうかと思う。 3) 公共事業で大きなことをしてもらって、それは良いと思う。運営が赤字。赤字を埋めることは増税になるか、市民サービスが衰えるかのどちらかになる。	南レクについては、1年前に地図を見たことがあるが、今の南レクの前に結構な買収をしていることを知った。 2) 南レクの整備しているところ以外にも買収していることを地図上で見たことはある。南レクは指定管理で運営しているが、新たな投資はしない方向で県からも話があり、イベントをしているのもその意向と思う。主体が我々でないので、お伝えすることしかできない。	都市整備課	愛媛県が事業主体でありますので、愛媛県へお伝えします。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
125	10北灘	8	<p>物価高騰により、年間エネルギー経費100万以上かかる所には10万円の給付があるが、50万で5万円出してもらえると助かるという話もある。身近な困っているのは大手でなく、小さいところはどどんづぶれている。そういうところに目を向けることも大切と思う。</p> <p>2) 事業所が儲けることも大切であるが、結局は税金が高い。税金が50%近くとられている話もある。宇和島市の水道代には応援金が使えないようになってきているが、お年寄りからは買い物に1,000円も使わないので、水道代や電気代に払えれば良いという話も聞いている。家を建てても、維持費として税金にかかってくる。国保の資産割を除けてもらえれば、病院の負担も減ると話している。税金が下げられるようなことをしてもらえればと思う。伊達博物館を建てても、この地域の人は行かない。市民の声としては底辺、物が買えない人を助けるためにも税金を安くすることをもらいたい。</p>	<p>コロナ対策でも年商などどこかで線を引かざるを得なく、悩みながら判断している。一定の事業量をどこで線を描くか難しいが、ご意見は担当課にも伝える。商品券事業も、応援券や共通券など違いを付けて工夫はしているところ。これからは肝に免じておく。</p> <p>2) 宇和島市の財政は3割が自主財源で工夫をしながら運営している。商品券事業は広く支援できればという趣旨のものであり、一方、独居の方や税金がかかっていない方には国から給付されることを組み合わせながらしている。税金は安い方がいいと思うが、必要などころに必要な手当てをするには、一定の価値について、税金をいただくかなとなかなか回っていかないと思う。伊達博物館は別の価値として文化を後世に残していく、病院にもついても地域に必要なものという中で工夫しながら整備しているところ。ご意見は頭に置いておきたい。</p>	商工観光課、 保険健康課： 国保資産割、 税務課（文 化・スポーツ 課伊達博物 館）	<p>商工観光課：エネルギー価格高騰対策支援金は、エネルギー価格高騰の影響を強く受けた事業者を支援するために行っております。そのため、年間エネルギー経費100万円以上という基準を設けておりますことをご理解ください。また、商品券は生活支援のみではなく、消費喚起、地域事業者の支援を目的に行っていることから、公租公課には使用できないこととしておりますので、ご理解ください。</p> <p>保険健康課：国保の保険料については、今後、県下統一に向けて検討されています。資産割についてはその議論の過程で判断していくこととなります。</p>
126	10北灘	9	<p>伊達博物館について、5月17日に天赦公園を見学に行った。入り口3か所に犬にかまれた、公園に犬を入れることは止めてほしいと、都市整備課のラミネートの貼り紙があったが、災害時の避難経路の看板もなかった。城南中学校前の陸橋に海拔2mの表示だけ。また、公園に東屋や木陰が一切なく、熱中症対策をどうしているかと思う。市民の憩いの場、将来の子どものためにも、健康に配慮した公園を博物館と一緒に作れればと思う。飼犬にかまれた詳細の説明がないが、十分に考え、市が誇れる公園にできたらいいと思う。博物館と一緒に多少狭くなっても、地震対策もして、高知県では津波タワーを2基、4、5億円をかけて国の補助を活用して建てている。地震が起きてどこに逃げるかという問題もある。</p>	<p>市議時代から公園で使用できない遊具を見てなんとかしたいと思っていた。実際には遊具の設置は非常に複雑で、5年前にスタートした撤去整備は、今、一巡したところになる。小学校の遊具の報道もあったが、子どもたちのことはしっかり対応していきたい。公園に看板があったというのは、昨日もご指摘は受けたが、看板を貼っていることは初めて聞いたので、再確認させていただく。公園に犬を連れていくことは以前は許可していなかったが、きちんと面倒を見る人には昨年8月から許可してきた。公園の整備は、現在の伊達博物館の場所に第3期計画で考えていく。日陰がないという話については、全体としての公園について、安心安全を意識してそういうものを目指していきたい。</p>	都市整備課 (生活環境課)	<p>都市整備課：天赦公園におきまして、犬に噛まれる被害が発生しましたので、注意喚起の看板を設置いたしました。</p>
127	10北灘	10	<p>宇和島市は赤字と思う。将来宇和島市はどの分野で発展させ黒字にする計画であるか。どの分野でこの職員が対応しているか。</p> <p>2) その計画でなく、一般市民が農家が、漁家どうすれば利益がでるかについて、宇和島市が考えていかないといけない。子どもが継ぐメリットがない、市長が言う国の補助も税金。私たちは国の補助をあてにせず、宇和島市の税金で十分にできる対策を職員たちと考え、人口が減ることも真剣に考えないと、子どもたちが農業を継ぐ考えもできてこないと思う。そうなれば、将来的に宇和島市の生産も落ちてくる。農業分野でもっと利益が上がる指導を市も考えるべきと思う。それは考えていないか。</p> <p>3) 市の中で常に話題を出して、考えて、前を向いてする議論はしてもらっているか。</p>	<p>宇和島は国のサポートを受けているが、予算決算では赤字ではない。国はこれから地方に対して厳しくなる可能性があるので、財政課が中心となって5年後10年後を見据えている。コロナ禍もあったので、時点修正をかけ、将来に向けてできることはしないといけないと考えている。</p> <p>2) 第一次産業には力を入れている。どういうやり方がいいかは専門家、JAや漁協があり、市がすべてをしていくことは厳しいと思う。国の補助も税金になるが、制度があるなら、関係者と話しながら有効に活用していく。市が取り組んでいるのはどう売ればいいのかで、東北地方に販売を広げることは市でもできることなので、取り組んでいる。市が1から10までではなく、それぞれの専門性の高い人と話すことも必要と感じている。</p> <p>3) すべての産品で結果が出ているかの評価は分からないが、この地域は第一次産業に関わる人が多いので、各業界と協力して進めている。私が産品を売り込むことは業界団体も分かってくれていると明確に言える。</p>	農林課、水産課、市長公室	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
128	10北灘	12	市長が説明した資料に様々なことがあるが、半分以上知らず、知らないことが悪いことと思った。伊達博物館についても、何度も説明会があったことを知らなかったことは本当にいけないと反省を含め、先ほど、黒字化というワードがあった。博物館は営利目的でないと思うが、概算費だけでなくランニングコストもかかると思う。少しでも赤字を減らし、市民負担を軽減することについて聞きたい。 2) 津島の人間なので、学校がどんどん建設される中で、子どもも減っているのに心配であった。それと同じことを伊達博で感じている。	ランニングコストの概算については算出しており、令和4年度の決算を踏まえ、精査したものを今後示していくことになると思う。黒字化する施設とそうでない施設はあるが、パフィオも生涯学習施設として使用料も低く、すべてを賄えるものではない。どういった企画展をするか、公開承認施設などの仕組みを作る努力は繰り返していくかという点については、多くの人に遠くから来ていただくことを経済効果にも繋げていくものかと思っている。ただ、維持管理費は努力を重ね、生まれる経済効果を含め全体で考えていかないといけない。	文化・スポーツ課伊達博物館	—
129	10北灘	13	移住した若い人が従業員でいるが、宇和島はなぜ家賃が高いかと聞かれた。松山はもっと安い。埼玉で移住フェアの話聞いた時には子育ても大丈夫と聞いたが、保育園は住んでいるところから遠かった。	私も松山の家賃は承知している。宇和島が高いかどうかは十分にお答えできないが、宇和島に来た方からはそういったご意見もある。市から下げてくださいということも、それぞれが将来計画もある中でなかなか難しい。	商工観光課、こども家庭課(企画課)	—
130	10北灘	14	市長の発言で伊達博物館の公開承認施設の話があったが、伊達博物館には国宝はない。他からの運搬費などを考えたことはあるか。また、すべての契約後に建設の話をするべき。伊達家の文化財の所有権は伊達家にある。それを宇和島市の税金で建設し、守ることは正しいかと以前話した。銀行であれば、伊達家から保管料をもらうべき。建てるなら市立伊達博物館にすべき。 2) 伊達博物館の再考を求める署名を集めた。市長と市民の考えに乖離がありすぎる。市民は生活するのに一生懸命。48億円使うならわしらにくれという人もいっぱいいたことは承知してほしい。	今でも市立伊達博物館です。宇和島市には歴史文化の所蔵物がない中、宇和島を広く知らせるツールとして、文化財をお借りしているので、それらを管理していくこと。それ以外にも宇和島、吉田、三間、津島が地域の文化に触れられることを目指している。公開承認施設は見極めながらしていくが、市民が触れ合っていない文化財に触れることができる施設として総じて伊達博物館であり、そういうことを目指している。 2) 丁寧な説明をしていただきたいと感じている。国の事業を活用しながらしている。事業をしなれば、そういった費用は一切ないということもあわせて確認いただいたか分かりませんが、丁寧な説明をしていただきたいと思う。	文化・スポーツ課伊達博物館	—
131	10北灘	15	伊達家の所有物に国宝がないとあったが、2024年4月1日に仙台博物館が改修され開館する。その中で伊達分家の国宝は1つしかない。徳川家康の品も民間が集めて、民間の博物館にある。国宝は全国にあるので、公開承認施設になれば運搬費用もかかるが、東京に小学生100人が行けばどれくらい交通費がかかるか。地域の子どもが国宝を宇和島で見れることは夢があると思う。国宝を展示できる施設であれば、市長の責任として、市民の負担を減らす努力をしてほしい。隈研吾氏の設計により、宇和島に人を集めるような未来に向け、夢を考えられるように、高校生とかの意見を聞く会議を中学生小学生まで広げてほしい、市長が伊達博物館を核としてするのならしっかり取り組んでいただきたい。	豊臣秀吉像という重要文化財が宇和島にあるが、伊達家由来のものをお借りしたこともあり、費用もかかったが、多くの方が来たことも事実。ホリバタ事業でもそうだが、子どもたちが田舎にあっても、未来に向き合えるような環境を博物館とは別の価値観で見出ししていきたい。仙台市と歴史姉妹都市となって50周年になる中で、民間レベルでも話をしているところになる。建ててからがスタートになるので、今後とも努力を重ねていきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館	子どもたちからの感想は展示資料もしくは博物館スタッフへのものがほとんどで、施設そのものに対するものはありません。
132	10北灘	16	今の博物館は小学生は年に1回視察するのか、6年間で1回視察するか分からないが、視察したら感想文を書く。その感想文を参考にしてもらっているか。今の博物館で十分に満足している感想文になっていると私は受けた。今の施設で十分展示しているのであれば、改めて48億円もかけ、国から補助があったとしても、建てるべきか。宇和島は黒字といったが、農家の人はそんなことはない。現実に農家が汗かいてしているところを見たことがあるか、理想できれいごとの話。現実は農家をしようとする人はいない。あなたの部下たちはマンネリ化したような、市民の声を聞かない人が多いのではないか。	すべての子どもたちの文章に目を通していないが、自分の子どもや博物館に何度も訪問している子どももいると聞いている。子どもたちがあの建物で十分だと言っているということであるが、耐震化ができていない公共施設であり、平成31年から建替え委員会で議論を続け、説明会も開催しながら今に至っているところ。農業については、義理の母を少し手伝ったことがあるくらいで十分分かっているとは言えないのが事実。海の方は水産会社において、第一次産業が苦労しながらしていることは他の市長よりも分かっていると思う。市自体は物は持っていないが、宇和島市の産品を分かってもらえるようにPRに努めている。	文化・スポーツ課伊達博物館、農林課(学校教育課)	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
133	11和霊	1	最近、地震が多く起きている。先日も伊方で震度4、宇和島で震度3の地震があった。和霊校区は和霊公民館が最新で有効な避難場所と思う。太陽光発電とか井戸水とかの計画はあるか。	太陽光発電や井戸水をどこに配置されているかという資料を現在持っていないが、担当課に確認する。豪雨災害以前から、民間の井戸を使用する仕組みはある。公民館は集まる場所として認識しているので、お返事できるようにしたい。	危機管理課 (生涯学習課、生活環境課)	危機管理課：新規の防災井戸は津波災害警戒区域内には作っていません。今後、消防詰所の建築前の地盤調査で水が出れば防災井戸にする予定があります。城北第1部詰所を旧和霊公民館敷地に建設する予定。太陽光発電は今年の消防詰所建設から蓄電を含めて簡易的な物を標準装備として整備しています。
134	11和霊	2	先日、市のハザードマップが配布された。土砂災害や地震、津波といった災害別のハザードマップがあったが、洪水関係がなかったのは理由があるかどうか。柿原集会所も市の避難所になっているので、災害の適用がある。和霊校区を含めて、須賀川があるので、洪水関係に対する関心は高い。県とも関係すると思うが、以前に須賀川ハザードマップが配布されている。県でも再検査していると思うので、今後の配布の予定が分かれば教えてほしい。	ハザードマップは、河川を県が管理してそれぞれが出している中で、私も県がもう間もなく浸水予測をするとは聞いているが、具体的には聞いていない。地域によって注目している災害が違うと思うので、情報が届くように県の役割も確認したい。ハザードマップは自宅等の危険性を知っていただくものであり、避難場所にどう逃げるかを確認してもらうものと思うので、確認させていただく。	危機管理課	河川のハザードマップは愛媛県が作る洪水浸水想定区域図に基づき市で作成しています。令和7年度までに県内全ての作成を終える予定なので、須賀川水系の洪水浸水想定区域図に基づきハザードマップを作る予定です。
135	11和霊	3	防災ラジオは防災を主目的として設置したと思うが、放送内容からすると、防災関係に有効な放送が少ない気がする。防災ラジオの活用については、自治会長をしていたときに、防災に限って活用するように検討してほしい、防災一口メモの放送などを提案した。レベル3の避難指示で要配慮者への宿泊補助をしており、広報紙で周知したかもしれないが、和霊校区でも利用者は多くない。本当に危険な時には避難することが大事と思う。そういう補助制度も防災一口メモとして、定期的に市民に対して、防災ラジオを使って放送すれば、防災としてはプラスに向くと思う。	台風2号が来週末に接近するという話もある。1週間かけてどんどん接近してくる。5月にあのような大型の台風が来るような時代になったと認識しているので、情報は手前で流していくが、市の補助事業が十分にお知らせできていないことは事実であるので、平時からどうするかは宿題として持ち帰らせていただく。	危機管理課	—
136	11和霊	4	防災の放送設備があるが、意外と聞こえにくい。柿原地区では、街中からの放送が後から来て、ダブって流れるようになっていく。地方局にも放送設備がついているのか、かなり大きな音で流れてくる。万が一の場合に備えて調べてもらえればと思う。	放送については、色々な所から指摘を受けている。地方局にあるかは把握していないが、豪雨災害時にはスピーカーで聞こえないということもある。自宅ではラジオで聞いていただき、スマホのアプリやメールなどいろんな手段で使って発信しているが、伝わっていないこともあるので、しっかり取り組んでいく。スピーカーの位置を変えて、解消するかは分からないが、なるべくクリアに聞こえるように調整をしていると聞いている。	危機管理課	—
137	11和霊	5	結婚、出産、子育て支援の話があり、結構手厚い対策が取られているが、実際に人口を増やそうと思うと必要なことと思う。それに加えて、周りの大人が安心して働ける雇用対策もしていかないと、安心して子どもを産めないし、育てられないと思う。テレビである自治体が色々なアイデアを出し、若い世代が働けること、子育ての施策で移住者が増えているという番組を見た。宇和島も具体的なアイデアを生かしたことを考えているか。ホリバタ事業でも若い世代を育てようとしていることも分かっているし、子どもたちが出ていき、帰ってくるという仕組みを具体的な取り組みでもらいたい。今の時点で取り組みがあれば教えてほしい。	都会で移住フェアに参加すると、宇和島に興味があるが、働く場所は不安と聞く。愛媛県で移住が多いのは松山は別として、しまなみと造船など勢いがある今治市が多い。そのあとは東予が続き、やはり働きたい仕事があるかになる。宇和島はその次で6番手になる。言われるのは、仕事の不安や家賃が高いことも聞く。移住者への一定の給付金はしており、非常に利用率は高いが、仕事に関しては第一次産業で何かできることは進めつつある。経済界とも話していかないといけない課題と思う。目に見える形になるように努力を重ねていきたい。	企画課(商工観光課、農林課、水産課)	企画課：ふるさと回帰志向の醸成を図り、若者の地元定着を推進するため、平成30年度からおかえりプロジェクト(高校生まちづくり課、学校自慢CM大賞、ポケットブックガイド、未来つながる宇和島)を実施しています。 商工観光課：市としては、企業誘致や市内での投資に際し、雇用に対する奨励金制度を講ずるなど、市内の雇用対策を行っているところです。安定した雇用の場が増えるよう引き続き努めてまいります。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
138	11和霊	6	八幡橋から八幡神社に向けて、道が狭いということは知っているか。八幡神社の木が道路まで出ていて通行に支障がある。	あの道路は車の離合も難しいと話している。木が茂っていることも見かける。私有地を車も通っていることは課題として認識している。支障のある木は確認する。	建設課	現地確認したところ、八幡神社の桜の木が市道にはみ出している状況でした。八幡神社の関係者の許可を得ましたので、支障がないよう伐採しました。
139	11和霊	7	自宅から公民館まで歩いていると、道路の横に穴が空いているところがある。	そちらも確認する。	建設課	現地確認したところ、破損している側溝蓋が複数ありましたので、補修しました。
140	11和霊	8	伊達博物館反対の署名が集まったと聞いた。私にも署名を求め人が来た際に、何に反対か聞いたが、聞いてもよく分からなかった。市民が今日食べるものも困るのに、何十億で箱モノを作るとあったが、文化を保存し、残すことにはお金がかかるもので、儲けるものではないと考えている。良いもの、わずかに残っているものを残していかないといけないと思う。建築する方向で進むと思うが、反対する人は費用と場所の問題や桜の木の問題など言っていたが、市民が伊達という個人に半分お金を持っていかれてということは本当か。入館料の半分は伊達家に入るか。 2) 署名した人は分かって反対しているかが分からない。スーパーの出口で署名してと言われ、端々、ある部分だけを言っていた。建物が大きく、伊達の物を入れて場所が余るとも聞いたので、大竹伸朗さんの記念館のようなものを入れてもらえないか。長年宇和島に住み、子育てもこちらでして、国際的に有名な人になっている。大竹さんの作品を展示すれば、諸外国から宇和島に来る人が多くなるのは間違いない。ぜひそういうことができるならと思っている。	入館料の500万円を超えない部分の半分をという約束がされており、文化財は無償で借りている。 2) 平成31年から伊達博物館をどうするかは建替委員会を開催してきた。発端は平成25年に伊達博物館のコンクリが剥がれ、雨漏りや湿度が保てないことをどうするかということがあり、まずは大規模修繕をした。ただ、耐震化ができていないので、学校、市役所と順に耐震整備完了後に、議論を進めてきた。市が所有する文化財が少ない中、伊達家から借りて文化を発信することが原点にある。維持管理費についてもご指摘を受けているので、少しでもそうならないように努力を重ねていく。大竹さんは人生の半分以上をこの地域で暮らしていただいている中で、宇和島市があまりにも関わっていなかった現実がある。5年ほど前に何か取り組みができないかとお話をさせていただき、パフィオうわじまの緞帳への協力を快諾いただき、無償でいただいた。パフィオの3階には大竹文庫も設置している。伊達博物館建設の市の負担は10億円と大きなお金になるが、一方で総額は解体と再整備、移動費や備品購入費などを含めて約48億円になっている。市の負担が少ないのは、国の補助を受けており、それには条件があり、宇和島の偉人や歴史の展示や博物館とは違う展示をして観光に資するとしている。多くの方に来ていただく、経済効果も見据えながら、今後も努力を重ねていく。大竹さんのことはこれからも関係を継続していきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館	-
141	11和霊	9	日本全国で博物館はあるが、宇和島だけ伊達家が所有して、市に寄贈していない。その問題について、どう考えるか。 2) 日本全国では博物館所有になっているのに、宇和島市は借りて、毎年支払っていく。品物は全部伊達家のものなので、いつ引き上げると言われるかも分からない危うさもあるが、そういう心配はないか。	色んなものをお借りしながらというのは先ほど申した通り。寄贈する人もいれば、寄託の形もあるので、それぞれの博物館、所有者の考えだと思う。 2) 建替委員会に伊達家の方も入り話をしてきた。これについてはしっかり整理されるものと思う。対価ではなく、入場料の半分で500万円を超える場合は250万円を支払っている。すべての博物館が所有しておらず、お借りして寄託の博物館もあると聞いているので、それについては整理をしていく。	文化・スポーツ課伊達博物館	寄託は一般的な制度で、伊達博物館及び宇和島伊達文化保存会だけということありません。寄託については現博物館においても博物館館則に基づき運用しております。
142	11和霊	10	ダムの放流のサイレンが流れるが、以前に比べて最近聞こえない。また、伊吹町北通は一番土手が低い。ダムが満水になると水を流すが、一度浸かっているのに、恐怖心がある。まるよマンション前に流木が流れ、あふれていたこともある。あの川は県の河川になるか。まっすぐにしてもらいたい。泥も溜まっているが、以前は報奨金があったので、検討してほしい。	ダムのサイレンについては、ダム管理者に連絡する。	危機管理課、建設課	危機管理課：須賀川ダム管理事務所から確認したところ、「ご自宅付近は令和3年末に回収したサイレンのカバーをする範囲内に入っていますので、ご理解願いたいと思います。また、放流前にはパトロール車でも周知していますので、よろしく願います。」とのことでした。 建設課：当該箇所は河川が道路を横断する必要があるため直線にはできませんが、流下物による通水断面の障害のないよう注意します。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
143	11和霊	11	ノラ猫のフンの害がひどい。何とかならないか。 2) ノラ猫に首輪をつけ、餌を与えている人もいる。窓があけないくらいに臭い。	動物に対してもいろんな考えがある中で、積極的にできないことが多い。地域猫という話もあるが、実際に害がある人からはそれどころではないと思う。 2) 動物愛護は大事と思うが、しっかり飼うことが大切と思う。排除することは厳しいと思う。極端に被害がある人に何かできることはないか考えてみたいと思う。	生活環境課	猫は愛護動物であるため、猫に直接何かをするということは違法となる可能性が考えられ、ノラ猫のフン害については、ノラ猫が敷地内に入ってこないようにする等、自衛に努めていただくことが基本となります。
144	11和霊	12	伊達博物館建設の工事車両の出入り口はもう決まったか。 2) 現場は通学路であるので十分配慮していただきたい。	私は十分に理解していない。安全安心については工事関係者がしっかり対応していくと思っている。	文化・スポーツ課伊達博物館	工事車両は国道西側（城南中学校）から侵入し、北側（宇和島東校側）に退出する予定です。交通誘導員等を配置し、安全には十分留意します。
145	11和霊	13	犬の話で、市内の公園にペットが入れるようになってきているが、決まった公園でのみにしてほしい。どこの市でもどの公園でも犬を連れていいとはしていないと思う。	昨年8月から公園へのペットを許可している。ペットとの暮らし方の価値観も変わっている中で、大前提としては飼い主のマナーがあり、これについてはさらに意識を高めることができるように周知していきたい。	都市整備課（生活環境課）	都市整備課：県内11の市町に確認した結果では、1市のみペットの立入りを禁止しており、他の10市町については、禁止していない、もしくは、一部の公園のみ禁止している状況でした。
146	11和霊	14	丸山の陸上競技場の上にある遊歩道から球場が藪で見えない。また、城山を見ようとしても桜の木があり見えない。桜の木を切るようにまで言わないが、あのあたりの整備をお願いしたい。	城山より高いところにあるので、景観を楽しむ人もいると思う。桜の木を切ることは難しいが担当と検討する。	都市整備課	公園内の植栽管理につきましては、造園業者に委託していますので、園路沿いの可能なものにつきましては対応いたします。
147	11和霊	15	須賀川ダム放流のアナウンスがあるが、もう少し高さを高くすると放送が広く届くと思う。スピーカーには指向性の強いものもある。また、ゆっくりアナウンスをすること。豪雨の時には、男性の声より少し高音のアナウンスであれば聞き取りやすいと思う。	須賀川ダムの件について、高くすれば届くや声質についても防災ラジオでも同じような話があるが、逆に男の声がいいなどいろんなご意見がある。ダムの件であるので、聞きやすさなどのご意見は県のダム管理者にはお伝えしたい。	危機管理課	県からダム放流のメールに合わせて、市の安心安全情報メールやスマホアプリに連携して配信しています。 【須賀川ダム管理事務所から回答】 ・スピーカーについては、令和3年度に改修する際に必要な範囲がカバーできるよう設置していますのでご理解願います。 ・須賀川ダムの放流アナウンスは、女性の声でゆっくりアナウンスしています。
148	11和霊	16	公園での犬の散歩について、去年8月に許可になった経緯を教えてください。どういった流れで、周辺の意見やアンケートをとった経緯があるのか、許可した後にならっているか確認したか。	公園での犬の散歩の件は以前から話があり、マナーが向上しているだろうということがあったと思う。議論の積み上げで総合的に勘案してスタートしたが、近所へのアンケートはしていないと認識している。実際にフンをしているとかは飼い主のマナーであり、あまりにひどければ考えていけない課題と思う。	都市整備課（生活環境課）	都市整備課：昨今のペット需要の高まり、ペットを家族とする意識が高まる中、近年の飼い主のマナーも向上していることに加え、県下市町の対応状況を考慮し、都市整備課が管理する公園において条件付で規制を解除しました。なお、許可の前後において、アンケート調査はしていません。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
149	12立間	1	公民館の改築や新築の要望があると思う。立間も老朽化して、耐震化工事もされていない。出入り口が雨が降ると水に浸かってしまう。できれば、もう少し場所のいいところに整備してほしい。去年は自治会要望で移転、新築を要望したが、豪雨災害ではどこも浸水していたとの回答しかなかった。立間公民館と小学校は低いところにあるので、ご配慮をお願いしたい。 2) 他と一緒になく、立間でここが一番危険な箇所ということを念頭においてほしい。	公民館は吉田4地区で老朽化を含めて、災害前から危険性や今後の検討をしていた。小学校についての地区からの要望も、豪雨災害で公民館は浸水も承知している。まずは校舎を利用することを考えているが、ご意見は担当を含めて認識しておきたい。 2) 学校の谷からの水が多く、ここに水が集まるという話も地元の人からも聞いたことがあるので、十分に考えていきたいと思う。	生涯学習課 (教育総務課、企画課)	—
150	12立間	2	豪雨災害から5年が経過する。復旧がまだ残っているところも多々ある。残りもしていただけたらと思うが、改めて言葉としていただきたい。また、いつごろになるかも目安をいただければ、安心を感じられると思うので、検討いただいて、何らかの方法でお伝えいただければと思う。	この5年間はつらい時間だったと思う。豪雨災害以来、何とか復旧を果たすように作業を進めてきた。非常に遅れていることも承知している。砂防ダムでもいろいろ課題があったと思う。議会答弁でも最後までしっかり対応していくと答えているが、いつまでとお答えするのは難しい中、常にしっかり対応していくことは表明しているところ。箇所について、どの時期にという具体性のない答えになるが、しっかりやりぬくことは改めてお答えする。時期をお示しできるように努力を重ねていく。	建設課、農林課、危機管理課	—
151	12立間	3	吉田病院の医師について、院長も高齢と思うが、今後の医師の確保について聞きたい。	市立宇和島病院は愛媛大学を中心とした医師の配置をしており、愛媛大学とコミュニケーションをとることがまずはじめと思うが、それだけでは見通しが立たないところ。早期に道を付けたいと思い、昨年度から更にスピード感をもって取り組んでいる。津島病院も同じような状況にあるので、繰り返し挑戦をしていきたい。	病院局経営企画課、吉田病院	—
152	12立間	4	吉田町の消防団は有事の際にどの地区の火災でも全部の分団が集まっていた。最近になって、地元以外は待機すると言われるのが、放送が鳴ったときには火事の規模が分からないので、行ってみて、大したことがなければ帰ればよいと思う。大きな火事の場合は、間に合わないこともある。昔ながらのやり方の方が、消防団としても士気が上がると思う。	消防団活動に感謝する。3.11以降の消防の在り方、方向性に、順次対応していくと消防庁から話があったと聞いている。現場との考えの違いもあると思うが、団員のことも考えていかないといけないので、吉田以外でもそのようにお願いしているところ。これまで活動してきたことは改めて危機管理課と協議したいと思う。思いを受け止めておきたい。	危機管理課	「行ってみて、大したことがなければ帰ればよいと思う。大きな火事の場合は、間に合わない」これは、現場が混乱する原因であり、極めて危険性の高い災害現場において、迅速性、確実性が要求され、更には、団員の安全、負担を軽減するためにも、階級指揮者(団長、正副方面隊長、正副分団長、部長等)の適切な判断がより重要となります。R4消防団幹部実務必携では、『消火活動の成否は、指揮者が現有消防力をいかに合理的に運用するかによって決定される。また、団員の士気をさらに高め、有機的な活動を維持するためには、部下団員の「この指揮者と一緒に活動しよう。」という意欲を高めることが重要。』とされています。
153	12立間	5	今年度から消防団員の活動報酬が個人に振り込まれるようになった。年何回か訓練する中で、1日作業をすることもあり、団からお弁当や飲み物を配布するのに、団としての予算が全然ない状態になるので、個人から寄附というか集めざるを得ないことがある。個人振込はいい取り組みと思うが、団としての活動資金がないのはどうにかできないかと思っている。	市として危惧していたのは、消防団でいろいろと配慮していたことが個人支給になり、相当な混乱になると担当課も考えていた。国の方針の中でそうせざるを得なかった。この地域のみならず、他からも大きな課題として聞いている。個人に入ったものから徴収することは難しいとも聞いている。団から寄附をお願いしていることが現実になる。課題として認識し、考えていきたいと思う。	危機管理課	団員が言うところの「団としての予算」は、以前より、消防団員の年額報酬や出動手当を個人に支給することなく運用していたものであり、ホースやポンプ、車両など必要な装備は市の予算で整備、維持管理しています。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
154	12立間	6	農家をしているが、集荷や摘果をしている人がかなり高齢化している。宇和島市で大規模な宿泊施設はないか。 2) 若い人も帰り、規模を広げたいが、人手が足りず躊躇している農家もいるので市として考えてもらえればやりやすい。	J Aが太鼓場でしていることは認識している。八幡浜でもJ Aが運用している中で、どこに運用してもらえるかがあるが、今はそういった宿泊施設を持ち合わせていないのが現実。人不足でそこから園地と往復できればと思う。 2) 大きな課題として考えさせていただく。	農林課	地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する『地域計画』を、令和5年度から地域ごとに順次策定しています。市農林課・農業委員会が話し合いのコーディネーター役を担いますが、地域ごとに状況や課題が異なるので同時にすべての地域を策定することは困難です。
155	12立間	7	宇和島市も人口減少が止まらない状況にある。行政と大きな事業者が協力して取り組めないか。人口減少の要因として宇和島には学校がないので、高校を卒業すると県外に出る人が多い。出ていく人たちは家を借りて通学していると思う。大きな事業者に声をかけ、家賃の半分を支援する制度ができればと思う。今は高校を卒業する人数も多くはないので、大きな事業者が寄附してくれたら、親も助かるし、その代わりに助成を受ければ、卒業後に帰るようになれば人口が減らないと思う。企業も帰ってくれば、出し損にはならないと思う。企業には電子ポイントをつけるのもいいかもしれない。	都会で移住フェアをして聞かれることは、仕事はどうなのかということが多い。一度、市外に出ることは良いと思うが、そこに紐づけすることは、看護師などには病院局が奨学金制度を活用しているがほんの一部になる。民間が自身の企業の担い手を作るにはそういうこともあるかもしれない。企業としてメリットがあれば、できるかもしれないので、研究したいと思う。	企画課移住定住推進室（商工観光課）	企画課移住定住推進室：愛媛県では、県内企業との協力により、中核産業の人材を確保するため、登録企業への就職を希望する大学生等を対象とした奨学金返済支援制度を実施しています。市においては、市内に居住していただくことを目的に、就職先を問わない独自の奨学金返済支援制度を実施しています。商工観光課：市内の雇用対策案として、民間事業者と連携して対応してまいります。
156	13吉田	1	大きな地震が度々起きている。南海トラフに対する吉田町のソフト面・ハード面での市の対策を教えてください。	昨日も、震度5弱の地震が関東の方であった中で、南海トラフについても大変不安があるかと思う。吉田町の備えについては、5年前の災害でもそうであったように、行政がすべて市民の皆様の命を守りきれるということは、現実的にはできないことを感じたのが平成30年7月豪雨災害であった。自らの命をどう守って行くのか、やはり、自助・共助が大事、また、建物の耐震化も必要だと思うし、耐震化については市からの補助金等もお出ししているところ。また、逃げにくい方もおられるので、そういった方には地域で命を確保する取組みと、より早く、より高くといった避難が必要であると思う。そのため行政は、平時からそういった自主防災に対する支援や避難経路に対する思い切った補助メニューも用意しているところであるので、まずは、平時から自助・共助により、地域で命を守り、そして、普段から物資を蓄えて置くことができるよう、まずは、市として皆さんに促していくことが大事だと思っている。	危機管理課	—
157	13吉田	2	吉田町は歴史的に古い建物がある。それについて、今後どうやって残していくのか（保存していくのか）の対応策について教えてください。	吉田町における建物や文化財についてですが、有形・無形があるかと思う。無形では、吉田地区においては、やはりお練りを通じたこれまでの歴史を確保していくことだと思う。お練りについては、この地域の方が本気になって取り組んでいる中で、あと一步のところに来ているのはご承知かと思う。こうした古き良きものを残していく、三間では毛利家、津島では岩松の町並みなど、そういった文化財などの必要なものについては、しっかりと確保していきたいし、何らかの補助を行い、関わっていきたいと思っている。	文化・スポーツ課	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
158	13吉田	3	<p>合併してから18年が経ち、2万3千人もの人口が減っている。市も応援隊等いろんなことを考えているが、働く場所がないから、自分の子どもや孫が大学に行ってから帰って来れない、一番の人口の減少になっている。宇和島市にはやっぱり働き場がないので、働き場を少しでも多くつくる・育てる努力をすべきだと思う。小さいベンチャーでもいい、将来性のあるものには、助成をするなど、企業を育て、少しでも働き場をつくるのが移住者の応援隊よりも大事なことだと思う。家・お墓があり、帰りたいと思っている人が多くいるが、働き場所がないため帰れない。それが、宇和島市が過疎になる原因だと思う。その点どうお考えですか。</p> <p>2) 本当に、吉田に住みたい人はたくさんいる。農業の人はまあまあ帰ってきている。今後とも働き場をつくることを努力してほしい。</p>	<p>先ほどの説明でも申したとおり、移住を考えている方の話ではありませんが、宇和島に興味を持ってもらう方は本当に多い。意外に知名度はあり、宇和島フェアでは結構興味を持った方に来ていただいている。ただ、必ず、仕事はどんな感じですか、給料はどんな感じですかと聞かれる。給料は会社によってまちまちですが、都会との差はあり、宇和島への移住にまで考えが繋がらず、関係人口とか、宇和島は好きだけど都会から応援するという方になっているのが現実です。かつては、吉田ではボブソンの工場、宇和島ではシロキがあり、三間では現在でも双葉産業が残っていただいています。かつて企業誘致の全盛期があったと思う。それから、会社の諸事情で閉じたり、撤収したりがありました。多くの自治体でそういった（誘致に対する）補助をしているところではあるが、人材確保もセットで考えている。そのため、昔は点在化していた拠点を集約化しようとしている。そういったことで、企業誘致を含めお願いをしているところではありますが、なかなか現実的なところはない状況です。ただ、言われるようにベンチャー系であるとか、地域を出られた方が、何か起業して働くというのも可能性の一つでありますので、今、そういったことも含めて考えているところではありますが、まだ形にはなっていないところ。働く場所が必要というのは、ごもっともなご意見ですので、こちらについては、経済界とともに努力を重ねていきたいと思う。</p>	企画課移住定住推進室、商工観光課	<p>商工観光課：市としては、企業誘致や市内での投資に際し、雇用に対する奨励金制度を講ずるなど、市内の雇用対策を行っているところです。また、市内での創業促進のため、創業支援を実施しており、事業者育成を図っております。安定した雇用の場が増えるよう引き続き努めてまいります。</p>
159	13吉田	4	<p>ふるさとの納税制度は、よくは思っていないが、実際ある以上数字が出てくる。昨年度を見ると、八幡浜市が19億円あまりでトップだった。宇和島市は2億円あまりで、一時は宇和島市も4億円の時もある。減少しているのは、工夫不足だと思う。八幡浜市においても、同じみかんと水産業のまちで宇和島市と変わらない。愛南町でも7億円のふるさと納税がある。皆さんで工夫しているのかお聞きしたい。</p>	<p>同じ柑橘を扱う中で、北・南のまちでこんな大きな差が出ていることは、私も強く認識している。まずは、市役所の体制として、インターネットを活用しての入口が少なかったのも、何社か増やしており、目にさせていただくことで、その可能性を広げています。また、返礼品についても種類を増やしていこうとしている。これまでは、1年に1回としていた返礼品の選定を、随時申込方式にしていること、また、八幡浜市と愛南町は、出荷を大規模に出してもらっていますが、宇和島は十分な量がないことなども現実の課題としてあり、柑橘など返礼品が不足し、提供できなかったことことから、関係団体との協議を行っている。柑橘が注目されているのは事実であり、また、議会から提案されていることもあるので、なるべく早く成果ができるようにしたいと思う。</p>	市長公室	—
160	13吉田	5	<p>移住者の情報についてですが、吉田町の移住者の状況はどうか。</p>	<p>本日、数字は持っていませんが、吉田町には柑橘を中心に移住者が来られています。詳細は確認してお伝えします。</p>	企画課移住定住推進室	<p>移住者数の把握は、転入時のアンケートで「移住」と回答した方を集計し、全体把握しています。地区毎の移住者数についてはカウントしていないため、吉田地区の正確な移住者数は分かりませんが、近い数字として、吉田支所で転入手続きした方のうち「移住」と回答した方が40組61人であったため、少なくとも61人の方が県外から移住されていると思われます。</p>

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
161	13吉田	6	この地区には高齢者が多い。老人ホームをつくれないうか。そういった施設に入れず、地元を離れる方も多くいる。国民年金でも入れる施設をつくってほしい。もしくは入るための補助があればいい。福祉に対する補助支援があれば、老人も出ていかない。また、そういった施策をつくり、お年寄りのまちにしたい。	宇和島では鬼北、松野、愛南町で構成する広域事務組合で9施設の高齢者施設を運営し、加えて民間施設が展開しているところ。入所は、介護が必要な方を優先にしているため、健全な方には、待ちの状態になっているといった状況など、確かに希望者が多いのは認識している。こういう施設を維持するのは大事だが、民間施設とのバランスをとるのも大事かと思う。生活補助（支援）の関係ですが、支援金額を上げることについては、それに頼らず頑張っている方への兼ね合いもあり、なかなか難しいのが現実です。	高齢者福祉課	現在、令和6年度から8年度に向けて、介護保険事業計画を策定中です。介護サービスの将来推計を元に必要な施設等は定めていく予定としております。なお、吉田地域におきましては、買物代行やゴミ出しなどの生活支援サービスを住民が行う「かむかい よしだ」など、有償ボランティア制度があります。詳しくは宇和島市社会福祉協議会吉田支所（52-3166）までお問い合わせください。
162	13吉田	7	人口減少についてですが、最後は半分になっていく。その時のまちの暮らしはどうなるのか。例えば、ここがどうなるのかなど、教えてほしい。また、逆に使えることになるものなどがあれば教えてほしい。	人口が減ると、その分母が少なくなります。分母が少なくなるとやはり商売の機会が減る。また、行政サービスも行きわたらない懸念もある。事例として、今は路線バスの宇和島バスが撤退した路線には市がコミュニティバスを運行するが、人口減少による人手不足により、その手当ができなくなる可能性もある。とくかく今やるべきことについては、ベストを尽くしていくことが肝要。また、知事が言われている反転攻勢については、子どもが成人になるまでには18年かかる。子ども施策について、国もやっと危機感を持って取り組み初めてきたところ。	企画課、こども家庭課	こども家庭課：国において「こども未来戦略方針」が閣議決定され、2030年までを少子化対策のラストチャンスとして24年度からの3年間で集中的に取り組む「加速化プラン」の具体策や考え方が示されました。市においては、国・県の動向や、他自治体の先進事例など、情報収集も行いながら、機を捉えた施策に取り組んでいきたいと考えております。
163	13吉田	8	吉田病院が解体された後はどうなるのですか。広くなった場所をよく検討してほしい。	まずは耐震がなかった施設から、新館・新棟で医療を提供して行こうとしているところ。現施設の解体後についての土地の利用はまだ決定していませんが、いろんな可能性を見出していきたいと思う。	病院局経営企画課、吉田病院	—
164	13吉田	9	鶴間団地に入居している人から、他の部屋にはすべて網戸がついており、その方の部屋だけ網戸がついてないと聞いた。市の建築住宅課に話に行っているが、入居時に理解されて入っているの、市ではつけることができない、自分でつけてくれと言われていた。検討してほしい。	後日、担当課で状況を確認する。	建築住宅課	入居時に網戸がなかった原因については不明ですが、状況調査の結果、当初から設置されていたことを確認しましたので、設置いたします。
165	13吉田	10	市道の拡張工事について、道が狭いのが現実。合併してから見直され、さらに整備がされなくなった。吉田町にも狭い道がたくさんある。元町から本町に出る道が非常に狭い。個人で2mから4mに広げるなど、自分で道を作っている。40人、50人が通る道であるが、それを家主が作って、みんなが通っている。市にも、議員にも言っているのに、市道にすることが一向に進まない。市内の柿原にも同じように民地を使って通っている事案があるため、覆されないという。できないなら、個人の土地を買収したらいい。4mの道があるので、後は、舗装だけしたらいいのだから、市の方でやってほしい。なんでも本所の決裁、その決定になるから受付しない、できないという。これまで、「基金がたくさんできた」と自慢していたが、必要なところには使ってもらいたい。	基金については、決して自慢はしていません。基金は必要な時に備え、使用するものとしている。特に、豪雨災害の時には、基金が必要だと改めて認識した、その判断はしっかりする。市道については、市が積極的に建屋をつぶして行うことはなく、協力してもらってやれることもある。建屋については、本来、道路からいくらか建屋を引いて建築する必要がある場合もある。その場所を確認する。また、全体の市道の管理において、判断し、管理をする必要があるの、ご理解いただきたい。	建設課	—

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
166	13吉田	11	吉田球場の件ですが、大半の工事が進んでいると思いますが、吉田球場の整備が完了するのはいつですか。	豪雨災害時に、土砂の待機場所として使用させていただき、それから時間がかかっていることをお詫びする。工事の兼ね合いもあり、いつから使用できるのか詳細にお伝えすることはできないが、早期の利用ができるように受け止め、担当課にも伝える。	都市整備課	野球場につきましては、令和6年度内の完成を目指しております。
167	14天神	1	昨年12月、県デジタル化事業があり、危機管理課が手を挙げ、共同事業の調査を実施した。公民館の裏の調査をしてもらい、立ち会った。一部危険な場所があるということで、学校と連合自治会と私たちの3者でそれぞれの担当課、生涯学習課、教育総務課にお願いしたが知っているか。危機管理課と調査担当者2名で調査したが、このすぐ裏手に岩盤が露出しているところがある。危険なので対応した方がいいと調査会社から提案があった。下は通学路になっている。ネットをするのが一番とアドバイスももらったが、その後何も連絡がない。検討中や時期などの連絡もないので、本当に検討しているか聞きたい。子どもたちの8割は通学している道であり、小さな石でも危険なので、早急に対応してほしい。	調査をしていることは認識している。イエローゾーン、レッドゾーンが市内にたくさんある中で、緊急的に必要という結論で具体的な工法も示されているので、明日早急に確認して、連絡する。	財政課（教育総務課、生涯学習課）	財政課：改めて現地状況を確認のうえ、対策を検討します。
168	14天神	2	今年1月11日、家族が市の施設で脳梗塞より重い症状があり倒れた。すぐに近くの病院に行き、病院から市立病院に連絡して、市立病院に向かった。救急車をタクシー代わりに使えないと思い、自分の車で救急外来まで行ったが、歩くことができない状態であるのに2階の総合受付で受付するようにとの指示であった。受付では、保険証を出せなど、手続きに追われ、目の前で弱っているのを見ているのに、病院から脳に出血していると伝えていながらも関わらず、30分待たされた。私も切れてしまい、汚い言葉遣いで、「救急車でくれば直ぐ見るのか」とまで言わないと受付は分からなかった。それでようやく処置してもらえた。そういう対応は止めてもらいたい。2台しかない救急車を使っただけでいいという考えの市民もいる。市立病院の受付をぜひ指導してもらいたい。	一刻を争う中、手続きのことを申し上げ、お叱りを受けているものと思う。何らかの方法がとれるように、そういったことのない体制をとるように話したいと思う。ご迷惑をお掛けしました。	宇和島病院医事課	この度は総合受付での手続きにお時間がかかり、申し訳ございませんでした。今回受付での患者情報の収集が不十分だったことが、お待たせした一因ではないかと考えております。そのため、情報が不十分な場合は、症状をこちらからお聞きし、必要に応じて関係部署と連携し迅速に対応していくことを受付職員に指導をいたしました。
169	14天神	3	ふるさと小包便を周りは知らなかった。年3回物を送ってもらえる、とてもいいシステムと思う。宇和島を離れた子どもたちにいいメッセージにもなる。こういういいことはぜひ続けてほしいと思う。	スタートはコロナ禍でアルバイトがままならない子どもたちという思いから始めた。ホリバタ事業もそうだが、メッセージの意味合いもある。今年度も継続するし、続けていきたいと思っている。	企画課移住定住推進室	—
170	14天神	4	人口減少が一番と思う。増やすことはできないので、どう緩やかにするか。移住やデジタル化はして当たり前。去年も伝えたが、宇和島が生き残るには、柑橘や伊達文化と思う。海を守る取り組みもどんどんしてほしい。人口減るからみんなの負担も増えてくると思う。悪いところも、こういったことが起きるといっても伝えてほしい。昔は天神小学校に1,000人いたが、今は160人。今年の1年生は16人しかいない。市内の小学校中学校をどうしていくかの議論もしてほしいと考えている。	平成30年2月に学校統廃合の方向性は打ち出された。それから5年経ち、あまりにも子どもたちの減少が早く、周辺部、街中でもそういった話題が出つつある。また、南中も移行する中、3つの中学校を維持できるかということもある。苦言も含めてもやらないといけないと市長部局としても認識している。子どもたちのためにするという認識の中で、教育委員会にも伝えておく。	企画課、教育総務課	—
171	14天神	5	統廃合について、3月定例会では教育関係の部署の方が今年の夏ごろと回答したが、季節で答えるのはあまりにも漠然としていると思う。分かれば、何月ごろに基本計画が策定されるかお聞きしたい。	統廃合の計画は議会答弁に確かに夏頃と表現した。8月ごろと認識しているが、一度確認し、どういう状況にあるかお答えする。	教育総務課	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
172	14天神	6	人口減少に伴う施策の説明があり、いろんな施策をしているが、婚活、移住者の受入について、移住者はどのくらい宇和島市は取組み、どれくらい増加したか。婚活はコロナ禍だったので活動は鈍っていると思うが、どれくらいのカップルができたのか。また、出生数も300人台と聞いているが、近年の推移もお聞かせいただきたい。説明のあった施策以外に歯止め策はあると思う。市職員に幅広い目で見てもらいたい。若者が残らない理由として、働く場所がない。産業誘致もどんどんすべきと考えている。	婚活の数は待合せていないが、コロナ禍でリアルに会うことは限られていたし、イベントもできなかった。たぶん、この3年間の数字は厳しいと思う。移住者の数は、令和4年度で400人あまりの移住者がいる。県内では松山、今治が多く、その次に東予地区が多い。宇和島はその次になるが、決定的に違うのは働く場所の選択肢が脆弱ではある。基幹産業に興味を持っていく人はいる。ただ、林業をしても、民間会社に所属し、独り立ちする人はあまりいない。ご指摘のとおり、工場があつてという町ではない。企業からすると一定の労働力の確保も考え、工場を集約して移送コストも削減しているところがあり、なかなか難しいと感じている。働く場所については、移住フェアのどの会場でも言われている。最近では吉兆庵の事例もあり、そういう可能性も追求したいと思うし、少人数でできるベンチャー企業も考えたい。出生者数は昨年度が宇和島が300人あまり程度、その前が360人程度であったと記憶している。いろいろ努力を重ねていきたいと思う。	企画課移住定住推進室、こども家庭課、商工観光課	企画課移住定住推進室：R4年度においては、東京・大阪での対面式移住フェア（7回）やオンラインフェア（2回）に参加するとともに、移住体験住宅5戸の稼働や移住体験ツアー等を実施し、県外から410名の移住実績となりました。 【参考】R3:171人、R2:56人、H31:98人 こども家庭課： ■コロナ前と比較し、うわじまMIセンターでのお見合いやふれあい交流会の回数は半減していますが、成約数、カップル成立数は同程度となっています。 【登録者数(男+女=合計)/お見合い件数/成婚数】 R2 229+98=327/11/8 R3 236+93=329/22/11 R4 256+94=350/33/10 ■コロナ前と比較し、イベントの回数は減少しました。 【実施回数/カップル成立数】 R2 0/0 R3 1/3 R4 2/9 商工観光課：市としては、企業誘致や市内での投資に際し、雇用に対する奨励金制度を講ずるなど、市内の雇用対策を行っているところです。また、市内での創業促進のため、創業支援を実施しており、事業者育成を図っております。安定した雇用の場が増えるよう引き続き努めてまいります。
173	14天神	7	3年くらい前に、婚活事業に参加する女性がサクラで雇われていると言っていると聞いた。今後、サクラや既婚者が紛れないようにしてほしい。	運営していくうえで注意していきたいと思う。	こども家庭課	市主催イベントにおいてはそのような事実はなく、これまで苦情も入っていません。
174	14天神	8	出生率について、市職員で会計年度任用職員は何人いるか。 2) まずは周りを固めないか。会計年度任用職員は3年ごとに試験があり、不安がある。結婚しよう、子どもを作ろうという気持ちになれないと思う。自分の周りの職員をかわいがらずに市民を守ることはなかなかできないのではないか。 3) 天神校区の社協でジジサロンがあるが、その中で婚活をしようという考えがある。その際にはぜひ助成金をお願いしたい。	50%を超えている。 2) 議会からも指摘を受けている。一時期に採用を十分にせず、当時は臨時職員と嘱託職員であったが、日本全国で会計年度任用職員として諸条件を上げられているところ。少しでも職員にとの気持ちはあり、採用の幅は以前より広げている。40%にできるかという全体の人数とのバランスもあるが、考えていきたい。 3) お気持ちは受け止めておきたい。	総務課	R5.4.1現在の職員数は以下のとおりです。 本庁採用正職員：653人 会計年度任用職員：661人 非正規率：50.3%
175	14天神	9	会計年度任用職員は昔の臨時職員と思う。会計年度任用職員と言われてもピンとこない。職員より下に見られ、いいイメージがない。公民館主事は3年で職員になれるルートを作れば励みになると思う。公民館主事は第一線で活動しているので、重要な位置づけにしてほしい。	会計年度職員は全国的な呼び方であるが、悪いイメージを持つ人もいるかもしれない。しかし、いなくてはならないし、その中でやる気がある人は正職員にと広く門徒を開いていきたい。公民館主事は私の市議時代に正職員から変わったと思う。公民館はミニ市役所で、かつて勤務した職員も地域からいろいろ学んだ。3年で職員にとあがるが、優秀な方はぜひ試験を受けてほしいと思う。	総務課（生涯学習課）	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
176	14天神	10	宇和島市は人口問題が一番の問題と思う。市長が言う選ばれるまちを目指して、これからPRしていくとあるが、第一は人口の問題と思う。人口の流出を防ぐ、子どもたちが宇和島に帰ってくるまちづくりをしてもらえればと思う。帰ってくる受け入れ体制として、企業誘致や新しい事業への市の支援、農業、水産業、教育もあるが、活性化の1つは商店街もある。立派な商店街でほかと見劣りがしない。商店街をうまく利用することはないかと広報紙で大竹さんも言っていたので、考えてほしい。前は商店街を市内バスが走っていた。観光では登山口から城山まで距離がある。国の指定で木を切るのも大変と聞くが、登るのがしんどい人もいるのでリフトを付けるのもいいのではないかと思う。子どもたちが帰ってくるようなまちづくりをしてほしい。	人口問題に関しては、選ばれるまちはキャッチフレーズみたいになっているが、東京の大学に行っている宇和島の子が集まる機会があり、卒業後にどうするかを聞いてみたことがあるが、親や学校の先生からも宇和島に帰ってくるように言われたことはないと言った。人口減少が緩やかになっている町では、帰ってこれる仕組みの原点として、宇和島での幼少期からどのようにこの地域への思いを醸成するかということに力を入れていきたいし、実際に暮らすのは、生活や仕事といったリアルな問題になるので、それについては努力をしていきたい。 城山はリフト整備の前に手すりも整備できないという話もある。落下防止など私も何らかの手当は必要と考えている。文化庁も最近は文化を活用した観光として、整備計画に基づく整備はできるようになってきている。リフトまでできるかは分からないが、整備は考えていきたい。 商店街の件は、夏祭りでも宇和島音頭に昔は多くが参加していたが、今は観客も少ない。アーケードは西日本有数であり、何とか活用できればと思っており、商工会議所と話をしているところ。市も駅前から商店街の賑わいをどうするか協議をスタートしている。広報うわじまの大竹さんの話でもあったので、これから市としても何とかしていきたいと思っている。	企画課、文化・スポーツ課、商工観光課、都市整備課	商工観光課：商店街振興は商店街組合、商工団体等の関係者と連携し取り組んでおり、市としては、店主の前向きな取組を支援する補助制度等で、商業活性化を図っているところ。引き続き、商店街関係者と連携し、商店街活性化の取組を進めてまいります。
177	14天神	11	防災に関して、天神公民館、小学校、丸穂保育園は高台にあり、津波の場合には他の地区の市民を受け入れないといけないと思う。必要な資機材を配布してもらいたいが、市内で均等に配布されている。地域づくり協議会の中で、少しずつ購入しているものもあるが、それだけでは足りない。地元で管理するので市で大きな倉庫を建ててもらえないかと思う。去年、新居浜の防災センターを視察して、子どもたちも連れて行った。できれば、高台に防災公園を作ってもらい、各学校が見学に来る設備ができればいいと思う。	バランスよく配備するのは行政ではよくあるが、南海トラフだけでなく、風水害に対応するために、必要かと思う。高台への整備については及んでいないので、しっかりと頭に入れておきたい。 新居浜の防災センターは私も見に行っている。宇和島でも体験して防災意識を高くする人ができればいいと思い、市としてもいづれ作っていきたくて考えている。あわせて、消防本部も津波浸水区域にあり、広域事務組合では消防本部の移転も考えているが、平時の救急体制のこともあり、専門家を含めて検証しているところ。高台であっても土砂災害のイエローゾーン、レッドゾーンなど難しいところもある。消防本部と防災センターは運用として一緒の方がいいと考えているが、消防本部の場所がなかなか決まらない。提案いただいた防災センターなど意識を高めることは必要と思う。早めにできればいいが、なかなか適地がない状況にある。	危機管理課、消防本部	—
178	14天神	12	夏祭りは和霊大祭と牛鬼まつりを同時開催していたが、何年か前から分離していると聞いている。新居浜、西条の祭りからも分かるように、神輿は郷土愛につながっている。運営で異論はあると思うが、今までどおり一緒に盛り上げた方が観光客が来ると思う。	牛鬼まつりは長年続けてきたが、私が就任して初めての牛鬼まつりは豪雨災害で中止した。その後、開催できた牛鬼まつりでは、宇和島音頭や3日目のブラスバンドはなかなかお客さんがいない中で、改めて考えようというのがきっかけになっている。商工会議所で市民にも話を聞こうとしているところであり、議論を重ねていく。	商工観光課	うわじま牛鬼まつりは、より充実したお祭りになるよう、市も参画している検討委員会にて検討を重ねているところ。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
179	14天神	13	公民館の坂の下に信号があるが、初めて来る人は危ないときがある。丸山公園グラウンドや闘牛場に行くのに交通量が増えるときもある。今は、角が更地になっており、市議を通じて市に話を持って行ったが、難しそうであった。今しなければ、あそこの交差点の改良はできないと思うので、ぜひ交通の緩和をしていただき、子どもたちが安全に通学できるようにしてもらえればと思う。	交差点については、住吉小学校でも動線を考えてほしいと聞いている。更地になったときに市が購入する事例もある。担当課に確認する。	建設課	現時点では対応できませんが、当該箇所は、線形がいびつであり、改良が望ましいことは認識しています。今後の状況に応じて、対応したいと考えております。
180	14天神	14	女性の活躍の場として、PTAで子ども食堂をしたときに、宇和島グランマの松島さんと話した。最近、宇和島グランマ、NPOセンター、女性防災リーダー育成など女性が頑張っていると思う。まちづくりの中で女性が活躍できる場を作っていくことがいいのではないかと。	グランマやNPOセンターのきっかけは豪雨災害であり、多くの民間団体が定期的に集まり、話し合ってきたことが原点にある。拠点を整備し、女性目線で取り組んでいることがスムーズな展開となっている。先日も、子ども食堂の地域への移行を考えていると聞いており、頼もしく感じている。市職員でも管理職に女性を入れていこうと、数字は達成していないが、確実に増えている。委員も一定の割合に女性に入ってもらい、女性の価値観を入れてもらっている。意識を高くやっていきたいと思う。	企画課、総務課	総務課：管理職に占める女性の割合（一般行政職）は以下のとおりです。 H31年度 6.6% R2年度 6.5% R3年度 7.9% R4年度 7.9% R5年度 9.2%
181	15高光	1	伊達博物館のことを何人かに聞くと、場所と事業費の問題に疑問を持っていたりする。私は一流の隈研吾さんにしてもらおうことは素晴らしいと思うが、建設費は当初20億程度であったと思う。市の負担は10億3000万円できるか、今後増えることはないか。	建替えの背景として、平成25年にコンクリートとが剥がれ、対応を協議し、当時は大規模改修で対応した。また、耐震性がないことが課題であり、平成31年から建替委員会を設置し、議論をしてきた。その中で、場所については天赦園と一体がいいという考えで、天赦公園になっている。宇和島の歴史、文化をつなげていく理念が大切で、次に事業費の問題がある。約48億円は解体費も含めた金額になる。当初は40億程度であった。国の補助を受けるため、国との折衝をはじめ、都市再生整備事業を活用することとし、国から2分の1の補助を受けることとした。残りの2分の1は起債、有利な借金を国と協議して、活用することで市の負担は10億円程度になる。国からの支援は伊達博物館を建てなければ宇和島には一切入ってこないお金になる。なるべく市の負担を減らしながら、理念を守ろうとしている。48億円を超えるかについては、今は実施設計、詳細設計を最終段階で詰めているところになるので、近い将来に示すことができると思う。隈研吾氏は厳しい時代に梶原に助けってもらったと、宇和島にも縁を感じると聞いている。先日も予土線のアドバイザーに就任していただくなど、私としても縁を感じている。建てた後にも努力を重ねていきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館	事業費概算にかかる説明推移は次のとおりです。（※跡地整備費等含む） R2.11（基本計画時） 39億6,000万円 R4.6（基本設計時） 45億円 R5.2（議会説明時） 48億円
182	15高光	2	今の伊達博物館よりも土地が低いところになるが、大丈夫かと思う。	国道よりも公園は低くなっているが、市も佐伯町にかけて工事をして、水が流れないようにしている。伊達博物館の工法についても地盤調査、十分ない打ちなど、十分な手当てをしていく。技術的なところは専門家の力を借りているので、私は安心している。	文化・スポーツ課伊達博物館	—
183	15高光	3	地域づくり協議会の事務局長をしている。開始から11年目になるが、すぐに間に合うし、非常に助かっているが、昨年度末で全部使い切ってしまう。今後5年間継続になっているが、ぜひ増額をお願いしたい。	当初は3,000万円スタートして、人口割、高齢者割などの考えを加え、地域の問題を解決できるようにしている。就任後に5,000万円に増額させていただいたが、コロナ禍ではなかなか使えない時期があり、繰り越しも認めている。今年度も増額しているが、協働のまちづくりを推進している中、この仕組みは今後も続けたいし、増額についてはご要望として聞き、担当とこれからのことについて話したい。	企画課	—

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
184	15高光	4	<p>今までは市の事業に対してあまり関心がなかった。年を取るにつれて、人の話を聞くと、農家の人も真剣に考えると厳しい時代になっている。いま市長は子どもたちに文化、歴史を残したいと言ったが、バランスとして、将来に人口が減る中、48億円を投資するメリットがあるか。説明会をしたとあるが、市民が十分に話を聞いていないと思う。情報伝達が市民の80%以上漏れているようならバランスが悪すぎる。ここ1月で一般市民の声を聞いてみると点数があまりよろしくないと思う。もっと一般市民を交えて真剣に考えてほしい。先ほど、よその有名な建築家の話をしたが、宇和島市の中であの人に負けない才能を持った人がいるかもしれない。外にお金を落とすのではなく、宇和島にお金を落とすべきと思う。津島町のやすらぎの里も計画しているが、指定管理者が市内ではない。あれも理屈からいうと間違いと思う。市内にも受ける才能のある業者はあると思う。なぜ利益を外部に漏らすか。いけないとは言わないが、する前に人の意見を十分に聞いてほしい。</p> <p>2) やすらぎの里も役員が今までの人と変わっており、新しい役員が問題視している。根本が間違っている。</p> <p>3) 今から建設する中で、一般市民の声を聞き、いいことは取り入れ、ダメなことはやめるように、今後耳を傾け、税金を使うので、みんなが笑顔でできるようにしてほしい。</p>	<p>伊達博物館の48億円が独り歩きしているので、先ほどご説明した。10億円が安いとは思っていないが、博物館への来客などの経済効果などを考えている。この事業がなければ、1円も来ていなかったことはお知りおきいただきたい。宇和島にお金が落ちないとあったが、入札制度については、建築でもなるべく地元にとはしているが、設計の分野については、広く提案を受けたいと提案型で募集をした。その中で隈研吾さんになった。やすらぎの里に関しても、温泉を含めていいものになりたいと、提案型で募集をした。外がとって雇用につながる背景などを含めて決めさせていただいた。</p> <p>2) 伊達博物館の説明が十分かはそれぞれの立場で考えが変わってくるかもしれない。いろんな手段を使って、お知らせしようとしている。回数が足りているかの議論。やすらぎの里についても、地元と話しながら進めている。ご意見として市民の意見を聞くようにというのは頭に入れておく。</p>	文化・スポーツ課伊達博物館（財政課：契約）	<p>財政課：物品購入や工事の請負については、極力、市内業者を優先することとしています。そのうえで、技術的に高度なものや大規模なもので市内業者のみで対応困難な場合については、募集の範囲を広げるなどの対応としています。</p>
185	15高光	5	<p>国土調査がされていて、高光地区は完了し、光満は今年で終わりと聞いている。高光地区は8年前に市から調査に協力してほしいと言われ、決めたことだった。聞くとところによると、光満地区は調査しないと聞いたが本当だろうか。</p> <p>2) 団塊の世代がかなりの年になっているので、立ち合いができなければ境界が分からない。宇和海地区でも山の上の方は境界が入っていない。特に山林は境界ができないと思う。</p>	<p>津島地区でもそういった話は聞いている。8年前のことも含めて確認する。</p> <p>2) 国調については、筆界未定があることも現実にある。土地特有の境界が関係者がいなくなれば分からないということは十分に認識している。高串と光満の件については、確認したいと思う。</p>	国土調査課	<p>地籍調査は大字単位を基本として行っています。高串地番が令和6年度着手分で終了しますが、その後は光満ではなく住吉町に移る予定です。8年前の件は確認できませんでしたが、調査実施前に広報でのお知らせや地権者を集めての説明会は実施しています。</p> <p>宇和海地区の調査はすべて終了しています。どこの地区でも一部筆界未定はあります。</p>

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
186	15高光	6	伊達博物館の建設予定地について聞きたい。かつて池であったと聞いたが間違いはないか。 2) 戦後はレンコン畑であったと。 3) PL(液状化可能性指数)値は30以上になっており、非常に危険な軟弱地になっていると思う。すでにボーリング調査はしていると思うが、硬い地下までどれくらいか、PL値はいくらであったか。 4) 鬼ヶ城水系からの水の道が、地下水があるということの認識はどうか。 5) 津波対策の件で、5mの高さで津波の損害はないと説明があったが、その考えに変わりはないか。 6) 津波の高さは県の想定では6.5mと聞いている。また、ある学者の説で、南海トラフでは愛媛県域は約1m地盤沈下するという説もある。昭和21年12月の南海地震では、宇和島で29cm地盤沈下している。5mの高さでは不十分ではないか。津波の波は時速40km程度であり、海底からの土砂、周辺の家屋を流しながら到達するので、5mでは不十分ではないか。 7) 現在の博物館が南海トラフに耐えられない趣旨で建築すると思うが、現在の博物館を耐震化やリフォームの検討はどの程度したかを知りたい。 8) 以前、津波が1時間で到達すると発言があったが、最短で29分になっていると思うが。	池とは認識していない。 2) それも認識していない。 3) その数字は持っていないが、近くでの建築事例から建設可能と考えている。宇和島城は海城でその周辺は埋立地であるので、どういう工事をするかは専門家が調査をした数字をもって必要な工事の対応をする。 4) 認識はないが、いずれにしても建物はそういったものの危険性がないように対応している。 5) 建設するときにはそのときの推計値をもって建設する。市立宇和島病院は電源が地下にあり、東日本大震災後に浸水域になる推定がされたので、エネルギー棟の建設をしており、同じように伊達博物館も所蔵庫を設置しようとしている。 6) 県の想定も、市も国も考えている想定は同じで、あの高さで対応できると技術者と話して決めているところ。地盤沈下の想定については、どういう根拠で建築物に反映するかはしにくいところと思う。与えられた条件で技術的に担保しながら計画しているところ。 7) 前提として耐震化では十分な強度がでないと聞いている。その中で公共物であるので、これで大丈夫かもでは厳しく、現在の計画が進んでいるのは事実であり、そういったご理解をいただきたい。 8) 私の認識では1時間と認識しています。 (事務局から詳細は担当課から回答すると伝えましたが、回答不要とのこと)	文化・スポーツ課伊達博物館(危機管理課)	1) 建設予定地は池ではなく海岸だったと把握しています。 2) そのように聞いています。
187	15高光	7	伊達博物館の建設は天赦公園にどうしても移転しないとイケないか。48億円の都市再生整備事業の40億円がでるから移転しないとイケないのか。 2) 4年前に天赦公園を守る会の何人かに、市長はどうしても天赦公園に移転しないと補助金がでないと聞いていることを知っている。今日確認したのは、建替委員会で決まったからということですね。でも安全の方が大事。約48億円というが、今、宇和島の人々がどれだけ生活が大変がご存じか。明日から物価も上がる。みんな苦しい思いをしている。	建替委員会の中で協議を重ねてきた。その中で現地で建替えも検討されたが、天赦園と一体となってという意見の中で決まっていたもの。理念があり、次に財源として、市の負担軽減を検討する中で、都市再生整備事業の活用をという考えに至った。繰り返すことになるが、財源は手段であって、まずは理念をどのように確保していくのか崩れてはいけないと思う。 2) 冒頭でも申し上げた48億円の独り歩きがいろんな混乱をもたらしているのも事実。タウンミーティングでもきちんと説明をさせていただいているところ。私も48億円の話は聞かれるが、説明すると理解してもらっている。困っている方々については、国・県も含めて、コロナでもいろんな対応をしているし、商品券事業として物価高騰の折に少しでもと支援させていただいている。目的を分けないと、まちとして機能しないと思う。	文化・スポーツ課伊達博物館	—
188	15高光	8	小学校のことでお聞きしたい。吉田小学校が中学校と同じ敷地にできるが、小中一貫学校の考えはないか。	高光地区を含めて一貫校という話と思うが、その議論までは至っておらず、まずは教育委員会の中でどういった学校を目指すかがあると思う。平成30年に統廃合計画を示したが、子どもたちが減少している中、夏には改めて計画を示すと聞いている。ハード整備とソフトの統廃合は若干切り分けないとイケないかと思う。吉田は5校が集まる中で、災害を受けて考えてきた結果なので、旧宇和島が同じようにするのか、改めて教育委員会とは共有しておきたい。	教育総務課	—
189	15高光	9	津波について、5、6mは来ないという発言をするから、誤解を生む。昔はこの辺まで津波が来たから、ナミギワという地名がある。どれだけの津波がくるかは分からない。	東日本大震災でも想定外の津波で亡くなった人もいる。しかしながら、何かをするときには想定に対してどうするかを考える。もちろん十分なものを建てることもできるが、補助事業であるため国から必要かという指摘があると思う。市立宇和島病院のエネルギー棟でも必要十分な高さに整備することになっている。表現には気をつけて話したい。	危機管理課	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
190	16石応	1	防災ラジオのアナウンスの在り方について、地域の自主防災組織に入っており、災害には常に関心を持っている。3. 11の津波の映像をYouTubeで見ることがあるが、住民が海の方を覗いている。その後ろで、ゆっくりとアナウンスがされている。マイク放送ではゆっくりが基本とは理解しているが、あのようなアナウンスの仕方では緊張感がないので、住民も緊張感がない行動をしている。緊張感があるようなアナウンスの仕方があると思う。アナウンスの在り方を検討してほしい。	防災ラジオの在り方はいろいろ指摘を受ける。コロナのときに私もスピード感や緊迫感を伝えるべく直接アナウンスした。ゆっくりしたアナウンスをと聞いたことがあるが、ハウリングの問題などもあるかと思っている。緊張感は別の価値観と思うので、工夫ができるようにしてみたいと思う。	危機管理課	—
191	16石応	2	観光について、宇和島城が現存12天守で有名であり、誇りに思っている。その割に人気度は高くないことを残念に思っている。どのようにしたらいいかと考えているが、この時代、SNSで発信することと思う。行政でなく、来たお客さんが発信するような仕組みづくりができないか。拙い案ではあるが、兜を自由にシロシタに置いて、自由にかぶって、長屋門で写真を撮るとか、子どもだったら相当喜ぶと思う。小倉城での映像を見たこともある。シロシタの職員が着物で対応すれば、城下町の雰囲気が出ると思う。	お城については、SNSによりその人気は波がある。現存12天守の1つであることは事実であるし、いろんな方が投稿する仕組みは面白いと思う。シロシタでは甲冑体験をしているが、もっと気軽にといいことだと思っているので、活用の仕方については、観光物産協会に提案してみたいと思う。	商工観光課 (市長公室：広報、文化・スポーツ課)	商工観光課：宇和島城天守及び観光情報センター「シロシタ」等にて来城者の満足度向上を図るべく取組を進めているところです。ご意見を踏まえて、対応を検討してまいります。
192	16石応	3	自主防災組織の一員。雨が降ると白浦の農道入り口に山からの排水路がある。対面2車線のところ。農道からの水が出口がないので、溢れて、赤道を通り一番下に行く。低いところが毎回浸水するので何とかならないか。県道は切ることができないと聞くが、何とかならないか。市議にも伝え、県にも届けている。	改めて県にも伝える。	建設課	—
193	16石応	4	石応のオンビキ谷というところがある。砂防工事はしてもらっているが、排水路の下をくぐって、水が住宅の下を通っている。家の横に1m程度の赤道があり、大雨になると水が溢れている。個人では対応できないので、何か対応ができないか。	後ほど地図で場所を確認する。	建設課	—
194	16石応	5	小福浦から石応に小さい湾を超えてきたと思う。3m程度の橋があるが、乗り越える際にガタガタになっている。自治会長から県にも言っているが、何とかしてほしい。	時間はかかっているが、県が小福浦から拡張していることは、重要な幹線と認識していると思う。できることは対応すると思うので、後ほど場所を教えてください。	建設課	—
195	16石応	6	宇和島の人口が減っていく。若い人が働く場所の創出として、第一次産業、水産業と農業が宇和島を支えている大切な産業と思う。漁協の第一出荷場やイヨスイ、宇和島プロジェクトなどがあり、大きなトラックが通っている。そのことも含めて道の整備をしていただきたい。もう少し拡幅して整備をしていただきたい。	第一次産業が宇和島の核というのは間違いないと思う。生産者がいて、従業員を雇って、水産商社、運送会社、金融関係と幅広い効果がある。道路が狭いところは車の譲り合いをしていると思うが、大型トラックは圧迫するので不安もあると思う。県にもしっかり訴えていきたいと思う。	建設課	—
196	16石応	7	伊達博物館について、人口が減る中で、どうすれば宇和島を発展させるかは交流人口だと思う。宇和島に来ていただく人を増やす核になるのが伊達博物館だと思う。所蔵しているものは日本でも指折りで宇和島が誇るもの。披露する場所として、建替えはするべきだと思う。建築予算約50億かかるということだけ言われているが、実際の市の持ち出しは10億くらいになる。全国にも通用するものを展示して人が呼べることをもっと強調すれば、今起きている問題も解決するのではないかと思う。隈研吾さんの建物を見学にたくさんの方が構原に来ている。そういうことを絡めて宇和島を発展させてほしい。	伊達博物館は交流人口につながることも1つの目的。もともとの理念、出発点は、宇和島の文化歴史を未来につなげていこうというものであった。次に建てるなら財源をどうするかということであり、補助制度を探し、都市再生整備事業を活用することで国と折衝を始めた。国から2分の1が補助され、残りの2分の1も起債、有利な借金を活用して、市の持ち出しを少なくしている。10億円は大きなお金であることは間違いないので、これからも丁寧に説明したい。点から線につながるように意識しながら、観光にも力を入れていきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館 (商工観光課)	商工観光課：伊達文化関連施設(宇和島城、伊達博物館、天赦園等)は宇和島の重要な観光資源でもあるため、より多くの方に来宇いただけるよう、観光資源の磨き上げやPRに努めてまいります。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
197	16石砦	8	伊達博物館の維持経費の予算はどの程度を予定しているか。	2月頭に試算した額は1億8,000万円になる。なるべく圧縮しようとしている中で、現実な数字を落とし込んでいく。できてればまたお示しをさせていただきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館	—
198	16石砦	9	先ほど、県道の橋があったが、私も、県の担当者に伝えたが、工事をすることになれば、魚の補償ができない、魚に影響があるから今すぐ工事できないという話があった。	以前の話ということで認識して、今回改めて県には話したいと思う。	建設課	—
199	16石砦	10	人口減少対策の現状報告を聞いて大変と思う。市長自身が結婚問題が大変とあったが、市内の働く場所、企業誘致や一次産業でどういう取り組みを考えているか。年間300万円から400万円くらいの収入はないと結婚も大変と思う。	どのタウンミーティングでも働く場所の話はいただく。働く場はあるが、若い人に魅力的に映る仕事かは別の価値観になるかもしれない。企業の撤退もあるが、最後に企業誘致したのは源吉兆庵の工場になる。企業は働く人を確保しないといけないが、過疎化が進む中で人を確保できるかという課題がある。どちらが先かという課題がある中で、企業は工場の集約化、効率化を図っている。諦めるわけではなく、チャンスがあればと考えている。また、物流業界の2024年問題で1日で東京に出荷できなくなる。名古屋でドライバーを代えてという案もあるが、今の運賃体系ではもたない。魚は鮮度が命なのに維持できないのが一番の課題と言われている。魚をそのままではなくフィーレ化して、コンパクトにして運ぶことが主流になるかもしれない。工場誘致は水産会社など原料がこの地域にあるものは可能性があるかもしれない。この地域には日本指折りの水産商社もあるので、工場はできるかもしれないが、魚を触る仕事を好むかどうかの問題もあるかもしれない。	商工観光課、水産課（企画課）	商工観光課：市としては、企業誘致や市内での投資に際し、雇用に対する奨励金制度を講ずるなど、市内の雇用対策を行っているところです。また、市内での創業促進のため、創業支援を実施しており、事業者育成を図っております。安定した雇用の場が増えるよう引き続き努めてまいります。
200	16石砦	11	海洋ごみ問題について、漁協がいろんな設備で浮きとかを解体しているが、持ち込める場所や処分場を検討してもらいたい。漁業関係者も廃業するときに持ち込み処分すると海洋ごみが減ると思う。	ごみ問題のご指摘のとおり、県内でも南予の海洋ごみが最も多くなっている。宇和島では漁業系のごみが非常に多い。昨年、日本財団の支援を受け、漁協が減容器、破断機を整備したが、持ち込める場所の整備はまだできていない。本格的にゴミを集めると集積する場所が必要だし、一定の塩抜きが必要なので、広いスペースが必要になるが、まだそういった場所ができていないので、なるべく早めに対応したい。	生活環境課（水産課）	生活環境課：事業活動による廃棄物の処理は原則として事業者の責任において処理することとなっています。漁具廃棄時の運搬や処分費用は高く、処理のハードルが高い現状であると聞いています。法に基づき、漁業活動による漁具等の処理は行政では行っていません。なお、当市においてはボランティア清掃による漁具を含む海洋ごみの処理方法を研究しているところです。
201	16石砦	12	マイナンバーカードの普及率は結構高いと思うが、健康保険証は市内の病院は対応が進んでいくのか方向性を教えてほしい。	マイナンバーカード保険証は医療機関ですでに活用されており、広がりは今後もあると思う。	保険健康課（デジタル推進課、市民課）	保険健康課：市内において、マイナンバーカードリーダー（読取り機）を導入済みの医療機関は102。導入率は75%（6/4現在）。R6年秋の保険証の廃止までに更に導入が進んでいくものと思われまます。 導入数/対象数（導入率） ・ 内科：44/68（64.7%） ・ 歯科：32/42（76.2%） ・ 薬局：26/26（100%） ⇒ 医療機関全体102/136（75%）

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
202	17三間	1	もみの木に関わっており、子どもたちと保護者の会話の中で、気になることがある。警報時の子どもたちへの対応について、昨日もあったが、空振りでも警報が発表されることは承知している。一方で、子どもたちは休校になり、小さな子どもにとっては、その対応が十分でないと思う。それぞれの家庭で預け先は確保していると思うが、預け先も都合が悪いことがある。警報のときに心配なのは登下校の安全と思う。保護者が学校に送迎すれば安全が確保でき、給食はコンビニでもいいと思う。保護者は警報で会社が休みになることはなく、そのために正職員をやめている人も現実にいる。校長判断でどうしても預け先がない人は預かっていると聞かすが、そのハードルが高いと聞く。学校は避難所であり、安全なので、子どもが避難所として使うことを前向きに考えてほしい。	子ども教室と児童クラブと運営が異なるが、三間地区では子ども教室として、お力添えをいただいている。長期休暇にはもみの木でも伸び伸びした環境で過ごしていることも見せていただいた。行政の縦割りになるが、子ども教室は月1回、週1回開催されるのが原点で、上手に解釈して国からの補助をもらっている。預ける場所がないから仕事にいけないという話は私も聞いている。どうやってやるかは検討しているが、もっと前向きに検討していきたい。	生涯学習課、学校教育課（危機管理課）	生涯学習課：児童クラブ（鶴島以外）は警報時に臨時的に開所していますが、子ども教室は、開所場所や人員体制等の事情から開所が難しい状況にあります。クリアすべき課題はございますが、今後開所に向けた検討を進めてまいります。 危機管理課：警報発表時に小学校を児童用に開設することは、本部事務局としては問題ありませんが、現場の運用を整理する必要があると考えます。
203	17三間	2	学校のトイレは30年程度経過していると思うが、現在はほとんどの家庭が洋式で便座も暖かくなっているのに慣れている。子どもがトイレを嫌がっているという話も聞いている。校長会から何年も前に要望はしているとも聞いている。順番に改修していると思うが、まだできていないので、優先順位を上げて対応してほしい。 2) できるだけ早い時期での対応をお願いします。トイレも真冬は冷たいので、早めに対処していただくようお願いする。	トイレの課題は、他校でも臭いがひどいところがあり、老朽化が進んでいるところから順次工事している。洋式化だけでなく、配管も含む工事になるので、時間がかかっているが、着実に整備していきたい。	教育総務課	—
204	17三間	3	二名小学校に雲梯や滑り台などの基本的な遊具があるが、数年前から危険と赤いテープが付いているが、修理されず、さらに別の遊具も使用できなくなっている。今、使用できるのは、滑り台だけになっている。小学校で一度も使っていない子どももいると思う。教育的にも大事と思うし、移住を検討するにしても、廃校のように見える。補修や撤去など、使えないままはどうかと思うので、対応をお願いします。	小学校が34校あり、昨年度245の遊具を全部調査し、80あまりが使用できない状況と認識している。小学校の遊具の状況は認識が十分でなかった。街の公園の遊具は使用できないものをよく見かけていたので、公園については今年度で修理と撤去が一巡完了する見込み。学校については、指示が十分にできていなかったのも、こういう状況になっていると思う。まずは修理ができるもの、撤去するものを進めていこうと思う。新規になると設計が必要となり、3、4カ月かかる。未来を担う子どもたちが公園と同様に学校で遊ぶことが理想と思うので、予算を確保し、しっかり対応していきたい。	教育総務課	—
205	17三間	4	人口減少の話があったが、数年前に成妙保育園が閉園になった。施設が何になるか期待をしていたが、何もせず、もったいないという話をよく聞く。子ども教室の話があったが、成妙は小学校内で運営している。園舎を利用して子ども教室ができないかと提案したが、いまだに小学校1階の小さな和室を使っている。子どもも増えていると聞いたので、成妙保育園の園舎を有効活用できないかと思う。来年、二名保育園も閉園になると聞いている。二間保育園も魅力的な施設なので、利用計画があれば教えてほしいし、なければ地域住民の意見を聞いてもらえればと思う。	成妙保育園は閉園となっているが、市内でも廃校の跡地利用は問題になっている。先日、浦知小学校では、社協が関わり、地域の活動拠点として活用を始めた。施設の運営をする人がいるかが重要と思う。成妙保育園はコールセンターとして活用したこともある。活用について、考えがあるのであれば十分にお聞きして有効活用を考えていきたいと思う。どういう活用がいいのか、持ち帰りしっかりと検討していきたい。	こども家庭課（生涯学習課）	こども家庭課：両施設の利活用については、学校施設等利活用方針に準じた取扱いにより、優先順位として、①地域による活用②公共施設としての活用③公共的団体による活用④民間事業者等による活用⑤除却（売却）当の実施となることを説明しております。地域住民の意見優先ではありますが、具体的に地域からの提案は出ていない状況です。なお、現時点において、市の事業としての利用計画もありません。

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
206	17三間	5	耕作放棄の水田がかなり増えている。自分で引き受けることもしているが、とても手が足りない状況になっている。産業で考えると三間町は米、野菜、林業が中心になる。漁業は6次産業化が進んでいるし、吉田のミカンは大きな農家が共同でしている。稲作は個人でしているところが、多いので、担い手、農地保全を考えると共同農作業を進め、三間全体で6次産業化を進めるべきと思う。私も3つの自治会を超え、農事組合法人を1年で立ち上げようと準備しているが、市の補助があればと思う。市からは様々な選択肢を用意してもらっているが、市の補助金も年度末に不用額があると思う。地元から提案ができるようになればと思っている。	昨日の会議でも耕作放棄地の話があった。担い手は切実な問題であり、米の価格が一昨年度に比べ、値段が下がり、米の生産単独ではできないと聞いている。柑橘では次の担い手を育てるためのある程度の絵がある。鬼北町ではある農事生産法人が何十町と取りまとめている。条件に合う補助はあるか分からないが、三間米を後世に残すことは大切なことであり、より具体的な話を聞けば、市も支援しやすいと思うので、農林課にしっかり検討するように話しておく。耕作放棄地の問題は大きな課題と認識している。しっかり対応していきたい。	農林課	地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する『地域計画』を、令和5年度から地域ごとに順次策定しています。市農林課・農業委員会が話し合いのコーディネーター役を担いますが、地域ごとに状況や課題が異なるので同時にすべての地域を策定することは困難です。
207	17三間	6	三間では予土線が問題になっている。自治体も高知県との利用促進協議会など協力していくと報道がある。隗より始めよとして、市役所で通勤している人は事情が許せば積極的に通勤に使うように、強制はできないと思うが、市からしてもらえればと思う。予土線を利用して高知側で食事をするなど利用促進をお願いしたい。	市職員に話すことはできると思う。職員も過重労働になっており、高速道路もあり、比較したところ車通勤になっていると思う。強制はできないが声掛けはしていきたいと思う。この後、松丸駅に行き、利用促進のイベントに参加する。隈研吾さんが予土線活用の応援団になるなど、いろいろな方法も用いて、その活動は急速に進んでいる。観光だけでなく、平日利用が大切になると思う。鬼北町の北宇和高校でも結構な割合で予土線を利用している。これから加速度的にいろんな取り組みがされるが、行政だけでなく、地域と一体となって取り組まないといけないので、皆さんのお力添えもお願いしたい。	企画課、総務課	—
208	17三間	7	梅雨入りし、すぐに台風の影響で避難指示があった際、是能の瀬平川の氾濫が怖いと連絡があった。河川の掘削をできるだけ早くしてほしい。優先順位をつけていると思うが、災害を経験していることから住民も不安に思っているの、市からも県に伝えてほしい。 (補足：掘削する場合は稲刈りの時期に重ならないように配慮もお願いしたい)	タウンミーティングで河川の掘削の話が多いので県に伝えるだけでなく、しっかり市としても訴えていきたいと思う。	建設課	—
209	18Zoom	1	赤松遊園地をクラウドファンディングを活用して整備してから1年経った。市として、宇和島の港の玄関口として、ふさわしい形で整備する考えはあるか。 2) クリーンプロジェクトとしての活動はいったん終了している。昨年は清掃活動を毎月、赤松自治会婦人部として、きれいな状態を維持している。我々にはこれ以上をする力はなく、きれいにする目的は果たせたので、後は、市と自治会でどのように展開していくか考えてほしいというのが我々の考え方になる。	SNSを通じて、整備が進んだことは知っている。地元の赤松の人も含めて多くが関わり整備していくことを見ていた。市のトイレカーも積極的に活用していただきながらやってきた。もともと赤松遊園地は清掃する前に活用の提案もあったし、地元自治会もだいぶ前に何とかできないかという話もあった。今回、まちづくりの方が、行政には頼らないといろんな活動をしている中で、市が関わることは想定していなかった。市民の皆さんがしていることを我々はあまり乱さず、あそこで大きな輪が広がったと認識している。民有地を今後も活用する話をされていると聞いており、市が今時点で何も考えきれていない。今の民間の方の活動を教えていただいて、その中で何ができるか考えていけると思う。 2) 今後については、地元自治会の土地名義になっていると思うので、地元自治会がどのように考えているか確認した上で話ができたらと思う。	都市整備課	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
210	18Zoom	2	<p>津島中学校の近所に住んでいて、散歩をしていると寮のあたりがジャングルになっており、草を刈ってほしいと思う。PTAなどで草刈りが年1回くらいあったが、貴重な日曜日に駆り出され、小中学校に子どもがいれば、2日取られる。周りコミュニケーションをとれるというかもしれないが、皆さん忙しいと思う。宇和島市の敷地なので、市の造園業者に依頼すると見積など手間がかかると思う。プレーランドの横のサッカー場は三間町役場の車が止まり、念入りに作業をしているが、その場所はあまり利用することはないので、少し津島中学校の草刈りをしてもらえればと思う。</p> <p>2) 市長の立場なら、教育委員会に言えるが、校長会では月1回の会議で言えてない状況にある。中学校では教師が夕方に草刈りをしていることがあった。スクールボランティアの募集を見ても、草刈りを募集していることは多い。ボランティアが充実しているところ、草木が少ない学校など違いはあると思うが、津島中学校と城南中学校は大変と思う。小中学校すべては難しければ、中学校だけでもしてもらえればと思う。また、ワックスがけも頭の隅に入れておいてもらえればと思う。教員だけでなく、保護者の負担軽減で考えてほしい。</p>	<p>三間町役場の車については、確認する。教育の環境整備は、市が責任を持ってしないといけないと思う。どういった状況でどうするかは教育委員会を通じて課題が解消できるように検討したい。</p> <p>2) 先生方の働き方改革が言われている中、市も支援員を多くしているが、まだまだ課題が残っているのは現実と思う。草刈りの話とすると、先生たちだけでなく、別の方法でというご提案として、しっかり検討していく。</p>	教育総務課 (都市整備課)	教育総務課：草刈りに関しては、市教育委員会へ報告していただければ、対応いたします。
211	18Zoom	3	<p>YouTubeで明石市の前市長の動画では、思い切った施策でそれなり人口増などの効果が表れていると聞いている。かなり思い切ったことをしていると思うが、市長はどういう感覚を持っているか。全国に先駆けて初めてという施策を打ち出していただきたいと思っている。</p>	<p>明石前市長の施策は注目されていると思う。何度かお話したことがあり、子どもたちにとことん寄り添い、力を入れている。信念のもとに大胆に施策化していたと認識している。私は、まだまだ不十分であるが、さっき申し上げた、出産、子育てに力を入れていきたい。今後、突破力のある行動ができればと思っている。市議時代には、地域の産品を国内外にアピールすること、担い手不足の対策が大きなテーマであった。コロナ禍を受け、通常の社会に戻っていないこともあり、水産業界も厳しい状況に変わりはなく、魚類養殖は餌代が高騰しており、真珠母貝の問題もある。挑戦していく市長になれるように今後も努力していきたい。</p>	こども家庭課、企画課 (水産課)	こども家庭課：本市では、子育て世代から「選ばれるまち」になるため、子育て応援給付金の支給等を市単独事業として実施しているが、他自治体と比較して助成内容が限定的であったり、未実施の制度があることも事実です。常に、国・県の動向や先進自治体の取り組みなどについて情報収集を行い、実施すべき施策や実施時期などについて判断していきたいと考えています。
212	18Zoom	4	<p>例えば、正規と非正規の職員の比率で全国的に非正規が増えているが、全国に先駆けて解消を徹底的にするとか、同じ仕事で正規・非正規があることは問題がある。また、女性管理職の比率を徹底的に高めるなどの改革はやろうと思えばできると思う。教育の無償化についても、大学を含めて検討する。私立大学に行く子どもは市が支援して、就職してもらおうなど思い切った施策をして、財源をどうするかは議会で議論してもらえればいいので、積極的にお願する。</p>	<p>固定観念で難しいと思うこともあるが、突破すれば、いろいろ解決するかもしれない。ご指摘の件についてはしっかり対応していきたい。</p>	総務課、企画課	総務課：R5.4.1現在の職員数は以下のとおりです。 本庁採用正職員：653人 会計年度任用職員：661人 非正規率：50.3%

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
213	18Zoom	5	ペットを飼っているが、ペット同伴で避難できる避難所があるか。大事な家族を置いて逃げるできないと近所では話している。現実的に、猫アレルギーなどの人もいて、避難は難しいと思うので、避難せず家に残ると思う。ペット同伴可の避難所は全国でも問題になっており、市は高齢化も進んでいるので、ペットを飼っている人が多くなっている。	いろんな避難所があり、ペットとの暮らしの価値観が変わっている中で、昨年から公園にもペットを連れていけるようにしている。一時避難所についてはより高く、より早くで避難するため可能であるが、次の避難所は各地区で価値観が違うこともあるので、ペットまで対応はできていないのではないかと認識している。どういう風に整理しているか、確認させていただく。	生涯学習課 (生活環境課)	生涯学習課：どの避難所でも、居住スペースとは別になります。ペットの居場所スペースも確保いたしますので、ペット同伴でも避難していただくことは可能です。 ただし、避難所では様々な方が利用することから、ペット同伴の場合には普段からお使いのゲージやリードほか、お世話に必要な道具やペットフードなどご準備ください。
214	18Zoom	6	商店街で10年以上ボランティア活動をしているが、どんどん廃れている。かなり思い切ったことをしないと変わることはあり得ないと思う。例えば、南予文化会館の裏に広場があるが、市が買上げて駐車場にするとか、広報紙にもあったが大竹さんにアイデアを出してもらおうとか、高校生の意見を取り入れれば、奇抜なアイデアが出るかもしれない、任せるくらいの決断をすれば全国に名が広がる可能性もあると思う。商店街リニューアルの何らかの方向性を出すべきと思う。	いつも商店街で熱心に活動されていることを認識している。これまで市もおまち会議などで皆で考えるものの、それで、終わってきた経緯がある中、様々な意見を実行委員会形式でというのはいいいアイデアと思う。商工会議所も商店街を何とかしようとして、まずは民で協議を始めた。市も駅前から商店街のあり方の協議を始めようとしているところ。商店街は街中の一番の課題であると認識している。タウンミーティングで言われるのが商店街を活用した働く場の創出があり、これらについては必ずしていかないといけない。今は協議が始まった段階であるが、しっかり対応していかないといけない課題と認識している。商店街の方々にどう提案してどう協力いただくかを考えていかないといけないと思う。少しお時間をいただきたい。方向性が出たときには広くお知らせしていきたい。	商工観光課、 都市整備課	商工観光課：商店街振興は商店街組合、商工団体等の関係者と連携し取り組んでおり、市としては、商店主の前向きな取組を支援する補助制度等で、商業活性化を図っているところです。引き続き、商店街関係者と連携し、商店街活性化の取組を進めてまいります。
215	18Zoom	7	移住の話をしてしたが、ネコリパブリックという言葉を知っているか。岡山県吉備中央町の高原に保護ネコシェルターがある。こんなのは行政に言うことでなく、クラウドファンディングなどでする問題と思うが、市に協賛や後援をしてもらえればと思う。猫の譲渡は60歳までだが、70歳でも元気な人もいる。70歳でもペット後見人などをすれば、宇和島市の売りになると思う。	吉備中央町にシェルターがあることは知らなかった。地域猫などのキーワードがある中、市としては避妊などの支援はしているが、予算拡充の意見も聞いている。仕組みを含めて勉強することから始めたい。そういうことがあれば、まちの特徴になるということでは頭に入れておきたい。	生活環境課	市で預かった飼い犬・飼い猫は、県の動物愛護センターに送致となり、結果的に殺処分となることが少なくありません。今回の保護ネコシェルターについては、市の預かりとなる前に預ける場所ということだと思いますが、その料金は市で預かるよりも、かなり高額になっているようです。
216	19清満	1	少子高齢化の中、高齢者のスポーツが頻繁にされている。旧市内では公園等が無料で使える場所が丸山公園や石丸など数か所あるが、残念ながら、津島には1か所もない。南レク4号公園を都市整備課が管理しており、数名が草刈りを頻繁にしているが、利用者がほとんどいない。津島で1か所だけでも無料で使えるようにしていただけないか。グランドランド、マレットゴルフ、クローケーなど外でスポーツをしており、マレットゴルフはやすらぎの里の近くでしている。商工観光課が管理しているが、私たちが草刈りをして使用している。無料の代わりに草刈りをするのが条件になっている。やすらぎの里の工事で別のところを使用しないといけないが、有料になると負担になるので検討いただきたい。	体力維持のためにスポーツすることは素晴らしいことと思う。旧市内の無料の場所は十分認識していなかったが、南レク4号公園で草刈りを頻繁にしていることは聞いている。南レク4号公園の位置づけも頭に入っていないので、可能かどうかを確認して連絡する。	都市整備課、 商工観光課 (文化・スポーツ課)	都市整備課：南レク4号公園の一部施設を無料化できるか検討いたします。 商工観光課：やすらぎの里グラウンドの使用料は無料です。草刈については、実施団体に協力謝礼金を支給しております。工事期間中、安全面の確保等の関係から、使用不可能な期間が生ずる点については悪しからずご了承ください。

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
217	19清満	2	地域づくり交付金は一部の人が検討し、検討内容は地区の住民に反映されていない。西予市がしているような、すべて提案している内容、市内全域の事業をホームページなどで公表してほしい。とても勉強になるので、みんなが見えるようにしてほしい。西予市を参考に検討していただきたい。	地域づくり交付金の活用では、地域活性化のために議論いただいていることに感謝する。確認し連絡する。	企画課	年度別の実施事業例を市ホームページに掲載しているほか、先進事例の紹介を年1回広報紙でも行っております。
218	19清満	3	道路のことについて、横山から大平に向かうところで、軽トラックでも旋回できない箇所がある。地元の戸数は少ないが、ミカン農家も使っている。国道の畑地の学校に向かうところでバックする必要があり、かなり不便を感じている。道路の改良するための土地は何かなると思うので、改良できないか。	後ほど、場所を確認させていただく。市道はとても長く、すべてに目を向けられていないことは申し訳ない。道路の特性として、利用者数や事故発生数などを考慮して整備しようとしているところ。個別に連絡をさせていただく。	建設課	—
219	19清満	4	独居老人対策でお願いしたい。退職して20年になるが、独居老人対策でグループホームの設置をしたいと思う。私も独居老人になる。80歳近くになり、これからの人生に不安を感じている。老人施設は市内に9施設あるが、空きは全くないと聞く。津島には湯乃香荘があるが、15人ほど待機している。スイートホームを作って、60歳以上の4、5人が家賃は無料で共同生活ができればと考えている。スイートホームの設置を市長にもお願いして、空き家対策にもなるので、検討いただければと思う。	スイートホームについての勉強が十分ではないが、グループホームについては、民間の施設でもあるし、サ高住など民間では結構な数の施設がある。9施設は広域事務組合の施設になると思う。湯乃香荘は非常に人気があると聞いている。老人福祉施設は公と民間が混在しているが、公の方が値段が安い。今は順番より介護度が高い人を優先して、必要な人に入所いただいている。スイートホームは集団で空き家対策としてと言われたのが気になっている。一度持ち帰らせていただいて、確認させていただいて、市がどこまでできるか話をさせていただければと思う。	高齢者福祉課 (建築住宅課)	今後、津島圏域における住民互助型の地域づくりについて、ご協力をお願いします。
220	19清満	5	愛媛新聞で宇和島市の学校の遊具が取り上げられて記事になっていた。清満小学校の鉄棒も5年くらい前から使用できず、学校の先生から要望しても直らないと聞いている。これまででこなかったツケが今になっていると思う。子どもたちは学校しか遊ぶところがない。早期の改善をお願いしたいが、学校の統廃合問題も関わってくると思う。統廃合についてもできる限り教えてほしい。	就任して初めにしようとしたことは、学校の遊具にまで目は向けれていなかったが、公園の遊具の点検をまずした。5年間をかけて、公園の遊具については、新設を含めて今年度で完了する見込みになっている。学校の施設に十分に目を向けれていなかったことは事実。学校についても調査しており、34小学校で200あまりの遊具があり、84が使えない状態となっている。修理できるものは修理し、撤去するものは撤去したいと考えている。新設する遊具については、設計などで数か月かかる。今できることはするというスタンスでいるので、担当にも改めて伝えておく。統廃合の指針は平成30年2月に示された。その時よりも子どもたちの数は予想よりも減少しているため、今後の計画については、まずはPTAの意見や調査を進め、今年の夏ごろには方向性を示すと議会でも答弁している。公表できるようになれば、広く皆さんにお知らせしていきたい。	教育総務課 (都市整備課)	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
221	19清満	6	伊達博物館改築事業について、その予算執行停止を問う住民投票条例の受任者として回った者です。受任者になったのは、少子高齢化の話があったとおり、どんどん限界集落的な宇和島市の中で、将来、途方もつかない。市長の説明では作るだけで48億円、市の負担は実質10億円あまりとあるが、維持管理費はずっと続いていく。それが後世に引き継がれていく。住民投票条例を求める動き等について、市長はどうお考えなのかお尋ねしたい。 2)文化財を守り、継承することは大切と思う。ですが、今度の計画はあまりにも宇和島市にとって負担が多すぎであり、今の規模で十分ではないかと思っている。再検討することを期待して質問を終える。	伊達博物館については様々な考えがあることは承知している。建替委員会の話の中で現在の方向性が作られたのは事実。歴史文化を残すことが一番の目的の中で、それを確保するための伊達博物館の検討をしてきた。人口の価値観は頭に入れながら、歴史文化を確保する。その後で、財源をどうするかということで、国の支援がないと厳しいので、都市再生整備事業を活用することとし、半分は国から支援いただくことが内定した。約48億円の積算の中には、解体費など一連の費用が含まれている。残りの半分についても有利な借金、起債を活用して、後に交付税として7割が戻ってくる。市の負担の10億円を差し引いた38億円は伊達博物館をしなかったら、一切宇和島に落ちるお金ではない。方向性を国に認めてもらい進めていることが原点になる。維持管理にかかる費用は、議会からも話があり、2月頭に1億8,000万円と示しているが、改めて積算して皆さんにお示ししていくことになると思う。博物館単体で黒字化するのはいかなる博物館でも厳しい。実際に来ていただくことで、宿泊や飲食などの経済効果も期待しながら実施しようとしている。48億円が独り歩きしている感があり、十分に説明できていなかったかもしれないが、国のサポートを受けながら進めている事業ということを認識していただけたらと思う。 2)今の博物館の面積については、バリアフリーを含めて十分でない状況にある。これまでの維持管理費については、8,000万円から9,000万円かかっており、より多くに来ていただく期待をして、数字を出させていただいた。いかに下げていくかは我々の責務と思う。撤回ということは考えていないが、なるべく負担がない形を目指していきたい。	文化・スポーツ課伊達博物館（都市整備課）	—
222	19清満	7	国道と県道で舗装が傷んでいるところがよくある。改良は難しいと思うが、白線が消えかけているところ、まったく見えないところもある。横吹の入口までは見えるが、その先になると、白線の跡だけがある。何か線を引いていないと交通事故の原因になると思う。御槇地区は土日には多くの交通量になる。私も先日、ぎりぎりでかわしたこともあった。国道は計画的にしていると思うが、県道があまりされていない。市から県に強く要望していただき、早めの取組みというか、県も計画を公表する仕組みを作っていただければと思う。また、樹木が道路に覆いかぶさり、観光バスは天井に当たっていると思う。枝でなく、大木になっており、台風の時には大変になると思うので、あわせてお願いしたい。	道路の白線の問題は全体的な話と思う。今回のタウンミーティングで一番多かったのは、河床掘削の話であった。県の管理河川も多く、全体は対応できていないと思う。白線も樹木も同じことと思う。県に対して、伝えたいと思う。	建設課	—

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
223	19清満	8	<p>施政方針の産業を創るでお願いがある。2、3年稚貝の確保に苦労している中、市が補助をしていることをすごく喜んでいて。一方で、私は林業に関わっているが、これから宇和島の林業振興をどうするか。市の林業振興計画はあるが、木材価格は2年ほど前に高騰して、4、5倍に上がった時期もある。今は昔より少し高いという価格になっている。宇和島市の担当職員はしっかりしていると思うが、異動があるので、林業担当者を育ててほしいと思う。県では林業担当者に豊富な知識がある職員がおり、国は森林管理署もあるので、宇和島市でも取り組んでいただければと思う。森林組合も事業に取り組みたいが、体力がないところもあるので、持続化の取組みをお願いしたい。林業事業者の若手から高齢者まで後継者が難しいこともあるので、まずは市長と林業従事者のミーティングを初めていただければと思う。</p> <p>2) 後継者となる人がもっと興味を持つように更なる振興に力添えをお願いしたい。</p>	<p>林業については、木材の価格が一時期跳ね上がったが、今は落ち着きすぎて将来に不安があるという声も聞いている。鬼北、松野と南予森林管理推進センターを作っており、森林環境譲与税を集約してどう活用するか、まずは調査から始めている。調査した後は、民間の力添えもいただくが、人材不足の問題がある。森林センターには、アカデミーを作り、5名程度にはなるが、山に興味がある人材を育てることもしている。運営には県にも関わっていただいている。担い手となるようにこれからも対応していきたい。フォレストワーカーで移住施策もしてきたが、アカデミーでも移住者を獲得していきたい。バイオマスや貯木場など事業者の考えもあると思う。ミーティングの話も含めて、しっかり共通課題として認識して、一大産業になるかは分からないが、できることはしていきたい。</p>	農林課	<p>林業担当者に関しては、愛媛大学が主催する森林環境管理学リカレントプログラムの受講や、南予森林管理推進センターにおける県・他市町職員との連携を通して専門性の向上に努めています。また、令和5年度からは国の制度を活用して、林業に関して知識や経験を有するものを地域林政アドバイザーとして雇用。係に専門職員として配置することで森林経営管理制度推進とともに、担当者異動による業務の停滞を招かないよう体制強化を図っています。</p> <p>林業従事者に対する取組みとしては、森林組合や南予の林業事業者等（代表者）が参加する林業事業者会議が年に数回開催されており、現場からの要望や課題などが議論されています。</p>
224	19清満	9	<p>宇和島市と伊達文化保存会で交わされた契約書について、指定管理者制度が導入するときには協議することとし、委託先が伊達文化保存会でなければ無効とするところ。法の改正並びに時代の変遷に合わなくなったときには協議するとある。この契約書は平成22年4月1日に石橋元市長と伊達宗信理事長が交わしたものであり、13年以上前になり、今の市長は岡原市長なので条例違反と思う。天赦公園は昭和22年9月13日に都市公園指定を受けている特殊公園であり、目的や立地は制限される公園になる。その後、多くの市民に愛され、宇和島市唯一の憩いの場であり、多目的広場であり、他に代替地がない公園になる。この約70余年間は市民の公園。そこに箱モノはいらない。天赦公園の景観を損なわないようにしてほしい。多くの市民から署名を集め、市民から市長へのメッセージがある。ある女性は信号待ちの時に見える景色を奪わないでほしい、景観は市民のものと市長に伝えてほしいとあったので伝える。48億円のは住民投票で決めましょう。お願いします。</p> <p>2) 平成22年4月1日以降、契約の更新がない。自動更新といっても、昨年4月に博物館法が改正されており、当てはまらないと思うし、岡原市長の名前で契約することが常識と思う。工事車両について、公園をつぶさずにするように約束してほしい。</p> <p>3) 伊達文化保存会と宇和島市の契約は昭和26年の博物館法に基づいたものになる。一度も更新されていないので、おかしいと思う。すべての契約をして、工事すべきと思う。</p>	<p>契約については、伊達家の代替わりして契約している状況です。宇和島市長がした行為は継続することなので、違反であるとは認識していない。姉妹都市も継続しているのと同じ。時代の変遷に合わなくなったときは、しかるべきタイミングで更新していかないといけないと思うが、市長としてきたことは継続していく、前市長の計画を引き継いでいるものもある。今の話では違法の状況ではないと認識している。天赦公園はもともとソフトボール場とテニスコートなど体を動かす場所という認識で小さい頃から育ってきた。伊達家の相続の中で、土地が財務省へ移り、市が芝生を植えて公園にしている。歴史文化を守るために様々な検討をする中で、今の計画がある。今の伊達博物館があるところは代替地として公園になると繰り返し話をしている。確約がもらっていない第3期の計画になるが全体としての計画があるので、ご理解をいただきたい。</p> <p>2) 契約の効力は続いていくものになるので、十分なものだと考えている。博物館法の十分な知識はないので、確認させていただき、必要であれば対応する。工事に必要な面積はその時の設計に応じて変わってくる。イメージは説明会でもさせていただいたが、衝突はするが、遊具は設置するし、歩くこともできるが、どこまでかは事業者が図面を書いてからになるが、しっかり確保できるように努力していきたい。</p>	文化・スポーツ課伊達博物館（都市整備課）	<p>都市整備課：天赦公園は、都市公園の種別においては特殊公園であり、特殊公園の中でも歴史的意義を有する土地が有効に利用されるよう配慮した歴史公園に分類されます。天赦公園に、本市の歴史文化等を広く紹介する新伊達博物館を整備することは、歴史公園としての趣旨に合致するものであり、その建設が制限されることは無いものと考えます。</p> <p>また、天赦公園が現在のような誰もが利用できる広場となったのは、平成22年度の既存運動施設の撤去後であり約12年前からです。</p> <p>今回の新伊達博物館整備に当たりましては、芝生広場は現在の天赦公園内に同程度の広さを確保し、遊具広場につきましては、現博物館解体後の跡地整備におきまして児童公園を整備することとしており、公園機能は残していく計画ですので御理解いただければと思います。</p>

令和5年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	担当課	補足説明等
225	19清満	10	市民の関心ごととしては伊達博物館とやすらぎの里の建替えになる。やすらぎの里の建替えは1日でも早くすることが大切と思う。伊達博物館は3,800人の署名が集まり、市長に提出されている。率直に考えて、48億円かけて、今の2.5倍の広さが必要か改めて内部でしっかり協議して、署名した人にしっかり説明することが大切と思う。協働のまちづくりとあるが、ビジョンや具体的なことは書かれていない。ビジョンとして、市の指針として、市民に分かるように具体的に、タウンミーティングで貴重な意見を聞いていると思う。持ち帰って、協議しているかも大切なことだが、そういう姿勢が見えてこない。経済を底上げするにはまちづくりが必要。400年の基盤をしっかりとしたまちづくりは一切資料にはないし、文面だけで市民を納得させようとしている。伊達博物館についても、全国の美術館の現場を踏まえ、建替委員会も現場を見て、協議しているかも分からない。ホリバタ事業は何をしているか我々は分からない。幕末で活躍した人が多くいるので、そういった教育をすることが将来の本当のまちづくりができていくと思う。しっかりと情熱をもって、考えていただきたいと思う。 2) やすらぎの里の建替えは市民から要望があったか。伊達博物館は老朽化による建替えと思う。もっとしっかりと市民の声を取り入れるようにしてほしい。	やすらぎの里については、宇和島には民間を含めて温泉の数が少ない中、お金をかけてでも確保していこうと、地盤沈下など以前のようにならないようにしっかり計画を進めているところ。伊達博物館については、建ててからがスタートになるので、ソフトについてももしっかり対応していきたい。協働のまちづくりは、行政だけでは十分でないことが多くあり、災害時には民間が即座に対応していた中で、自治会を含めた民間の知識と熱意をお借りしながら、まちづくりを進めていく意味で話をさせていただいた。ホリバタについては、市議時代から先進地の取組みを見てきた。子どもたちにもあまりにも関わってこなかったこの地域なので、この地域に目を向ける子どもたちを育てようとしている。この地域には働く先がないという指摘もあり、誘致を含めてさらに努力していかないといけないと思っている。第一次産業を含めて考えていかないといけない。ホリバタ事業は結果が出るまで時間がかかるが、何もしなければ、実数は本当に減ると思う。移住者はありがたいが、また移住する可能性があるかもしれない。親、親戚がいて、この地域が大好きという子どもをどう育てていくのか。歴史文化に触れる必要性は十分に感じているので、しっかり対応したい。 2) 伊達博物館については、老朽化や耐震性の問題から方向性を打ち出された。やすらぎの里は皆から愛された温泉施設であり、不具合が生じ、安全性を担保するために閉めざるを得なかった。いつ再開するかとの声も多くあった。時間はかかるが着実にしていきたい。	商工観光課、文化・スポーツ課伊達博物館、市民課協働推進室、生涯学習課	商工観光課：やすらぎの里については再開を望む声が多いと認識しており、これまで基本計画策定時には検討懇談会、基本設計作成時にはパブリックコメントによって市民の声を聞きながら進めております。
226	19清満	11	津島広報のときにはお悔やみがあったが、今は家族葬をしているので、友人が亡くなっても分からない。市からの広報に掲載してもらうことはできないか。	コロナで家族葬が多くなった。私も家族葬にして、お知らせもしなかった。広報では個人情報もあるので、難しいかと思う。私もまったく情報がない中で、声をかけて知ることがある。この3年の中で、慣れている感じはあると思うが、アフターコロナで従来に戻るかと思うが、市が情報を出すことは難しいのでご理解いただきたい。	市長公室、津島支所	—
227	19清満	12	車の税金で軽四が時間経過で税金が上がる。2000円上がるのが	排ガス規制などの諸事情でそういったことになると思うが、なかなか税金のことは難しい。	税務課	—